

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編

(勘定奉行 i8)

第 2.1 版

目次

はじめに.....	2
1 連携の概要.....	3
1.1 連携の概要.....	3
1.2 連携条件について.....	4
1.3 連携の流れ.....	5
1.4 使用フォーマットについて.....	6
2 連携事前設定.....	7
2.1 「勘定奉行 i8」の事前設定.....	7
2.1.1 勘定科目を確認する.....	7
2.1.2 補助科目を確認する.....	10
2.1.3 取引先登録画面を確認する.....	22
2.1.4 部門を確認する.....	26
2.1.5 摘要を確認する.....	28
2.2 本ソフトの事前設定.....	30
2.2.1 通知確認設定情報を設定する.....	30
2.2.2 取引先を設定する.....	31
2.2.3 出力 CSV 設定を設定する.....	34
2.2.4 固定値を設定する.....	35
3 連携手順.....	44
3.1 連携手順.....	44
3.1.1 通知ファイルを読み込む.....	44
3.1.2 通知情報を確認する.....	48
3.1.3 仕訳データを作成する.....	50

はじめに

本書では、本ソフトと株式会社オービックビジネスコンサルタントの会計ソフト「勘定奉行 i8」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

本書に記載されていない「勘定奉行 i8」のその他機能の詳細については、「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。

1 連携の概要

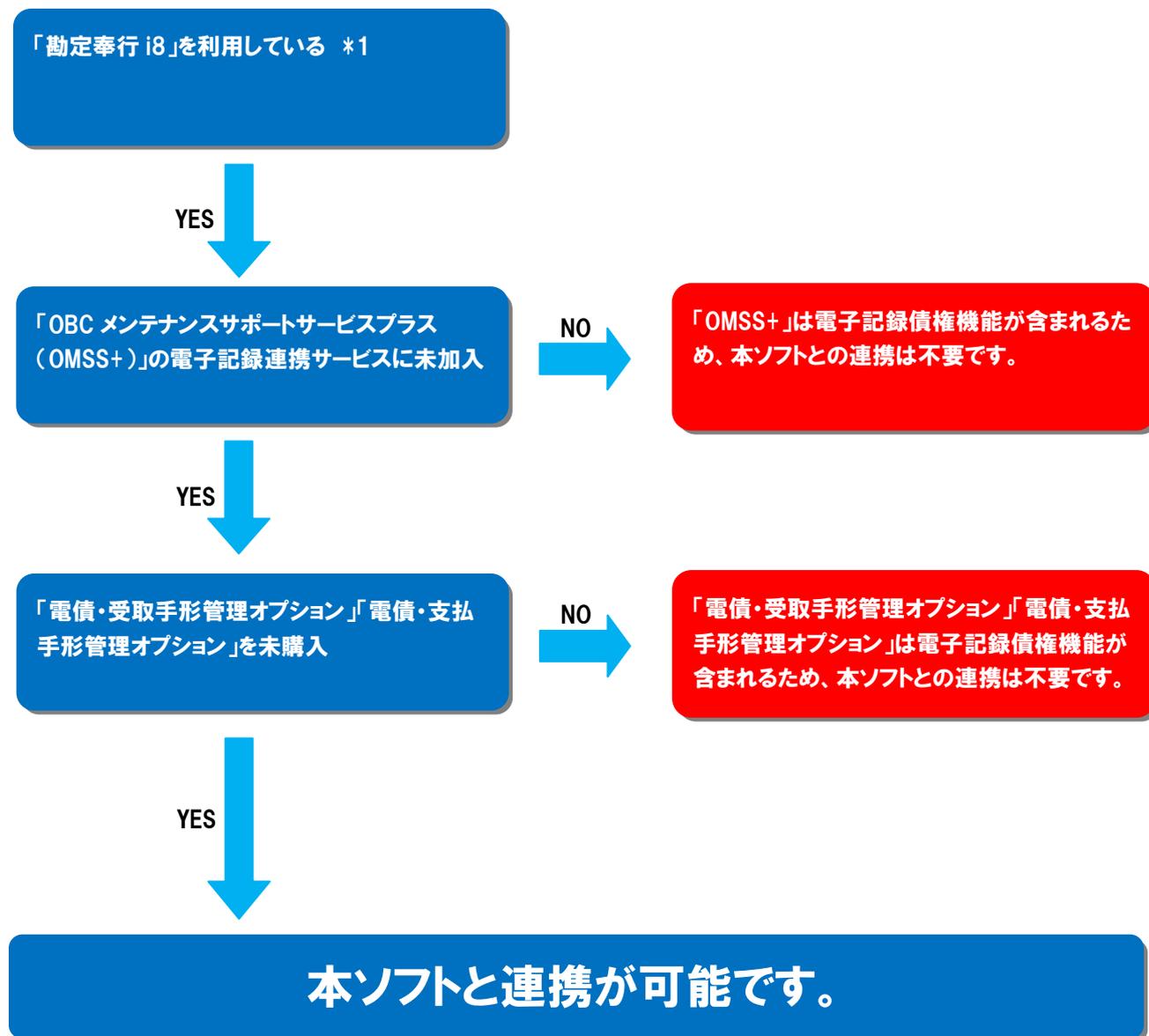
1.1 連携の概要

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「勘定奉行 i8」に読み込むことにより、簡単に仕訳伝票を作成することができます。



1.2 連携条件について

本ソフトと連携が可能となる条件は下記の通りとなります。



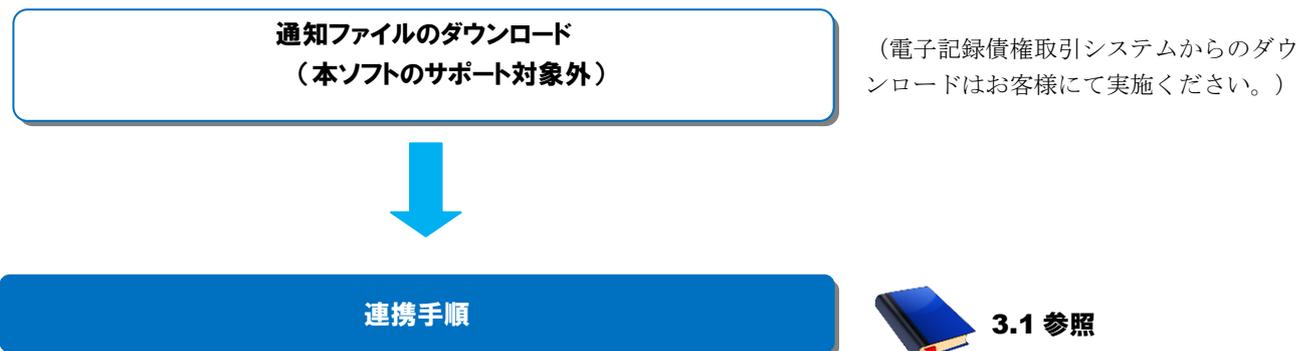
*1 「勘定奉行 i8」以外とは連携ができません。（「勘定奉行 21」、「勘定奉行 i」、「勘定奉行 i8[個別原価管理編]」など）

1.3 連携の流れ

事前設定



連携手順



1.4 使用フォーマットについて

「勘定奉行 i8」との連携で使用するフォーマットについて説明します。

「勘定奉行 i8」の利用状況に応じて、下記使用フォーマットから適切なものを選択してください。以降の設定については、選択した使用フォーマットに沿って実施してください。

条件1 *1	条件2 *2	選択する使用フォーマット
「勘定奉行 i8」の取引先登録画面で取引先を管理している場合	「勘定奉行 i8」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用している</u> 場合	連携用_勘定奉行 i8_SN
	「勘定奉行 i8」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用していない</u> 場合	連携用_勘定奉行 i8_SY
「勘定奉行 i8」の補助科目登録画面で取引先を管理している場合	「勘定奉行 i8」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用している</u> 場合	連携用_勘定奉行 i8_BN
	「勘定奉行 i8」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用していない</u> 場合	連携用_勘定奉行 i8_BY

*1：詳細は「**2.1.2 補助科目を確認する**」、「**2.1.3 取引先登録画面を確認する**」をご参照ください。

*2：詳細は「**2.1.5 摘要を確認する**」をご参照ください。

2 連携事前設定

2.1 「勘定奉行 i8」の事前設定

連携を行うための「勘定奉行 i8」の事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
勘定科目を確認する

2.1.2
補助科目を確認する

2.1.3
取引先登録画面を確認する

2.1.4
部門を確認する

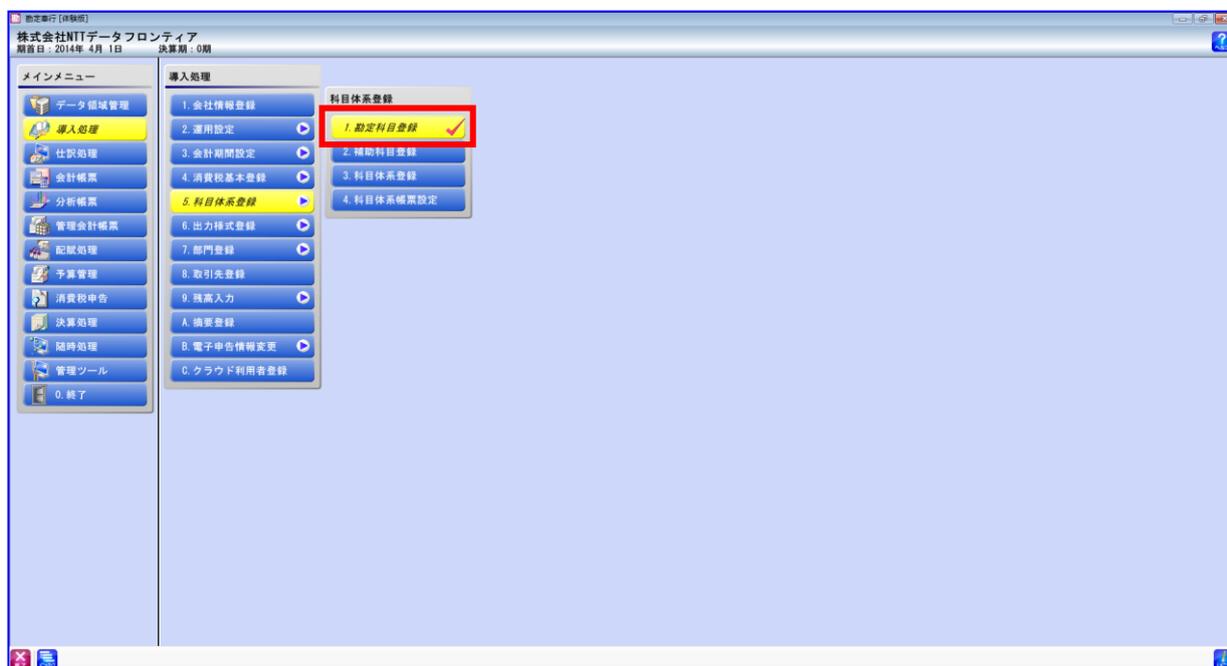
2.1.5
摘要を確認する

操作方法

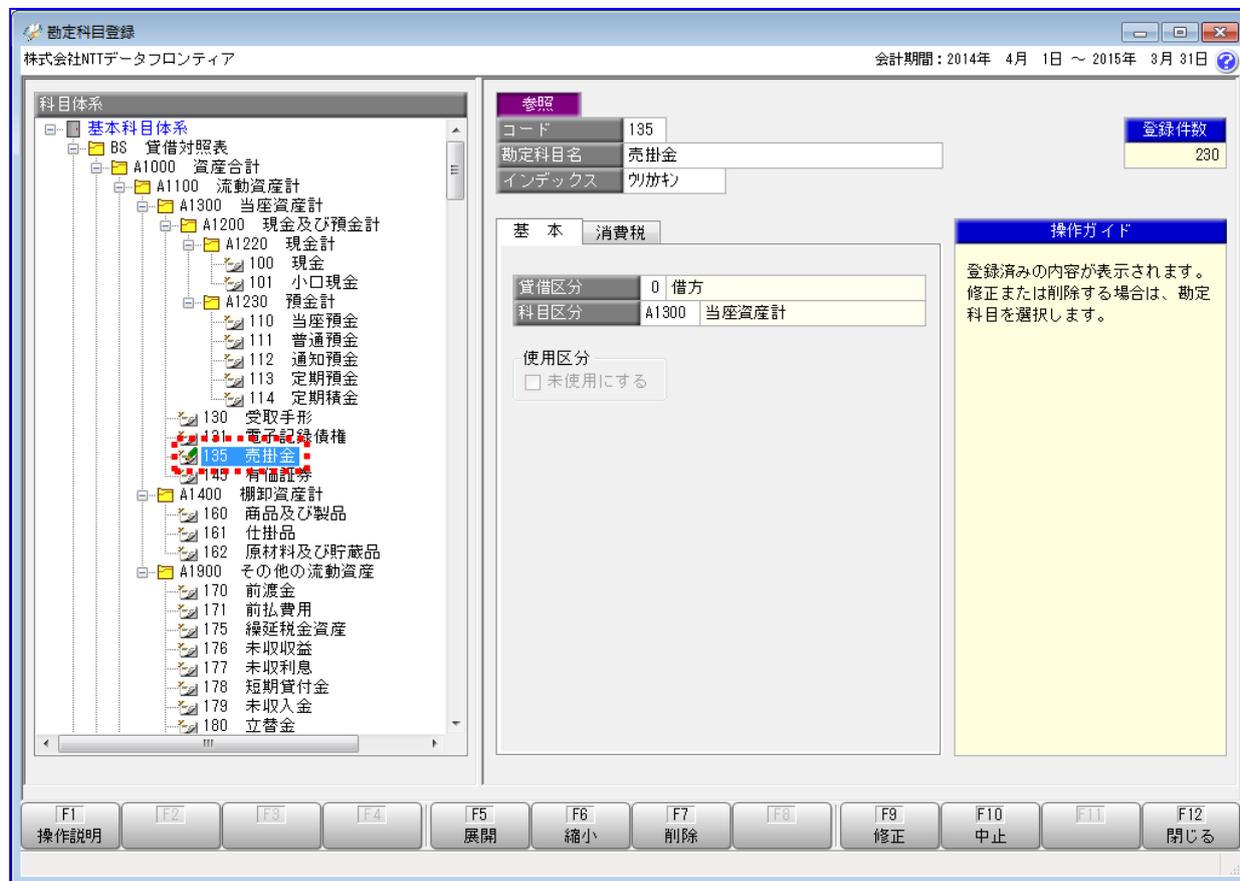
2.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

「勘定奉行 i8」を開き、[導入処理][科目体系登録][勘定科目登録]を押下します。



- 勘定科目「売掛金」が存在することを確認します。
勘定科目「売掛金」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)



- 勘定科目「電子記録債権」が存在することを確認します。
勘定科目「電子記録債権」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)



勘定科目「電子記録債権」の使用区分「未使用にする」にチェックが入っている場合は、チェックボックスを外して使用可能にしてください。

2.1.2 補助科目を確認する

取引先を補助科目登録画面で管理している場合、登録内容を確認します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行 i8_BN、連携用_勘定奉行 i8_BY】

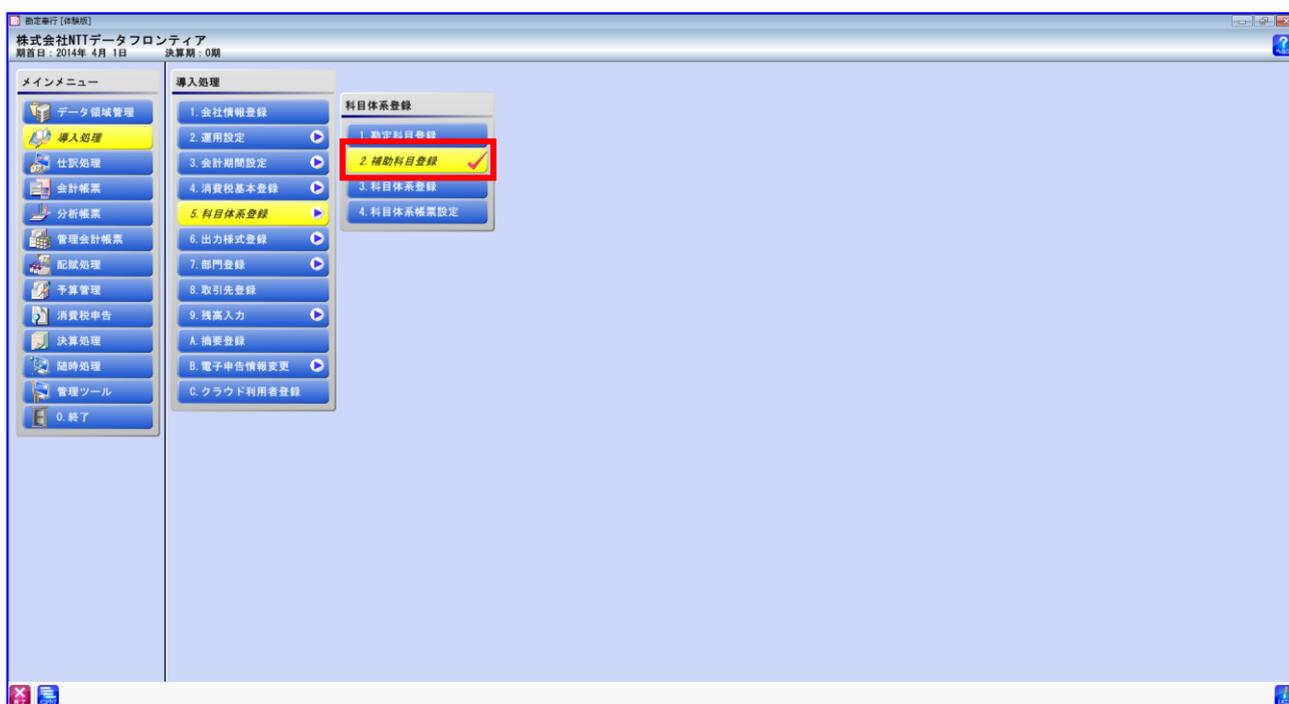


取引先を取引先登録画面で管理している場合、本項の作業は不要です。



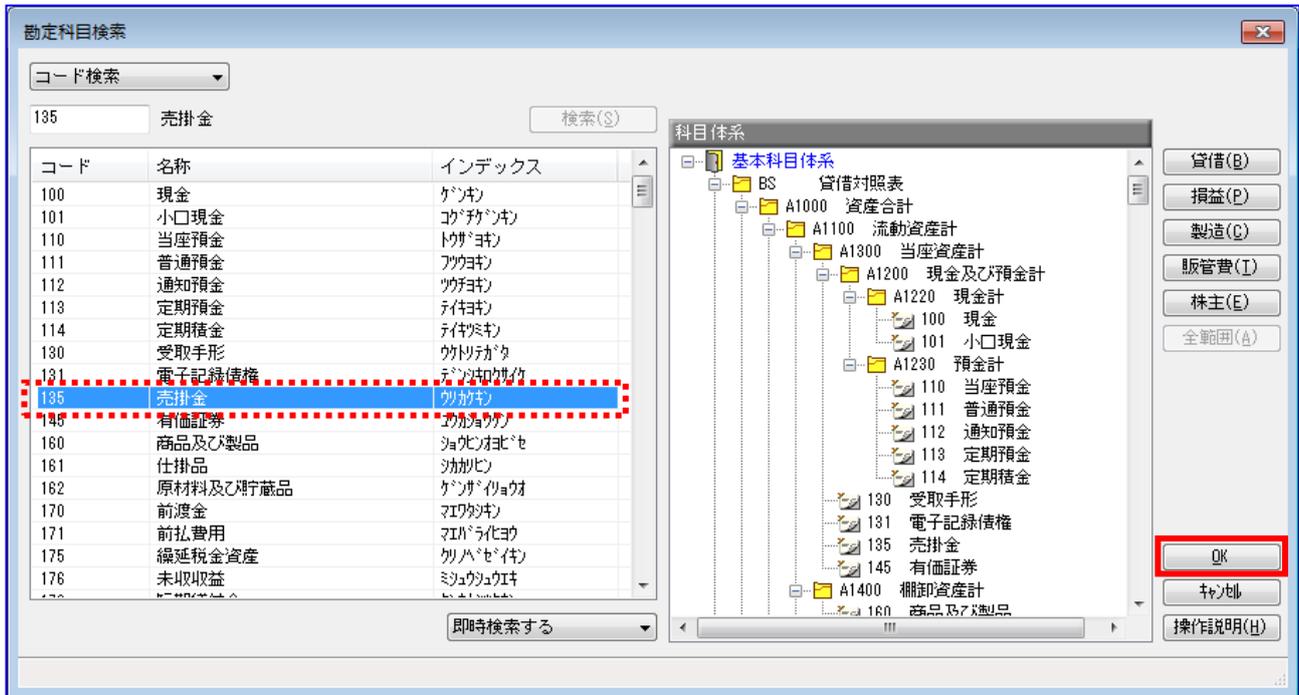
勘定科目「売掛金」の補助科目を確認します。

[導入処理][科目体系登録][補助科目登録]を押下します。



「勘定科目」の[検索]を押下します。

「売掛金」を選択し、[OK]を押下します。



- 取引先の情報が、補助科目に設定されていることを確認します。
補助科目が未設定である場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)

補助科目登録
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 135 売掛金
登録件数 3

コード
補助科目名
インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分

コード	補助科目名	インデックス
001	取引先 A 株式会社	ト北特掛助
002	取引先 B 株式会社	ト北特掛助
000	その他	

操作ガイド

コード

【参考】
コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数 1~4 桁
- ・検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 F7 削除 F8 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる



電子記録債権を受け入れる対象の取引先を全て登録しておく必要があります。
取引先が増減した場合は、都度修正ください。



登録した「コード」「補助科目名」は、「2.2.2 取引先を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

- 勘定科目「電子記録債権」の補助科目を確認します。
「勘定科目」の[検索]を押下します。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目

登録件数 0

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分	<input type="text"/>	<input type="text"/>
貸方税区分	<input type="text"/>	<input type="text"/>
消費税自動計算	<input type="text"/>	<input type="text"/>
端数処理	<input type="text"/>	<input type="text"/>

事業区分

コード	補助科目名	インデックス

操作ガイド

勘定科目

補助科目を設定する勘定科目のコードを入力します。

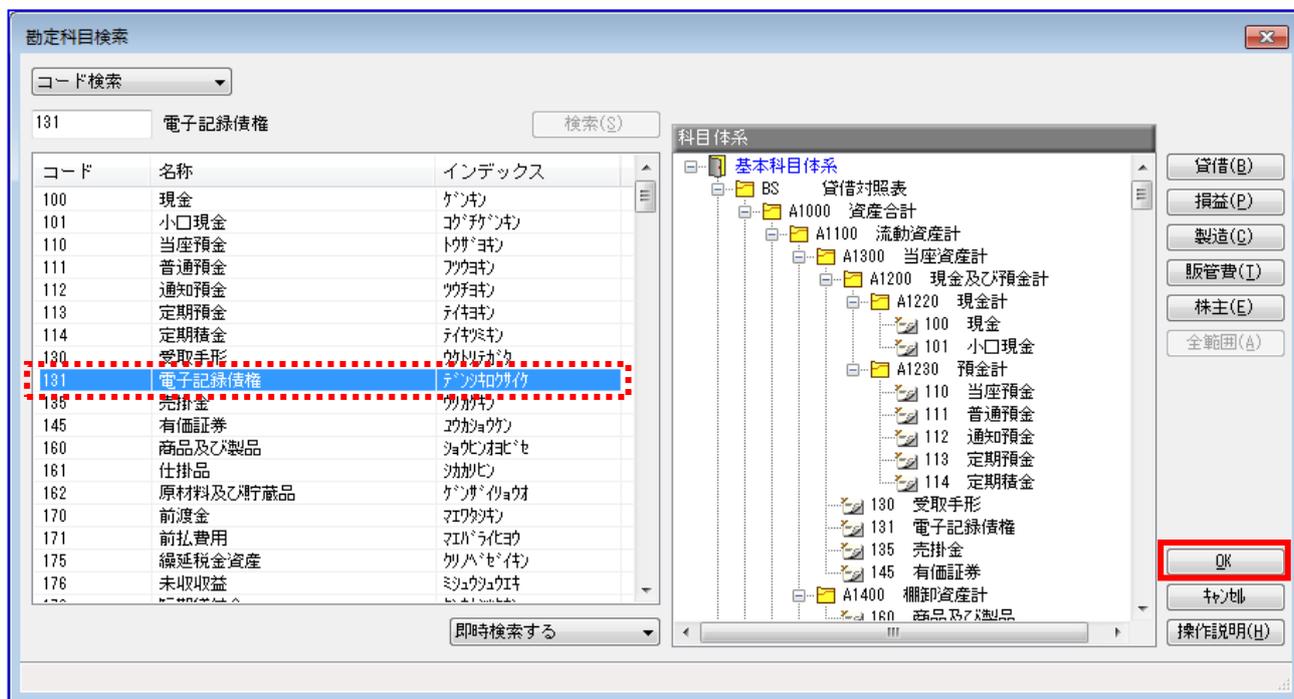
【注意】
以下の勘定科目には補助科目を設定できません。

- 仮払消費税
- 仮受消費税
- 繰越利益剰余金

検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 複写 F7 削除 F8 F9 F10 F11 F12 閉じる

「電子記録債権」を選択し、[OK]を押下します。



- 取引先に対応する補助科目が存在することを確認します。

勘定科目「電子記録債権」は、勘定科目「売掛金」に登録した取引先を全て同様に設定する必要があるため、存在しない場合は、複写機能により、勘定科目「売掛金」の補助科目をコピーしてください。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア

会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 131 電子記録債権

登録件数 3

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分

コード	補助科目名	インデックス
001	取引先 A 株式会社	トビキ特Aカブ
002	取引先 B 株式会社	トビキ特Bカブ
000	その他	

操作ガイド

コード

【参考】

コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数 1 ~ 4 桁
- ・検索⇒ [Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 F7 削除 F8 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる



補助科目は複写機能を利用せず、当画面より 1 件ずつ登録することも可能です。
補助科目の作成方法については「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。

✚ [複写]を押下します。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア

会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

登録件数
0

勘定科目

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分

貸方税区分

消費税自動計算

端数処理

事業区分

操作ガイド

勘定科目

補助科目を設定する勘定科目のコードを入力します。

【注意】

以下の勘定科目には補助科目を設定できません。

- 仮払消費税
- 仮受消費税
- 繰越利益剰余金

検索⇒[Space]キー

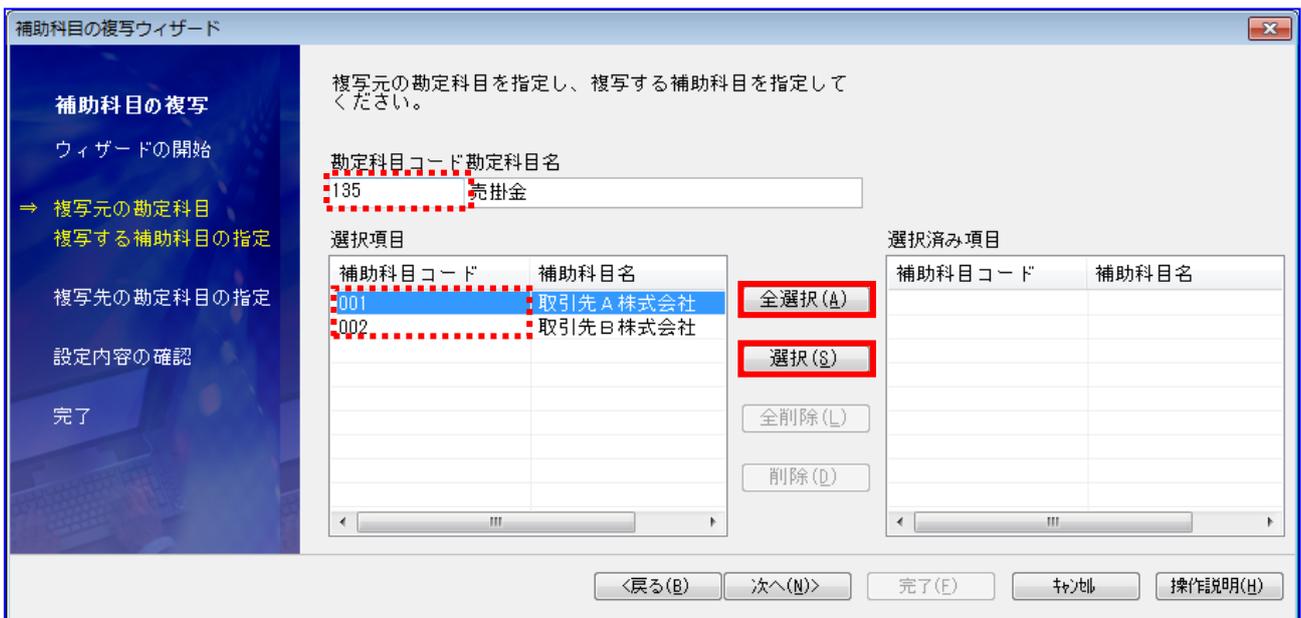
コード	補助科目名	インデックス

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 複写 F7 削除 F8 F9 F10 F11 F12 閉じる

📌 [次へ]を押下します。



📌 「勘定科目コード」に「売掛金」に対応するコードを入力します。
「選択範囲」に表示されている取引先に対応する補助科目を選択し、[選択]を押下します。
全ての補助科目を選択したい場合は[全選択]を押下します。



- ✚ 選択済み項目を確認し、[次へ]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

補助科目の複写

ウィザードの開始

⇒ 複写元の勘定科目
複写する補助科目の指定

複写先の勘定科目の指定

設定内容の確認

完了

複写元の勘定科目を指定し、複写する補助科目を指定してください。

勘定科目コード 勘定科目名
135 売掛金

選択項目

補助科目コード	補助科目名

全選択(A) 選択(S) 全削除(L) 削除(D)

選択済み項目

補助科目コード	補助科目名
001	取引先A株式会社
002	取引先B株式会社

<戻る(B) 次へ(N)> 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- ✚ 「勘定科目コード」に「電子記録債権」に対応するコードを入力します。
選択科目に「電子記録債権」が表示されることを確認し、[次へ]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

補助科目の複写

ウィザードの開始

複写元の勘定科目
複写する補助科目の指定

⇒ 複写先の勘定科目の指定

設定内容の確認

完了

複写先を選択します。

勘定科目コード

選択項目

勘定科目コード	勘定科目名
131	電子記録債権

削除(D)

<戻る(B) 次へ(N)> 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- ✚ 複写する補助科目、複写先の勘定科目を確認し、[次へ]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

補助科目の複写

ウィザードの開始

複写元の勘定科目

複写する補助科目の指定

複写先の勘定科目の指定

⇒ 設定内容の確認

完了

以下の補助科目を、以下の勘定科目に登録します。

補助科目コード	補助科目名	勘定科目コード	勘定科目名
001	取引先A株式会社	131	電子記録債権
002	取引先B株式会社		

コードが重複した場合は上書きする

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- ✚ [完了]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

補助科目の複写

ウィザードの開始

複写元の勘定科目

複写する補助科目の指定

複写先の勘定科目の指定

設定内容の確認

⇒ 完了

複写処理が終了しました。

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- 勘定科目「電子記録債権」の補助科目が正常に複写されていることを確認します。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 131 電子記録債権

登録件数 3

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分

コード	補助科目名	インデックス
001	取引先 A 株式会社	トビキキAカブ
002	取引先 B 株式会社	トビキキBカブ
000	その他	

操作ガイド

コード

【参考】

コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数 1 ~ 4 桁
- ・検索⇒ [Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 F7 削除 F8 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる

2.1.3 取引先登録画面を確認する

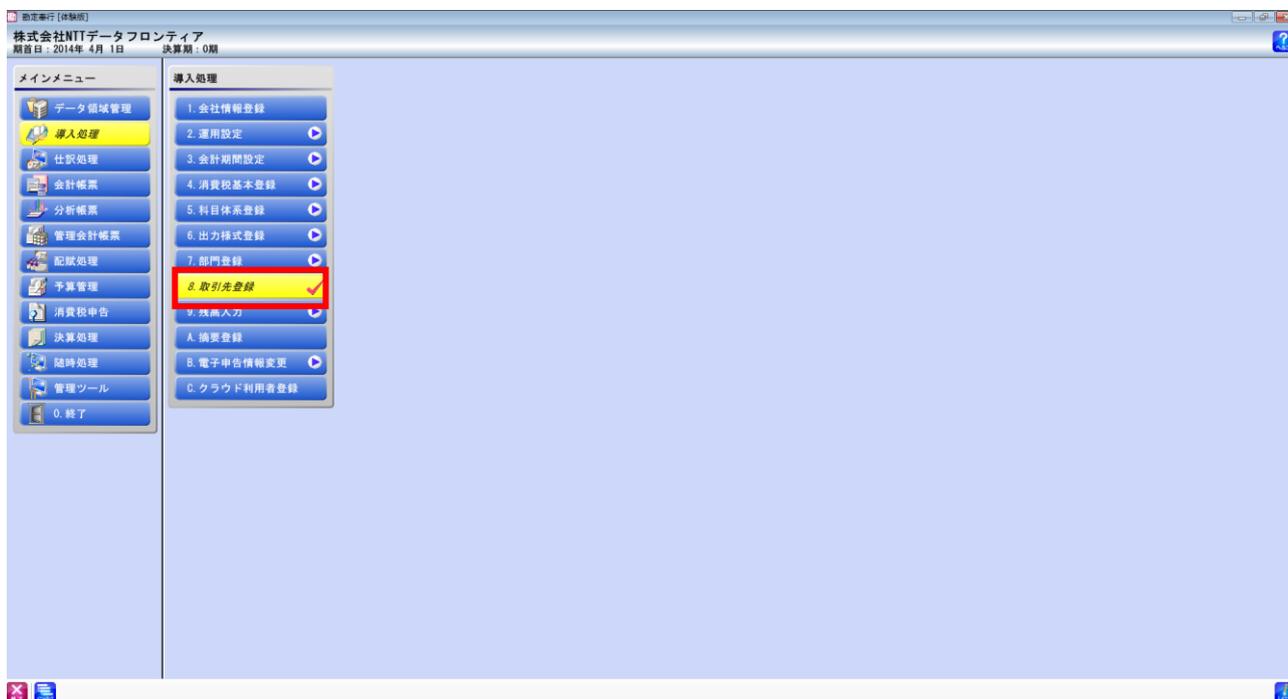
取引先を取引先登録画面で管理している場合、登録内容を確認します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行 i8_SN、連携用_勘定奉行 i8_SY】



取引先を補助科目登録画面で管理している場合、本項の作業は不要です。

「勘定奉行 i8」を開き、[導入処理][取引先登録]を押下します。



「勘定奉行 i8」オプションを使用している場合、取引先登録はオプション側の取引先登録を確認してください。

確認方法は「2.1.3 取引先登録画面を確認する」と同一になりますが、取引先登録画面は[支払管理][導入処理][取引先登録][取引先登録]より表示します。

「コード」の[検索]を押下します。

-
- 「即時検索しない」を選択し、[検索]を押下します。

取引先検索

検索条件

取引先名1 が [] を含む [検索(S)]

無効な取引先を含める [詳細設定(I)>>]

[即時検索しない]

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)

取引先に対応するレコードが存在することを確認します。

存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。

(新規作成方法については「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)

取引先検索

検索条件

取引先名1 が を含む

無効な取引先を含める

検索(S)

詳細設定(I)>>

1~3件目を表示

コード	取引先名1	取引先名2
00000001	取引先 A 株式会社	
00000002	取引先 B 株式会社	
00000000	その他	

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)



電子記録債権を受け入れる対象の取引先を全て登録しておく必要があります。
取引先が増減した場合は、都度修正ください。



登録した「コード」「取引先名1」は、「2.2.2 取引先を設定する」にて、本ソフト用の事前設定
として使用するため、値をお控えください。

2.1.4 部門を確認する

部門を部門登録画面で管理して利用している場合、登録内容を確認します。

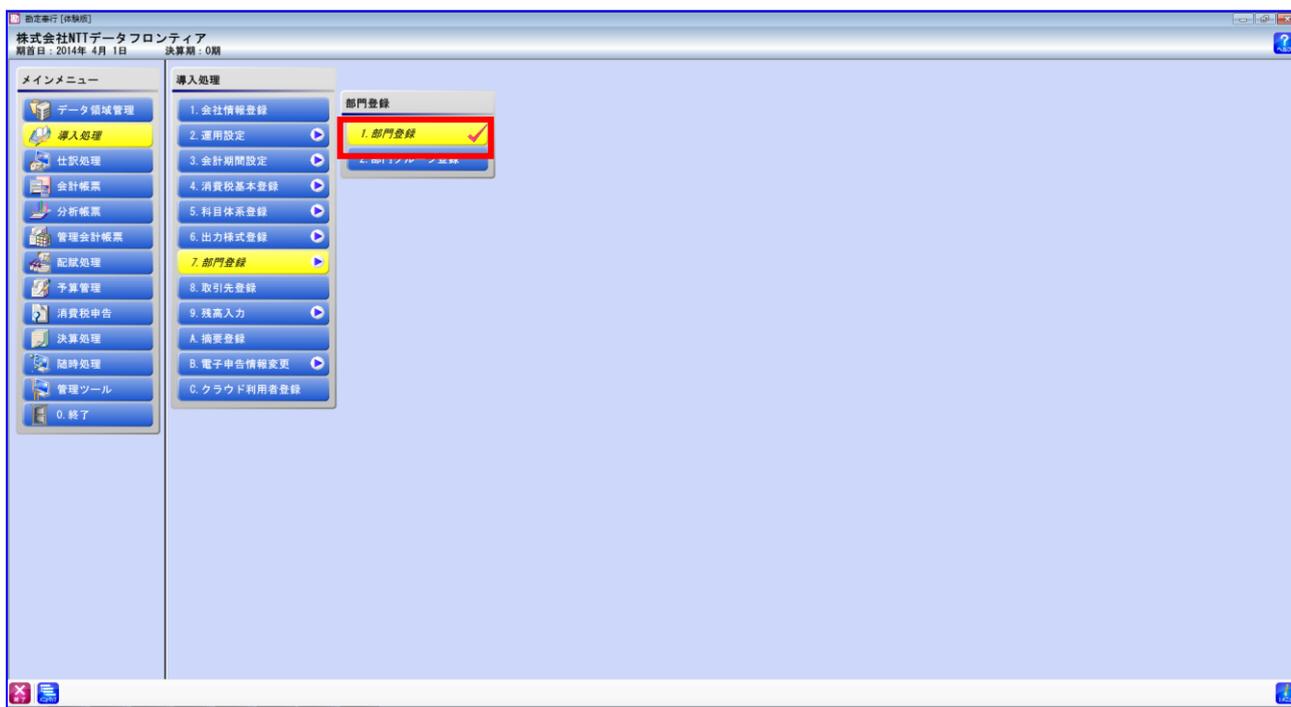
【対象の使用フォーマット：全フォーマット】



部門を使用していない場合、本項の作業は不要です。



「勘定奉行 i8」を開き、[導入処理][部門登録][部門登録]を押下します。



- 部門に対応するレコードが存在することを確認します。

部門登録

株式会社NTTデータフロンティア

会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

コード	部門名	インデックス	有効期間 (開始)	有効期間 (終了)
			年 月 日	年 月 日
001	東京支店	トヨタウツ		
002	大阪支店	材加チ		
000	その他			

登録件数: 3

操作ガイド

コード

【参考】
コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数カナ 1~4桁
- ・検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 F6 複写 F7 削除 F8 表示設定 F9 F10 F11 F12 閉じる



登録した「コード」「部門名」は、「**2.2.4 固定値を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

2.1.5 摘要を確認する

仕訳処理画面「摘要」欄の使用用途を確認します。

「摘要」欄を既存の用途（メモ欄等）で使用していない場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を仕訳処理画面の項目「摘要」に連携する設定を選択します。

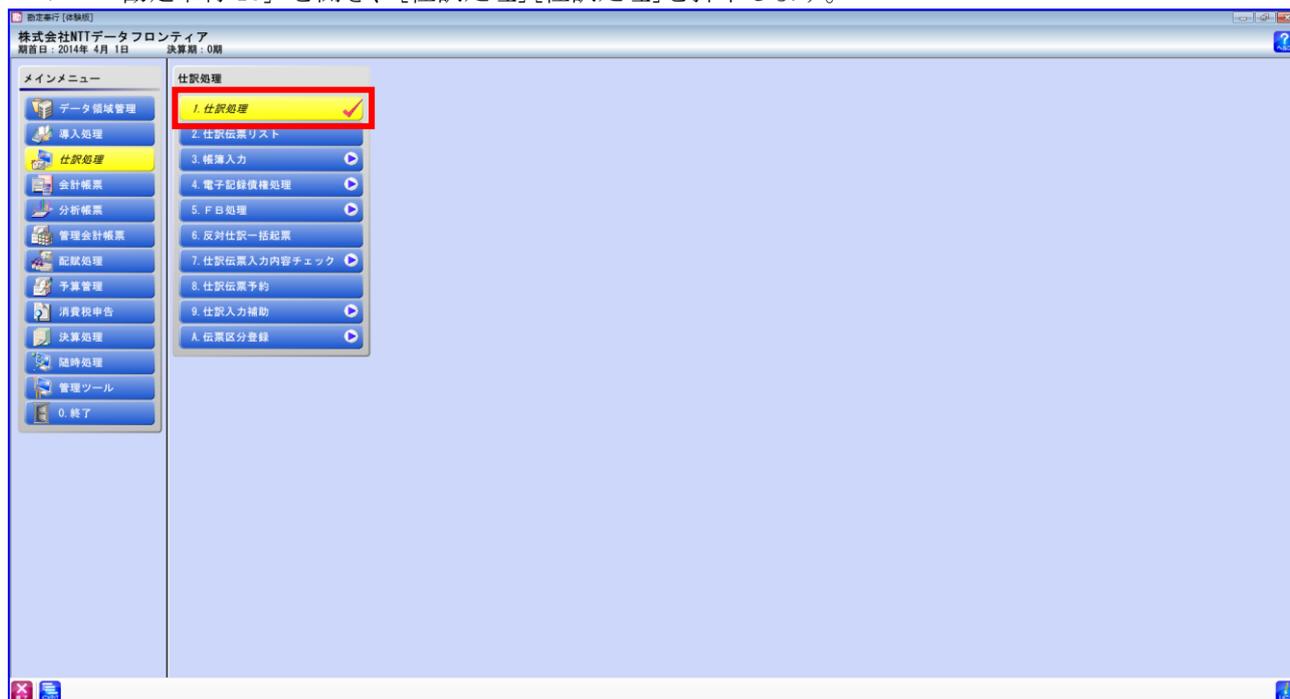
【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行 i8_SY、連携用_勘定奉行 i8_BY】

「摘要」欄を既存の用途（メモ欄等）で使用している場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を仕訳処理画面に連携しない設定を選択します。

（「依頼人 Ref.No.」を連携した場合、摘要欄が上書きされて登録されます。）

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行 i8_SN、連携用_勘定奉行 i8_BN】

「勘定奉行 i8」を開き、[仕訳処理][仕訳処理]を押下します。



- 仕訳処理画面の既存伝票を表示し、項目「摘要」を使用しているか確認します。「摘要」欄の使用用途を確認の上、使用フォーマットを選択ください。

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

新規 通常伝票 振替伝票
伝票日付: 14年 4月 1日 伝票No.:
伝票件数: 0
明細件数: 0

行	借方		貸方		摘要
	勘定科目 / 補助科目 取引先	金額	勘定科目 / 補助科目 取引先	金額	
1	131 電子記録債権 001 取引先A 株式会社	100,000	135 売掛金 001 取引先A 株式会社	100,000	REF.NO.0001
2	131 電子記録債権 002 取引先B 株式会社	200,000	135 売掛金 001 取引先A 株式会社	200,000	REF.NO.0002
3					
4					
5					
借方合計		300,000	貸方合計	300,000	
			貸借差額	0	

F1 操作説明 F2 F3 F4 定型登録 F5 F6 F7 F8 F9 F10 中止 F11 F12 登録

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順



操作方法

2.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号 AAAAAAAAAA

ファイル出力先 C:\AssistUser\My Documents\PackageAssist

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準

出力CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準

一括請求ファイル 出力する 出力しない

一括請求結果ファイル 出力する 出力しない

通知ファイル 出力する 出力しない

2.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.2 補助科目を確認する」または「2.1.3 取引先登録画面を確認する」で登録した取引先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	
▶ 1	11111111	取引先 A 株式会社	0000	001	1: 普通	1111111	001
2	22222222	取引先 B 株式会社	0000	002	1: 普通	2222222	002



本ソフトの[CSV 読込]を用いて「勘定奉行 i8」の取引先情報を読み込むことはできません。

取引先を補助科目登録画面で管理している場合の例を以下に示します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行 i8_BN、連携用_勘定奉行 i8_BY】

✚ 取引先 ID に補助科目のコードを登録します。

**勘定奉行i8
補助科目登録画面**

**一括請求Assist
(通知確認画面)**

取引先ID	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
001	A株式会社	0000	001	1: 普通	1111111	001
002	B株式会社	0000	002	1: 普通	2222222	002

取引先を取引先登録画面で管理している場合の例を以下に示します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行 i8_SN、連携用_勘定奉行 i8_SY】

- ✚ 取引先 ID に取引先登録画面のコードを登録します。

**勘定奉行i8
取引先登録画面**

取引先検索

検索条件

取引先名1 が [] を含む [] 検索(S)

無効な取引先を含める [] 詳細設定(I)>>

1~3件目を表示

コード	取引先名1	取引先名2
00000001	取引先A株式会社	
00000002	取引先B株式会社	
00000000	その他	

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 検索説明(H)

**一括請求Assist
(通知確認画面)**

取引先管理

CSV読み込み CSV出力

取引先情報	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
▶ 1	≡A株式会社	0000	001	1:普通	1111111	00000001
2	≡B株式会社	0000	002	1:普通	2222222	00000002

行ジャンプ [] 検索 [] エラージャンプ [] 次のエラー []

*必須項目 [] 戻る [] 更新 []

2.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットを選択し、[保存]を押下します。選択するフォーマットは「1.4 使用フォーマットについて」を参照ください。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

連携用_勘定奉行i8_SN
連携用_勘定奉行i8_SY
連携用_勘定奉行i8_BN
連携用_勘定奉行i8_BY
連携用_商奉行i8_N
連携用_商奉行i8_Y
連携用_会計X

2.2.4 固定値を設定する

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、「勘定奉行 i8」に登録されている勘定科目コードと部門コードを設定します。
- 出力 CSV 設定の[修正]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号 BBBBBBBBB

ファイル出力先 C:\Assist\User\My Documents\Package Assist 参照

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない
 一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)
全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

連携CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読み込み ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 連携用_勘定奉行i8_SY 修正 削除 新規作成 ファイル読み込み ファイル出力

一括請求結果ファイル 出力しない
 通知ファイル 出力しない

キャンセル 保存

- 出力 CSV フォーマットの通知の[設定]を押下します。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名 連携用_勘定奉行i8_SY
フォーマット形式 ヘッダレコード無

出力形式

日付形式 YYYYMMDD YYYY/MM/DD YYYY/M/D
金額形式 カンマ有 カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果 設定 ※未設定
通知 設定

開じる



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値を設定し、[保存]を押下します。
設定値については次ページの通り設定します。

出力 CSV フォーマット詳細設定
✕

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを
社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する 設定する 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 #1	1	
通知作成日 #1	2	
通知先情報_利用者番号 #1	3	
通知先情報_通知先名か #1	4	
通知先情報_金融機関コード #1	5	
通知先情報_金融機関名か #1	6	
通知先情報_支店コード #1	7	
通知先情報_支店名か #1	8	

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	37	
貸方勘定科目コード	38	
部門コード	39	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索 エラージャンプ

※上記サンプル画面は使用フォーマットに「連携用_勘定奉行 i8_SY」を設定した場合の画面です。

- 借方勘定科目コードの固定値について
「勘定奉行 i8」の勘定科目「電子記録債権」に対応するコードを設定します。

勘定奉行i8 (勘定科目登録画面)

一括請求Assist (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1	1	
通知作成日 *1	2	
通知先情報_利用者番号 *1	3	
通知先情報_通知先名か *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	5	
通知先情報_金融機関名か *1	6	
通知先情報_支店コード *1	7	
通知先情報_支店名か *1	8	

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	37	131
貸方勘定科目コード	38	
部門コード	39	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

- 貸方勘定科目コードの固定値について
「勘定奉行 i8」の勘定科目「売掛金」に対応するコードを設定します。

**勘定奉行i8
(勘定科目登録画面)**

**一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)**

出力CSV項目設定
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1	1	
通知作成日 *1	2	
通知先情報_利用者番号 *1	3	
通知先情報_通知先名 *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	5	
通知先情報_金融機関名 *1	6	
通知先情報_支店コード *1	7	
通知先情報_支店名 *1	8	

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	37	131
貸方勘定科目コード	38	135
部門コード	39	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

- 伝票部門コードの固定値について
「勘定奉行 i8」の「部門」に対応するコードを設定します。
「勘定奉行 i8」で部門を未使用の場合は、本固定値の設定は「0」（部門名：その他）を設定してください。

勘定奉行i8
(部門登録画面)

部門登録
株式会社NTTデータフロンティア

コード	部門名	インデックス	有
001			
001	東京支店	ウオウケン	
002	大阪支店	オサカケン	
000	その他		

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	値
作成対象区分 *1	1	
通知作成日 *1	2	
通知先情報_利用者番号 *1	3	
通知先情報_通知先名が *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	5	
通知先情報_金融機関名が *1	6	
通知先情報_支店コード *1	7	
通知先情報_支店名が *1	8	

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	値
借方勘定科目コード	37	131
貸方勘定科目コード	38	135
部門コード	39	001

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



本ソフトで設定する「勘定奉行 i8」との連携用の「部門コード」は1種類になります。複数の部門を使い分けて利用する場合は、連携後の「勘定奉行 i8」の仕訳処理画面で修正するか、連携の都度、本手順にて固定値を修正してください。
(仕訳処理画面での部門の修正方法については「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
1	CSV 項目数	39
2	利用者 ID の自動設定有無	
3	利用者 ID の自動設定有無 (通知先情報)	自動設定しない
4	利用者 ID の自動設定有無 (義務者情報、権利者情報)	自動設定する
5	タイトル行有無	
6	タイトル行有無	設定しない
7	出力 CSV 項目設定	
8	データレコード項目	
9	作成対象区分	1
10	通知作成日	2
11	通知先情報_利用者番号	3
12	通知先情報_通知先名か	4
13	通知先情報_金融機関コード	5
14	通知先情報_金融機関名か	6
15	通知先情報_支店コード	7
16	通知先情報_支店名か	8
17	通知先情報_口座種別	9
18	通知先情報_口座番号	10
19	通知先情報_利用者 ID	-
20	合計件数 (件)	11
21	合計金額 (円)	12
22	データレコード区分	13
23	義務者情報_義務者名	14
24	義務者情報_金融機関コード	15
25	義務者情報_金融機関名か	16
26	義務者情報_支店コード	17
27	義務者情報_支店名か	18
28	義務者情報_口座種別	19
29	義務者情報_口座番号	20
30	義務者情報_利用者 ID	35
31	権利者情報_権利者名	21
32	権利者情報_金融機関コード	22
33	権利者情報_金融機関名か	23
34	権利者情報_支店コード	24
35	権利者情報_支店名か	25
36	権利者情報_口座種別	26
37	権利者情報_口座番号	27
38	権利者情報_利用者 ID	36
39	債権金額 (円)	28
40	支払期日	29
41	譲渡制限有無	30
42	記録番号	31
43	依頼人 Ref. No.	32
44	電子記録年月日	33
45	取消区分	34

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
46	データレコード項目 (任意項目)	
47	借方勘定科目コード	37 (固定値：空)
48	貸方勘定科目コード	38 (固定値：空)
49	部門コード	39 (固定値：空)

【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

No	項目名	受入記号 (*1)	出力内容(*2)	備考
1	伝票区切	OBCD001	固定値：*	
2	伝票区分コード	CSJS001	スペース 2 桁	
3	用途区分	CSJS002	スペース 2 桁	
4	部門指定方法	CSJS003	スペース 1 桁	
5	伝票部門コード	CSJS004	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
6	日付	CSJS005	通知ファイル. 電子記録年月日	
7	整理区分	CSJS006	スペース 1 桁	
8	伝票 No.	CSJS007	スペース 6 桁	
9	伝票入力形式	CSJS009	スペース 1 桁	
10	借方情報			
11	部門コード	CSJS200	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
12	勘定科目コード	CSJS201	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
13	補助科目コード	CSJS202	① 固定値：0 ② 通知ファイル. 義務者情報の口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定	① 連携用_勘定奉行 i8_SN 利用時 連携用_勘定奉行 i8_SY 利用時 ② 連携用_勘定奉行 i8_BN 利用時 連携用_勘定奉行 i8_BY 利用時
14	税区分コード	CSJS203	スペース 4 桁	
15	税率区分コード	CSJS204	スペース 4 桁	
16	事業区分コード	CSJS205	スペース 4 桁	
17	消費税計算	CSJS206	スペース 1 桁	
18	端数処理	CSJS207	スペース 1 桁	
19	取引先コード	CSJS208	① 通知ファイル. 義務者情報の口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定 ② 固定値：0	① 連携用_勘定奉行 i8_SN 利用時 連携用_勘定奉行 i8_SY 利用時 ② 連携用_勘定奉行 i8_BN 利用時 連携用_勘定奉行 i8_BY 利用時
20	本体金額	CSJS213	通知ファイル. 債権金額	
21	消費税額	CSJS214	スペース 13 桁	
22	外貨コード	CSJS216	スペース 1 桁	
23	レート	CSJS217	スペース 1 桁	
24	外貨本体金額	CSJS218	スペース 14 桁	
25	外貨消費税額	CSJS219	スペース 14 桁	
26	貸方情報			
27	部門コード	CSJS300	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
28	勘定科目コード	CSJS301	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
29	補助科目コード	CSJS302	① 固定値：0 ② 通知ファイル. 義務者情報の口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定	① 連携用_勘定奉行 i8_SN 利用時 連携用_勘定奉行 i8_SY 利用時 ② 連携用_勘定奉行 i8_BN 利用時 連携用_勘定奉行 i8_BY 利用時
30	税区分コード	CSJS303	スペース 4 桁	
31	税率区分コード	CSJS304	スペース 4 桁	
32	事業区分コード	CSJS305	スペース 4 桁	

No	項目名	受入記号 (*1)	出力内容 (*2)	備考
33	消費税計算	CSJS306	スペース 1 桁	
34	端数処理	CSJS307	スペース 1 桁	
35	取引先コード	CSJS308	① 通知ファイル. 義務者情報の 口座情報 (金融機関コード/支店コード /口座種別/口座番号) に一致する取引 先管理情報. 取引先 ID を自動設定 ② 固定値: 0	① 連携用_勘定奉行 i8_SN 利用時 連携用_勘定奉行 i8_SY 利用時 ② 連携用_勘定奉行 i8_BN 利用時 連携用_勘定奉行 i8_BY 利用時
36	本体金額	CSJS313	通知ファイル. 債権金額	
37	消費税額	CSJS314	スペース 13 桁	
38	外貨コード	CSJS316	スペース 1 桁	
39	レート	CSJS317	スペース 1 桁	
40	外貨本体金額	CSJS318	スペース 14 桁	
41	外貨消費税額	CSJS319	スペース 14 桁	
42	適用など			
43	摘要	CSJS100	① スペース 40 桁 ② 通知ファイル. 依頼人 Ref. No.	① 連携用_勘定奉行 i8_SN 利用時 連携用_勘定奉行 i8_BN 利用時 ② 連携用_勘定奉行 i8_SY 利用時 連携用_勘定奉行 i8_BY 利用時
44	付箋色	CSJS101	スペース 1 桁	
45	付箋文字	CSJS102	スペース 400 桁	

*1 出力 CSV ファイルの 1 行目にヘッダ情報として出力されます。

*2 出力 CSV ファイルの 2 行目以降に出力されます。

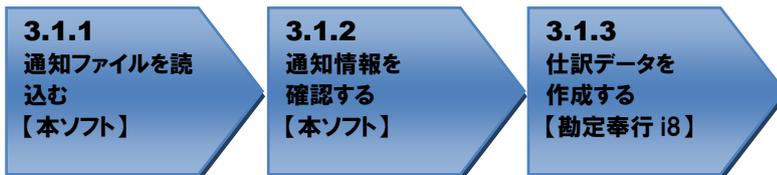
(CSV ファイルフォーマットの詳細については「勘定奉行 i8」のヘルプをご参照ください。)

3 連携手順

3.1 連携手順

「勘定奉行 i8」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順

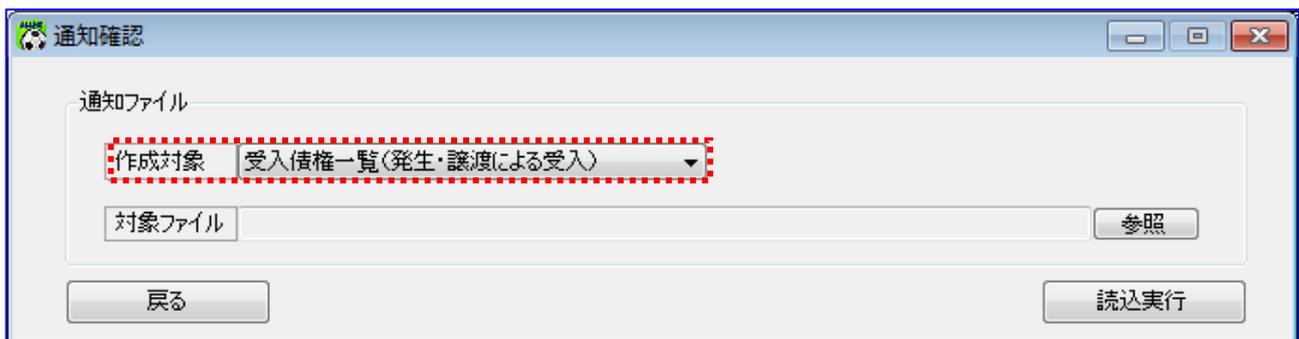


操作方法

3.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「勘定奉行 i8」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

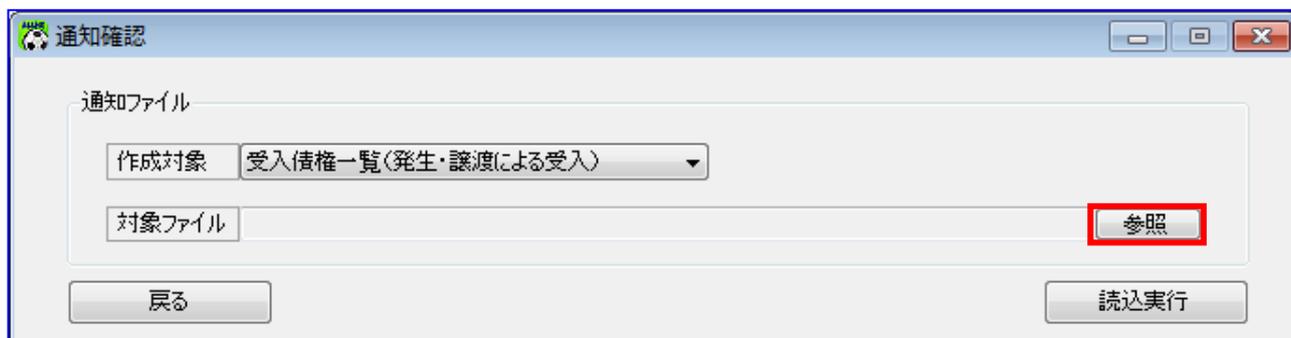
- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択します。



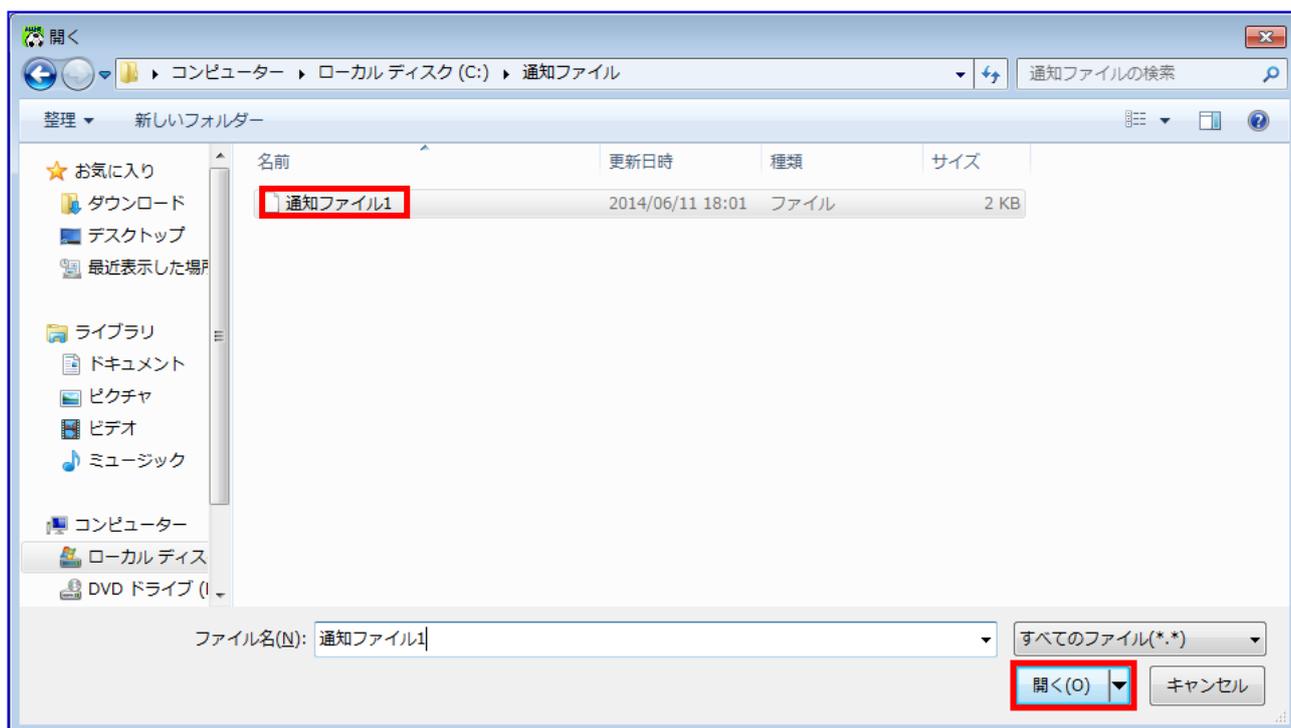
「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」とは通知情報から発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。

読み込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報（通知先情報の口座情報）が設定されている債権を抽出します。

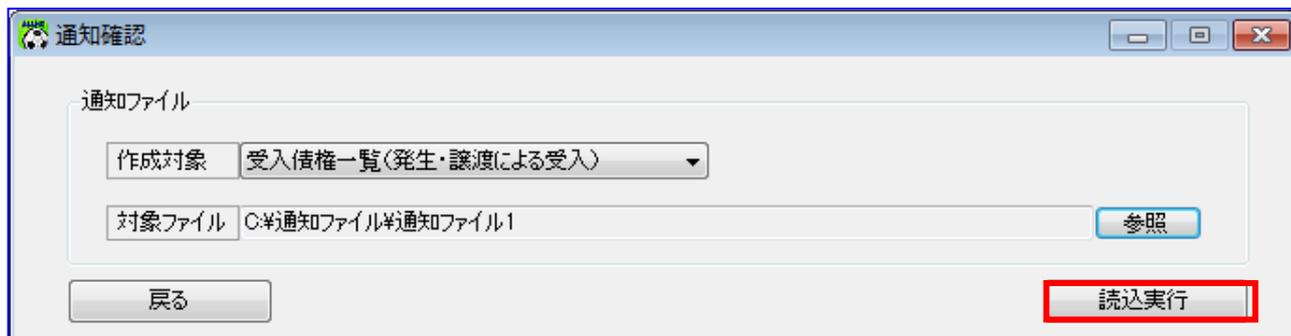
- ✚ 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます
[参照]を押下します。



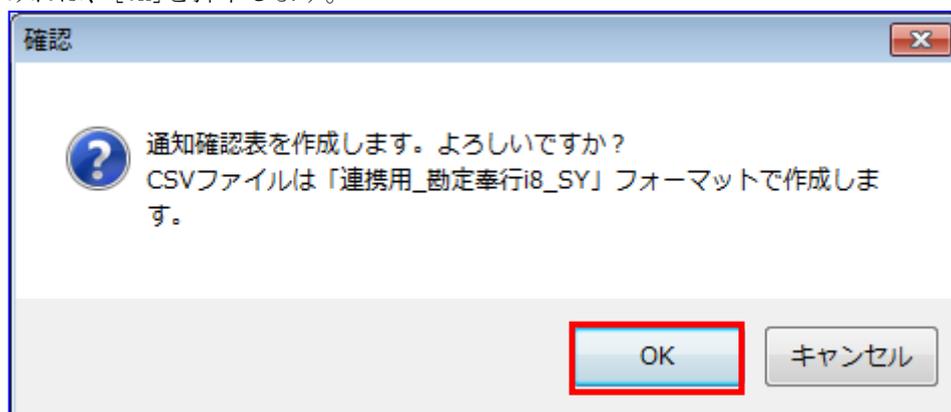
- ✚ [参照]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。

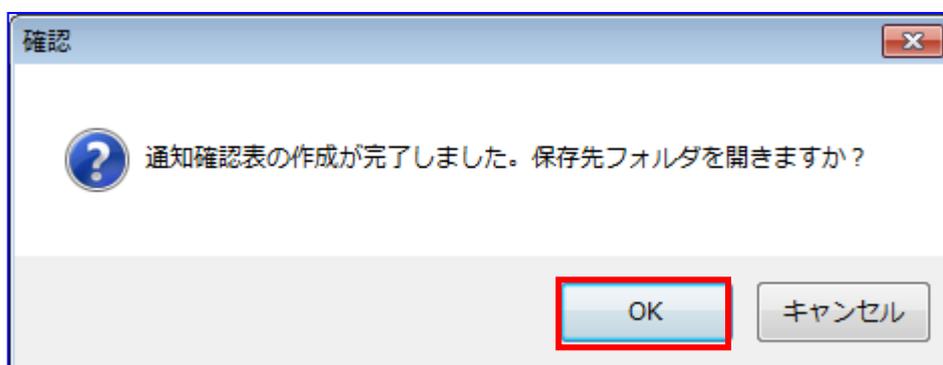


「**2.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（上記ダイアログの例では「連携用_勘定奉行 i8_SY」）が表示されます。

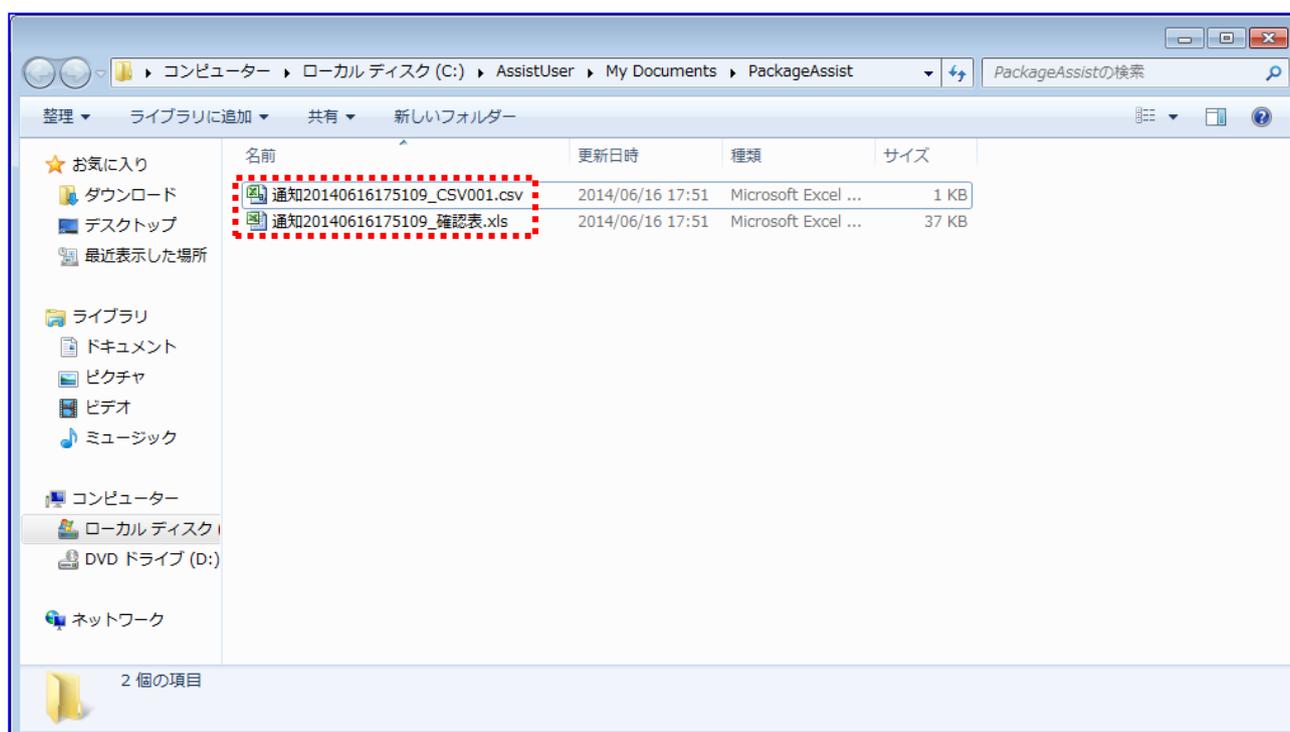


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご確認ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
作成した通知確認表の保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表 : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

CSV ファイル : 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv

3.1.2 通知情報を確認する

- 出力された通知確認表を開きます。
(通知確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.8.1 通知確認表(概要)**」、「**6.2.8.2 通知確認表**」をご参照ください。)

通知確認表は、「概要シート」と「詳細シート」で構成されています。

- 「概要シート」には、各詳細シートにおける CSV ファイル、通知先情報、合計件数、合計金額の一覧が出力されています。

例)通知確認表(概要シート)

No	シート名	CSVファイル	通知先 利用者番号	通知先名	通知先口座情報			合計件数(件)	合計金額(円)
1	通知確認表001	通知20130701143751_CS#001.csv	A00000001	株式会社 〇〇〇	0000	〇〇〇	001	2	2,000,000
2	通知確認表002	通知20130701143751_CS#002.csv	A00000001	株式会社 〇〇〇	0000	〇〇〇	001	2	2,000,000
3	通知確認表003	通知20130701143751_CS#003.csv	A00000001	株式会社 〇〇〇	0000	〇〇〇	001	3	3,000,000
4	通知確認表004	通知20130701143751_CS#004.csv	A00000001	株式会社 〇〇〇	0000	〇〇〇	001	3	3,000,000



- 「詳細シート」には、読込んだ通知ファイルの通知先口座情報毎の詳細情報が出力されています。

例)通知確認表(詳細シート)

No	区分	記録番号	債権金額(円)	電子記録年月日 支払期日	債務者名 権利者名	債務者口座情報 権利者口座情報	譲渡 制限	債権人RefNo.	取消 区分
1	01:発生 (債務者請求)	A0000000100000100000	1,000,000	2013/01/07	債務者 株式会社 〇〇〇	9999 〇〇〇	0:無	ARSDFGHILKJMNOPQRSTUW	
				2013/08/20	債権者 株式会社 〇〇〇	9999 〇〇〇	0:無	KYZ123456789	
2	01:発生 (債務者請求)	A0000000100000200000	1,000,000	2013/01/08	債務者 株式会社 〇〇〇	9999 〇〇〇	0:無	ARSDFGHILKJMNOPQRSTUW	
				2013/09/20	債権者 株式会社 〇〇〇	9999 〇〇〇	0:無	KYZ123456789	



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号）毎に作成されます。
電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

CSV ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



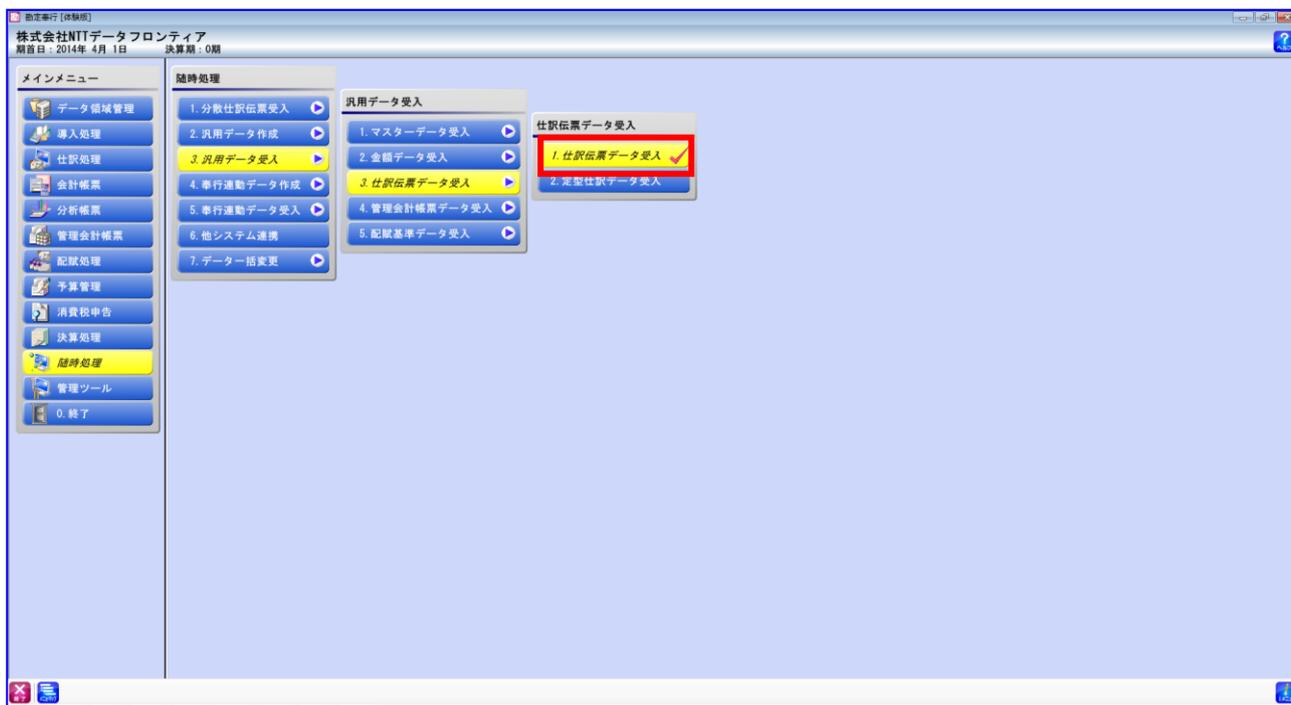
作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび CSV ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび CSV ファイルは出力されません。

3.1.3 仕訳データを作成する

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「勘定奉行 i8」で読み込み、仕訳データを作成します。

「勘定奉行 i8」を開き、[随時処理][汎用データ受入][仕訳伝票データ受入][仕訳伝票データ受入]を押下します。



『税率 5%の経過措置の取引伝票』については、本連携手順にて債権情報 CSV ファイルを読み込ませないようご注意ください。
(経過措置の取引伝票を利用する場合には、「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)

✚ [新規]を押下します。

仕訳伝票データ受入 - パターン選択

パターンコード	パターン名

新しいパターンは、[新規]または[複写]ボタンで作成します。
詳細⇒[操作説明]ボタン

OK
新規(N)
複写(C)...
削除(D)
キャンセル
操作説明(H)



仕訳伝票データ受入は一度受入を実施するとパターンが作成されるため、次回受入時は[新規]を押下せず、作成されたパターンを選択して[OK]を押下します。
作成されたパターンを選択した場合は受入元ファイル設定タブの受入元ファイル名を修正して[出力開始]を押下します。

- ✦ 基本設定タブのパターンコードに任意の番号を入力し、パターン名に用途がわかるように任意の名称を入力します。

仕訳伝票データ受入 - 受入条件設定

基本設定 | 受入ファイル設定 | 拡張項目 | エラー情報設定

パターンコード 0000000001 | パターン名 一括請求Assist連携用パターン

受入開始(E)

伝票No. 指定

伝票No. 設定に従う

1伝票ずつ画面に表示しながら受け入れる

伝票No. 設定 (参考)

付番方法	月度連番
付番基準	指定なし
システム自動付番	使用する
自動付番確認	確認しない
重複チェック方法	月度単位チェック
重複時登録処理	登録不許可

キャンセル

操作説明(H)

- ✦ 受入ファイル設定タブの[参照]を押下し、受入元ファイル名に「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」で作成した債権情報 CSV ファイルを選択し、受入開始ボタンを押下します。（受入データ形式は「OBC受入形式」を選択）

仕訳伝票データ受入 - 受入条件設定

基本設定 受入ファイル設定 拡張項目 エラー情報設定

受入データ形式

[100] OBC受入形式 形式作成(S)...

詳細情報

区切文字 :
受入開始位置 :

受入元ファイル名

C:\AssistUser\My Documents\PackageAssist\通知20140616202851_CSV001.csv 参照(B)...

文字コード : Shift-JIS 変更(G)...

OBCD001,CSJS001,CSJS002,CSJS003,CSJS004,CSJS005,CSJS006,CSJS007,CSJS009,CSJS200,CSJS201,CSJS202,CSJS
*, , , ,001,2014/06/11, , , ,001,131, , , , , ,00000001,100000, , , ,
*, , , ,001,2014/06/11, , , ,001,131, , , , , ,00000002,200000, , , ,

[参照...] ボタンをクリックし、受け入れる汎用データのファイル名を指定します。
ファイル名を指定すると、汎用データの内容が表示されます。
注意 汎用データの内容が文字化けして表示される場合は、[変更...] ボタンをクリックし、文字コードを変更します。
詳細⇒[操作説明] ボタン

受入開始(E)

キャンセル

操作説明(H)



基本設定タブのチェックボックス「1伝票ずつ画面に表示しながら受け入れる」をオンにして[受入開始]を押下すると、1伝票ずつ確認しながら受け入れることができます。

全ての債権情報 CSV データが受入済になったことを確認し、[閉じる]を押下します。

仕訳伝票データ受入 - 受入結果確認

確認内容 | 印刷設定 | プリンタ設定

汎用データ受入が終了しました。
受入結果を確認できます。

内容確認

<input checked="" type="radio"/> 受入済データ	伝票件数	2 件
	ファイルの行数	2 行
<input type="radio"/> 未受入データ	伝票件数	0 件
	ファイルの行数	0 行

未受入データになった場合は、未受入データの内容を出力し、未受入理由をご確認ください。
未受入理由を参考に、未受入データを修正し、再度受け入れてください。
詳細⇒[操作説明]ボタン

印刷(P) | プレビュー(I) | 転送(E)... | 閉じる(C) | 操作説明(H)



「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」にて複数の債権情報 CSV ファイルが作成された場合、本項に処理を CSV ファイル数分繰り返して受入を行ってください。



未受入データに件数が表示されている場合、[プレビュー]を押下し、エラー内容を確認してください。
また、「**2 連携事前設定**」の設定が正しく行われているか確認してください。

- 仕訳伝票の内容を確認します。
[仕訳処理][仕訳処理]を押下します。



- 仕訳伝票の内容を確認し、問題がある場合は当画面より修正を行います。
(仕訳処理画面での部門の修正方法については「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)

【対象の使用フォーマット: 連携用_勘定奉行 i8_SY の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票
伝票日付 14年 6月 11日 伝票No. 000017
伝票件数 4
明細件数 4

行	借方			貸方			摘要
	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額			
1	001 東京支店		001 東京支店			REF.NO.000001	
	131 電子記録債権	100,000	135 売掛金	100,000			
	000 その他		000 その他				
	00000001 取引先 A 株式会社		00000001 取引先 A 株式会社				
2							
3							
4							
	借方合計	100,000	貸方合計	100,000			
			貸借差額	0			

[F1] 操作説明 [F2] 伝票発行 [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] 反対仕訳 [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

【対象の使用フォーマット:連携用_勘定奉行 i8_SN の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照: 通常伝票 | 振替伝票
伝票日付: 14年 6月 11日 | 伝票No.: 000027
伝票件数: 12
明細件数: 12

行	借方			貸方			摘要
	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額			
1	001 東京支店 131 電子記録債権 000 その他 00000001 取引先 A 株式会社	100,000	001 東京支店 135 売掛金 000 その他 00000001 取引先 A 株式会社	100,000			
2							
3							
4							
	借方合計	100,000	貸方合計	100,000			
			貸借差額	0			

[F1] 操作説明 | [F2] 伝票発行 | [F3] 付箋 | [F4] 前伝票 | [F5] 次伝票 | [F6] 複写 | [F7] 削除 | [F8] 反対仕訳 | [F9] 修正 | [F10] 中止 | [F11] | [F12] 閉じる

【対象の使用フォーマット:連携用_勘定奉行 i8_BN の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照	通常伝票	振替伝票	伝票No.	000029	伝票件数	14
伝票日付	14年 6月 11日				明細件数	14

行	借方			貸方			摘要
	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額			
1	001 東京支店		001 東京支店				
	131 電子記録債権	100,000	135 売掛金	100,000			
	001 取引先 A 株式会社		001 取引先 A 株式会社				
2							
3							
4							
	借方合計	100,000	貸方合計	100,000			
			貸借差額	0			

[F1] 操作説明 [F2] 伝票発行 [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] 反対仕訳 [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

【対象の使用フォーマット:連携用_勘定奉行 i8_BY の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票
伝票日付 14年 6月 11日 伝票No. 000031
伝票件数 16
明細件数 16

行	借方			貸方			摘要
	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	取引先	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	取引先	
1	001 東京支店 131 電子記録債権 001 取引先 A 株式会社	100,000		001 東京支店 135 売掛金 001 取引先 A 株式会社	100,000		REF.NO.000001
2							
3							
4							
	借方合計	100,000		貸方合計	100,000		
				貸借差額	0		

F1 操作説明 F2 伝票発行 F3 付箋 F4 前伝票 F5 次伝票 F6 複写 F7 削除 F8 反対仕訳 F9 修正 F10 中止 F11 F12 閉じる



本ソフトで設定する「勘定奉行 i8」との連携用の「部門コード」は1種類になります。複数の部門を使い分けて利用する場合は、連携後の本仕訳処理画面で修正するか、連携の都度、「**2.2.4 固定値を設定する**」にて固定値を修正してください。
(仕訳処理画面での部門の修正方法については「勘定奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(勘定奉行 i8)

平成 26 年 8 月 18 日 第 2.1 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、電子記録債権サービスである「でんさいネット」を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編 (商奉行 i8)

第 2.1 版

目次

はじめに.....	2
1 連携の概要.....	3
1.1 連携の概要.....	3
1.2 連携条件について.....	4
1.3 連携の流れ.....	8
1.4 使用フォーマットについて.....	9
2 連携事前設定.....	10
2.1 「商奉行 i8」の事前設定.....	10
2.1.1 得意先を確認する.....	10
2.1.2 入金伝票画面の摘要を確認する.....	15
2.2 本ソフトの事前設定.....	17
2.2.1 通知確認設定情報を設定する.....	17
2.2.2 取引先を設定する.....	18
2.2.3 出力 CSV 設定を設定する.....	20
3 連携手順.....	24
3.1 連携手順.....	24
3.1.1 通知ファイルを読み込む.....	24
3.1.2 通知情報を確認する.....	28
3.1.3 入金伝票を作成する.....	30

はじめに

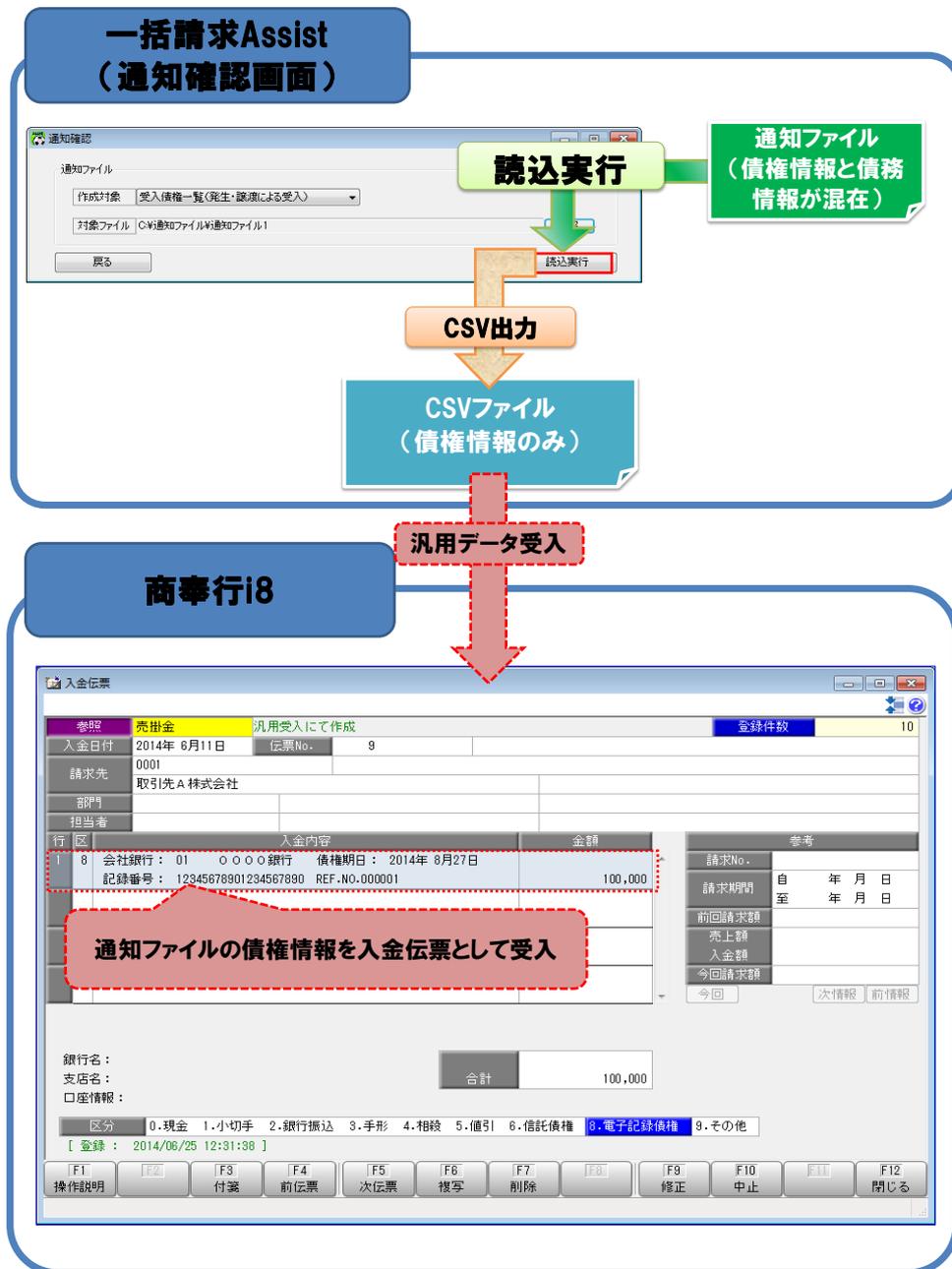
本書では、本ソフトと株式会社オービックビジネスコンサルタントの販売管理ソフト「商奉行 i8」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

本書に記載されていない「商奉行 i8」のその他機能の詳細については、「商奉行 i8」の操作説明をご参照ください。

1 連携の概要

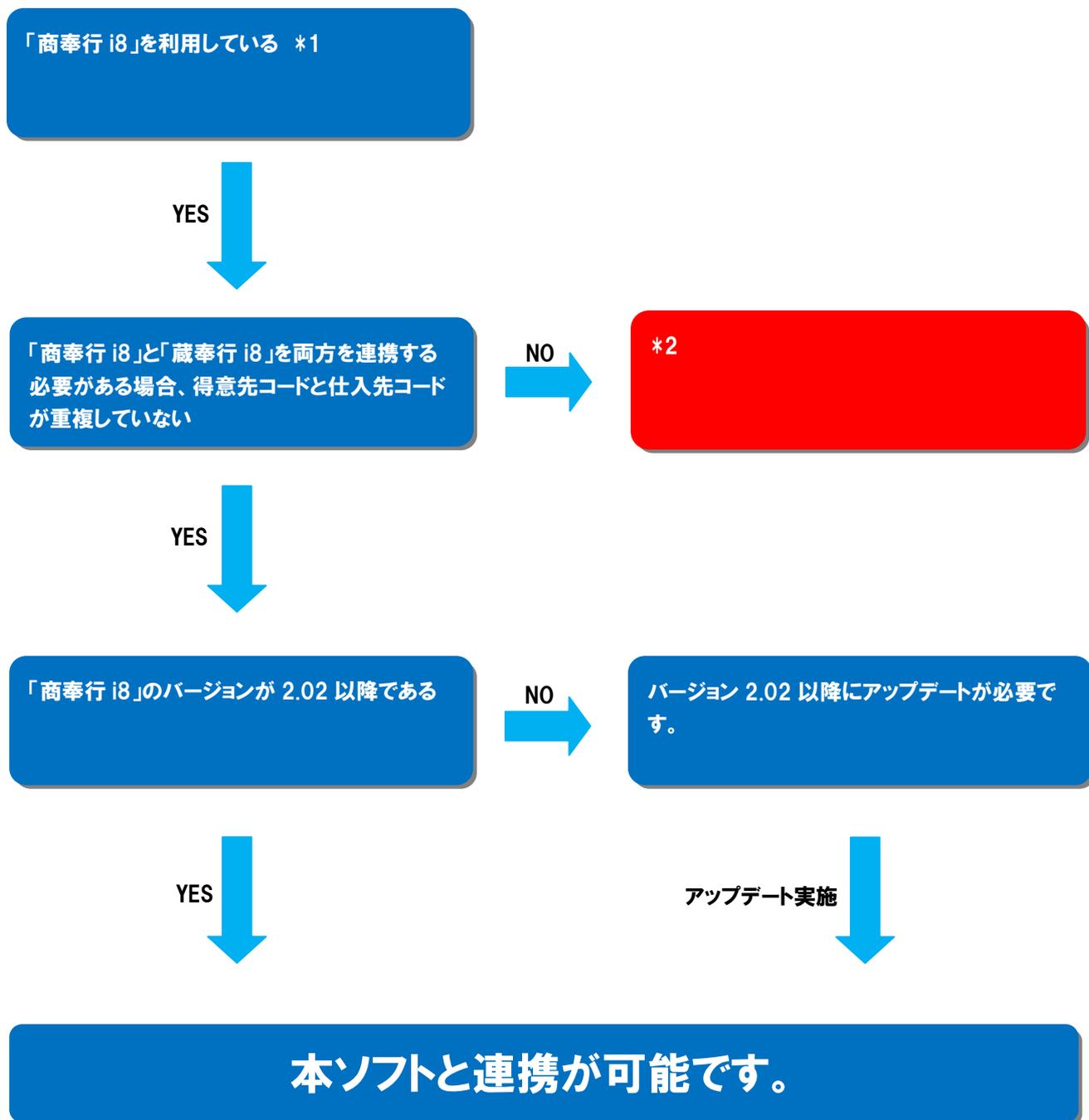
1.1 連携の概要

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「商奉行 i8」に読み込むことにより、簡単に入金伝票を作成することができます。



1.2 連携条件について

本ソフトと連携が可能となる条件は下記の通りとなります。



*1 「商奉行 i8」以外とは連携ができません。（「商奉行 21」、「商奉行 i」など）

*2 「商奉行 i8」と「蔵奉行 i8」では、管理している「得意先コード」と「仕入先コード」を別管理しているため、それぞれに同一のコード値を設定することができますが、本ソフト上の「取引先管理画面」に設定する連携用の「取引先 ID」については、共通の設定になります。

そのため、「商奉行 i8」と「蔵奉行 i8」で管理している「得意先コード」と「仕入先コード」の値が重複しないように設定をする（桁数、コード値が異なる）必要があります。

※コード値が重複している場合についても、「商奉行 i8」と「蔵奉行 i8」のいずれかのコード値のみ本ソフトに登録することで、いずれかのソフトのみとの連携は可能です。

※例として「得意先コード:0001」「仕入先コード:00001」は本ソフトでは重複しないで設定可能です。そのため、「商奉行 i8」「蔵奉行 i8」のコード桁数設定で「得意先コード」と「仕入先コード」に異なる桁数を設定できる場合は「商奉行 i8」と「蔵奉行 i8」の両ソフトと連携可能になります。

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先ID	取引先名	金種別コード	支店コード	口座種別	口座番号	得意先コード	仕入先コード
1	取引先A株式会社	0000	001	2: 当座	11111111	0001	00001
2	取引先B株式会社	0000	001	2: 当座	22222222	0002	00002
3	仕入先A株式会社	0000	001	2: 当座	33333333	0003	00003
4	仕入先B株式会社	0000	001	2: 当座	44444444	0004	00004

商奉行i8 得意先登録画面

得意先検索

検索条件
得意先名1 が を含む 検索(S)
 無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

得意先コード	得意先略称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

蔵奉行i8 仕入登録画面

仕入先検索

検索条件
仕入先名1 が を含む 検索(S)
 無効な仕入先を含める 仕入先コード順で並べる 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

仕入先コード	仕入先略称	仕入先名1	仕入先名2
0003	仕入先A株式会社	仕入先A株式会社	
0004	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

「商奉行i8」の「得意先コード」と「蔵奉行i8」の仕入先コードでコード値が重複しないように設定が必要

「商奉行i8」と「歳奉行i8」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードが同一桁数
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

取引先名	得意先コード	仕入先コード	得意先種別	仕入先種別
取引先A株式会社	0001	001	売上得意	仕入先A
取引先B株式会社	0002	001	売上得意	仕入先A
取引先C株式会社	0003	001	売上得意	仕入先A
取引先D株式会社	0004	001	売上得意	仕入先A

商奉行i8
 得意先登録画面

得意先コード	得意先名称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

得意先コード: 0001, 0002

両ソフトの連携が可能

歳奉行i8
 仕入先登録画面

仕入先コード	仕入先名称	仕入先名1	仕入先名2
0003	仕入先A株式会社	仕入先A株式会社	
0004	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

仕入先コード: 0003, 0004

「商奉行i8」と「歳奉行i8」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

取引先名	得意先コード	仕入先コード	得意先種別	仕入先種別
取引先A株式会社	0001	001	売上得意	仕入先A
取引先B株式会社	0002	001	売上得意	仕入先A
取引先C株式会社	0003	001	売上得意	仕入先A
取引先D株式会社	0004	001	売上得意	仕入先A

商奉行i8
 得意先登録画面

得意先コード	得意先名称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

得意先コード: 0001, 0002

両ソフトの連携が可能

歳奉行i8
 仕入先登録画面

仕入先コード	仕入先名称	仕入先名1	仕入先名2
00001	仕入先A株式会社	仕入先A株式会社	
00002	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

仕入先コード: 00001, 00002

「商奉行i8」と「蔵奉行i8」の両ソフト連携可能例:

- ・得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
- ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先番号	取引先名	全額明細コード	得意先コード	得意先種別	得意先番号	取引先種別
1	取引先A株式会社	0000	0001	仕入先	0001	仕入先
2	取引先B株式会社	0000	0001	仕入先	0002	仕入先
3	仕入先B株式会社	0000	0001	仕入先	0003	仕入先
4	仕入先B株式会社	0000	0001	仕入先	0004	仕入先

商奉行i8 得意先登録画面

得意先コード: 0001, 0002

得意先コード	得意先名称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

蔵奉行i8 仕入先登録画面

仕入先コード: 00003, 00004

仕入先コード	仕入先名称	仕入先名1	仕入先名2
00003	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	
00004	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

両ソフトの連携が可能

「商奉行i8」と「蔵奉行i8」のいずれかのみ連携可能例:

- ・得意先コードと仕入先コードが同一桁数
- ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist (取引先管理画面)

得意先コードと仕入先コードの桁数・コード値が同一であるため、「商奉行i8」と「蔵奉行i8」のいずれかのみ連携可能

商奉行i8 得意先登録画面

得意先コード: 0001, 0002

得意先コード	得意先名称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

蔵奉行i8 仕入先登録画面

仕入先コード: 0001, 0002

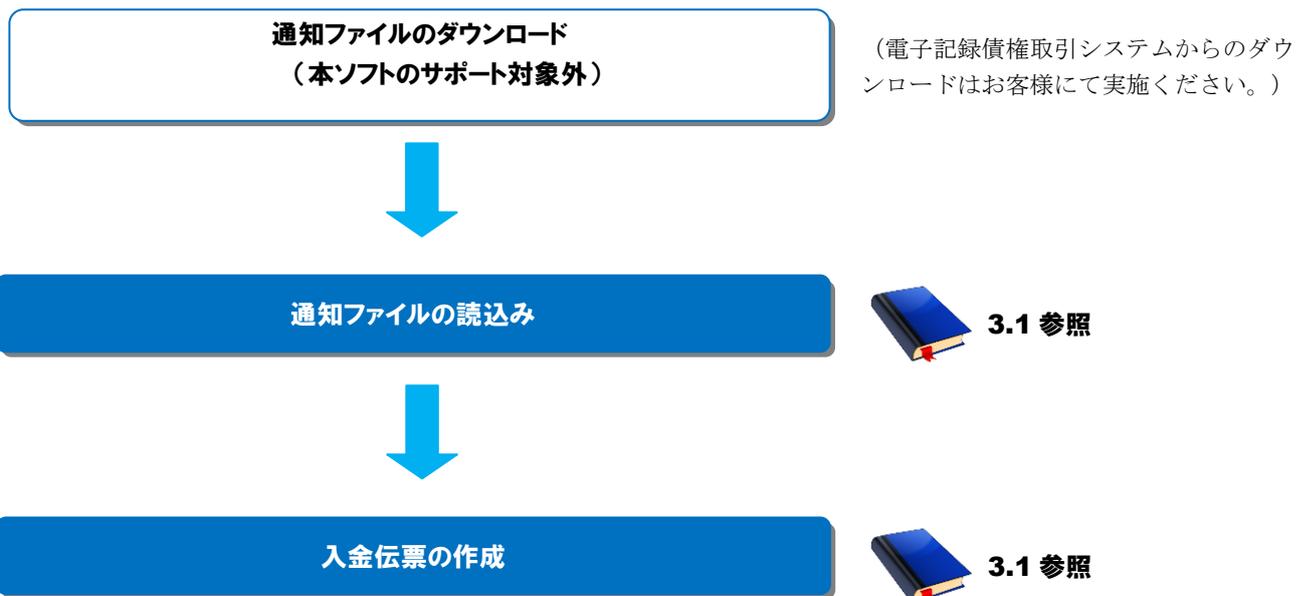
仕入先コード	仕入先名称	仕入先名1	仕入先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

1.3 連携の流れ

事前設定



連携手順



1.4 使用フォーマットについて

「商奉行 i8」との連携で使用するフォーマットについて説明します。

「商奉行 i8」の利用状況に応じて、下記使用フォーマットから適切なものを選択してください。以降の設定については、選択した使用フォーマットに沿って実施してください。

条件1 *1	選択する使用フォーマット
「商奉行 i8」の入金伝票画面の「摘要」を <u>使用している</u> 場合	連携用_商奉行 i8_N
「商奉行 i8」の入金伝票画面の「摘要」を <u>使用していない</u> 場合	連携用_商奉行 i8_Y

*1：詳細は「**2.1.2 入金伝票画面の摘要を確認する**」をご参照ください。

2 連携事前設定

2.1 「商奉行 i8」の事前設定

連携を行うための「商奉行 i8」の事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1

得意先登録画面を
確認する

2.1.2

入金伝票画面の
摘要を確認する

操作方法

2.1.1 得意先を確認する

連携で使用する得意先が登録されているか確認します。

「商奉行 i8」を開き、[導入処理] [得意先登録] [得意先登録]を押下します。



「コード」の[検索]を押下します。

得意先登録

得意先コード

得意先名 フリガナ

得意先名 1

得意先名 2

得意先略称

登録件数 3

基本 属性 販売 請求 回収 振込 統一伝票 メモ

利用状態

台帳インデックス

郵便番号

住所 1

住所 2

電話番号 FAX番号

ホームページ

担当者名

担当者部署名

担当者役職名

担当者電話番号 担当者携帯番号

担当者FAX番号

担当者E-Mail

敬称

操作ガイド

得意先コード

【参考】

- コードは、数字、英大文字、英小文字、カナの順に並びます。
- コード桁数は、[コード桁数/項目名称設定]メニューで変更できます。
- 前ゼロを自動表示するかを、[会社機能設定]メニューで設定できます。

・英数カナ4~13桁
・検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 短縮設定 F4 F5 次データ F6 複写 F7 削除 F8 検索 F9 初期値 F10 設定 F11 F12 閉じる

-
- 「即時検索しない」を選択し、[検索]を押下します。

得意先検索

検索条件

得意先名1 が [] を含む

無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる

検索(S)

詳細設定(I)>>

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)

- ✚ 得意先に対応するレコードが存在することを確認します。
存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「商奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)

得意先検索

検索条件

得意先名1 が を含む

無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる

検索(S) 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

得意先コード	得意先略称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先 A 株式会社	取引先 A 株式会社	
0002	取引先 B 株式会社	取引先 B 株式会社	

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)



電子記録債権を受け入れる対象の得意先を全て登録しておく必要があります。
得意先が増減した場合は、都度修正ください。



登録した「得意先コード」は、「**2.2.2 取引先を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

✚ 得意先の振込タブに、会社銀行が設定されていることを確認します。

修正

得意先コード	0001
得意先名フリガナ	トクイキョウブシカイシャ
得意先名 1	得意先 A 株式会社
得意先名 2	
得意先略称	得意先 A 株式会社

登録件数 4

基本 属性 販売 請求 回収 振込 統一伝票 メモ 相殺

会社銀行 01 〇〇〇〇銀行

口座番号

振込依頼人名 1	
振込依頼人名 2	
振込依頼人名 3	
振込依頼人名 4	
振込依頼人名 5	
振込依頼人名 6	
振込依頼人名 7	
振込依頼人名 8	
振込依頼人名 9	
振込依頼人名 10	

操作ガイド

得意先名 1

見積書・納品書・請求書・注文書・宛名ラベル・送り状に印字する、得意先の正式名称を入力します。

【参考】

- 得意先名 1 を入力すると、自動的に得意先名フリガナが表示されます。
- 得意先略称にも自動的に同じ名称が表示されます。

32文字

[F1] 操作説明 [F2] [F3] [F4] 前画面 [F5] 次画面 [F6] [F7] [F8] [F9] [F10] 中止 [F11] [F12] 登録

2.1.2 入金伝票画面の摘要を確認する

入金伝票画面「摘要」欄の使用用途を確認します。

「摘要」欄を既存の用途（メモ欄等）で使用していない場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref. No.」を入金伝票画面の項目「摘要」に連携する設定を選択します。

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行 i8_Y】

「摘要」欄を既存の用途（メモ欄等）で使用している場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref. No.」を入金伝票画面に連携しない設定を選択します。

（「依頼人 Ref. No.」を連携した場合、摘要欄が上書きされて登録されます。）

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行 i8_N】

🚦 「商奉行 i8」を開き、[販売管理][入金処理][入金伝票]を押下します。



- 入金伝票画面の既存伝票を表示し、項目「摘要」を使用しているか確認します。「摘要」欄の使用用途を確認の上、使用フォーマットを選択ください。

入金伝票

参照 **売掛金** 登録件数 8

入金日付 2014年 6月25日 伝票No. 5

請求先 0001
取引先A 株式会社

部門
担当者

行	区	入金内容	金額
1	8	会社銀行： 01 ○○○○銀行 債権期日： 2014年 6月27日 記録番号： 12345678901234567890 REF.NO.000001	100,000

銀行名：
支店名：
口座情報：

合計 100,000

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.信託債権 **8.電子記録債権** 9.その他

[登録： 2014/06/25 11:19:05]

[F1] 操作説明 [F2] [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順

2.2.1

通知確認設定情報を設定する

2.2.2

取引先を設定する

2.2.3

出力 CSV 設定を設定する

操作方法

2.2.1 通知確認設定情報を設定する

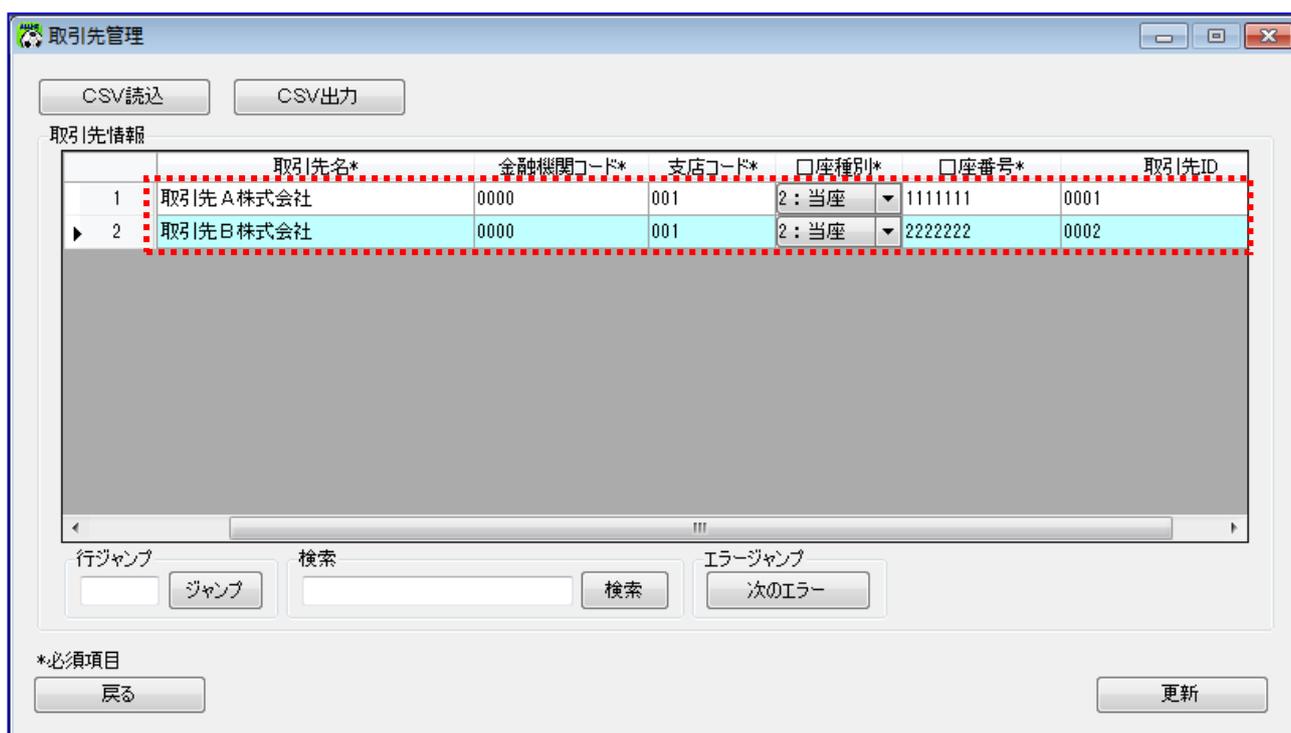
- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し[保存]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '通知確認設定情報' (Notification Confirmation Settings) section is highlighted with a red dashed box. The '予約通知' (Reservation Notification) option is set to '出力しない' (Output No).

設定項目	設定内容
請求者利用者番号	通常利用時 (選択済み)
利用者番号	AAAAAAAAA
ファイル出力先	C:\AssistUser\My Documents\PackageAssist
口座種別区分	別段を利用しない (選択済み)
一括請求ファイル拡張子	付与しない (選択済み)
メニュー表示有無	発生記録(債権者)請求 表示する (選択済み)
譲渡記録設定情報	保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) (選択済み)
全額譲渡時の金額入力	入力する (選択済み)
通知確認設定情報	予約通知 出力しない (選択済み)
読込CSV設定	一括請求Assist標準 (選択済み)
出力CSV設定	一括請求Assist標準 (選択済み)
一括請求ファイル	出力しない (選択済み)
一括請求結果ファイル	出力する (選択済み)
通知ファイル	出力する (選択済み)

2.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「**2.1.1 得意先登録画面を確認する**」で登録した得意先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。



	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
1	取引先 A 株式会社	0000	001	2: 当座	11111111	0001
▶ 2	取引先 B 株式会社	0000	001	2: 当座	22222222	0002



本ソフトの[CSV 読込]を用いて「商奉行 i8」の取引先情報を読み込むことはできません。

取引先 ID に得意先登録画面のコードを登録します。

商奉行i8 得意先登録画面

得意先検索

検索条件

得意先名1 が を含む

無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる

検索(S) 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

得意先コード	得意先略称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先 A 株式		
0002	取引先 B 株式		

電子記録債権を受け入れる
対象の得意先

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 作説明(H)

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先管理

CSV読み込み CSV出力

取引先情報

	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
1	取引先 A 株式会社	0000	001	2: 当座	1111111	0001
2	取引先 B 株式会社	0000	001	2: 当座	2222222	0002

電子記録債権を受け入れる
対象の得意先を全て登録する

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

*必須項目 戻る 更新

2.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットを選択し、[保存]を押下します。選択するフォーマットは「1.4 使用フォーマットについて」を参照ください。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

連携用_勘定奉行i8_SN
連携用_勘定奉行i8_SY
連携用_勘定奉行i8_BN
連携用_勘定奉行i8_BY
連携用_商奉行i8_N
連携用_商奉行i8_Y
連携用_会計X



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値) 連携用_商奉行 i8_N	項目番号(カッコ内は固定値の値) 連携用_商奉行 i8_Y
1	CSV 項目数	24	24
2	利用者 ID の自動設定有無		
3	利用者 ID の自動設定有無 (通知先情報)	自動設定しない	自動設定しない
4	利用者 ID の自動設定有無 (義務者情報、権利者情報)	自動設定する	自動設定する
5	タイトル行有無		
6	タイトル行有無	設定しない	設定しない
7	出力 CSV 項目設定		
8	データレコード項目		
9	作成対象区分	-	-
10	通知作成日	-	-
11	通知先情報_利用者番号	-	-
12	通知先情報_通知先名か	-	-
13	通知先情報_金融機関コード	-	-
14	通知先情報_金融機関名か	-	-
15	通知先情報_支店コード	-	-
16	通知先情報_支店名か	-	-
17	通知先情報_口座種別	-	-
18	通知先情報_口座番号	-	-
19	通知先情報_利用者 ID	-	-
20	合計件数 (件)	-	-
21	合計金額 (円)	-	-
22	データレコード区分	-	-
23	義務者情報_義務者名	-	-
24	義務者情報_金融機関コード	-	-
25	義務者情報_金融機関名か	-	-
26	義務者情報_支店コード	-	-
27	義務者情報_支店名か	-	-
28	義務者情報_口座種別	-	-
29	義務者情報_口座番号	-	-
30	義務者情報_利用者 ID	5	5
31	権利者情報_権利者名	-	-
32	権利者情報_金融機関コード	-	-
33	権利者情報_金融機関名か	-	-
34	権利者情報_支店コード	-	-
35	権利者情報_支店名か	-	-
36	権利者情報_口座種別	-	-
37	権利者情報_口座番号	-	-
38	権利者情報_利用者 ID	-	-
39	債権金額 (円)	22	22
40	支払期日	18	18
41	譲渡制限有無	-	-
42	記録番号	19	19
43	依頼人 Ref. No.	-	12
44	電子記録年月日	3	3
45	取消区分	-	-

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値) 連携用_商奉行 i8_N	項目番号(カッコ内は固定値の値) 連携用_商奉行 i8_Y
46	データレコード項目 (任意項目)		
47	伝票区切	1 (固定値：*)	1 (固定値：*)
48	入金区分	10 (固定値：8)	10 (固定値：8)

【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

No	項目名	受入記号(*1)	出力内容(*2)	備考
1	伝票区切	OBCD001	固定値：*	
2	伝票区分	DSRM007	スペース 1 桁	
3	入金日付	DSRM001	通知ファイル, 電子記録年月日	
4	伝票 No.	DSRM002	スペース 6 桁	
5	請求先コード	DSRM003	通知ファイル, 義務者情報の口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に一致する取引先管理情報, 取引先 ID を自動設定	
6	部門コード	DSRM004	スペース 1 桁	
7	担当者コード	DSRM005	スペース 4 桁	
8	プロジェクトコード	DSRM006	スペース 4 桁	
9	仕訳対象区分コード	DSRM008	スペース 1 桁	
10	入金区分	DSRM201	固定値：8	
11	申告書計算区分	DSRM203	スペース 2 桁	
12	明細摘要	DSRM204	① スペース 40 桁 ② 通知ファイル, 依頼人 Ref. No.	① 連携用_商奉行 i8_N 利用時 ② 連携用_商奉行 i8_Y 利用時
13	手形期日	DSRM205	スペース 11 桁	
14	手形 No.	DSRM206	スペース 10 桁	
15	会社銀行コード	DSRM207	スペース 2 桁	
16	信販会社コード	DSRM210	スペース 4 桁	
17	回収期日	DSRM211	スペース 11 桁	
18	債権期日	DSRM215	通知ファイル, 支払期日	
19	記録番号	DSRM216	通知ファイル, 記録番号	
20	振込手数料	DSRM208	スペース 6 桁	
21	信販手数料	DSRM212	スペース 13 桁	
22	入金金額	DSRM209	通知ファイル, 債権金額	
23	付箋色	DSRM213	スペース 1 桁	
24	付箋メモ	DSRM214	スペース 400 桁	

*1 出力 CSV ファイルの 1 行目にヘッダ情報として出力されます。

*2 出力 CSV ファイルの 2 行目以降に出力されます。

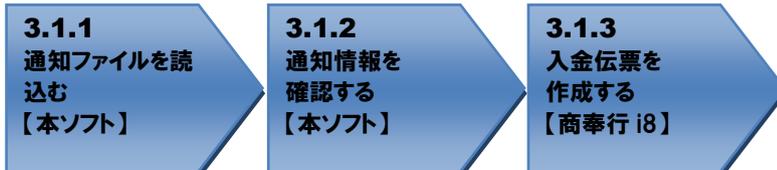
(CSV ファイルフォーマットの詳細については「商奉行 i8」のヘルプをご参照ください。)

3 連携手順

3.1 連携手順

「商奉行 i8」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「商奉行 i8」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択します。

通知確認

通知ファイル

作成対象 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

対象ファイル 参照

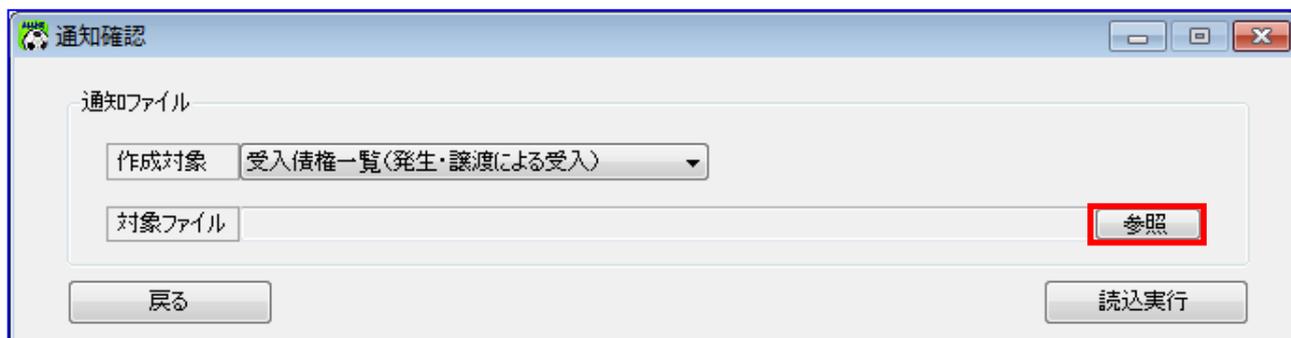
戻る 読み実行



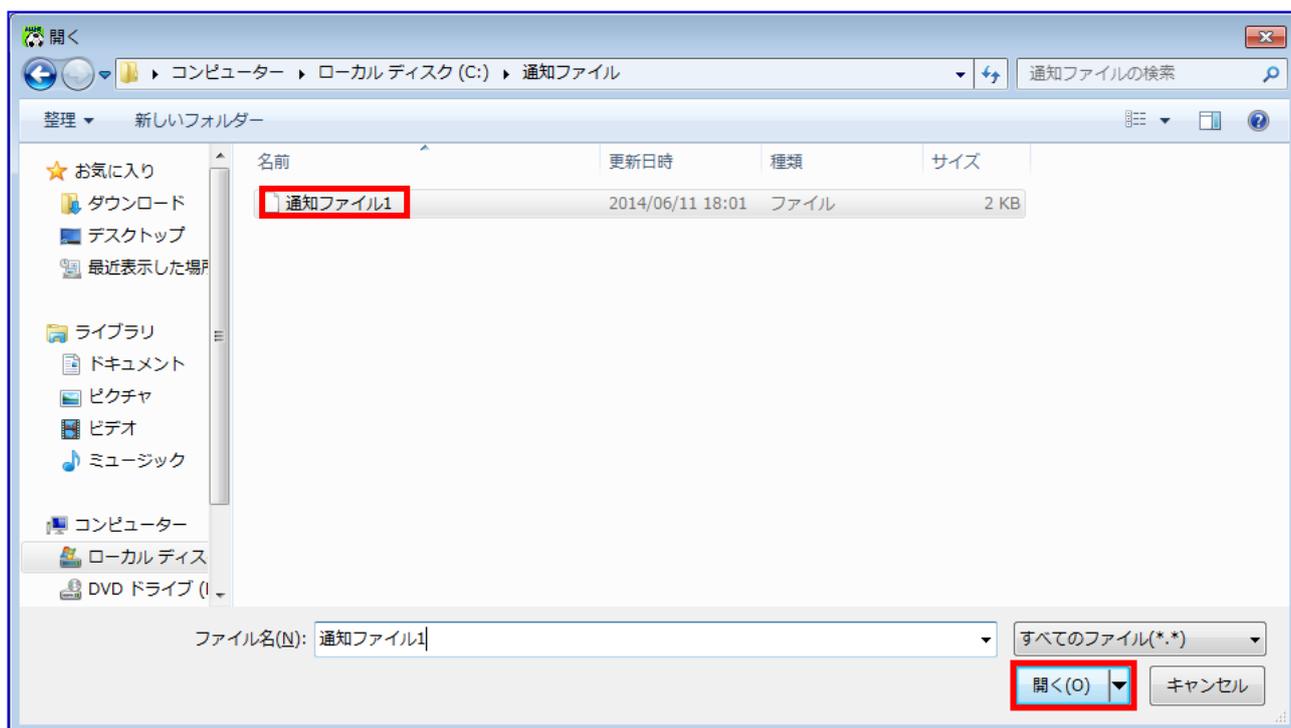
「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」とは通知情報から発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。

読み込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報（通知先情報の口座情報）が設定されている債権を抽出します。

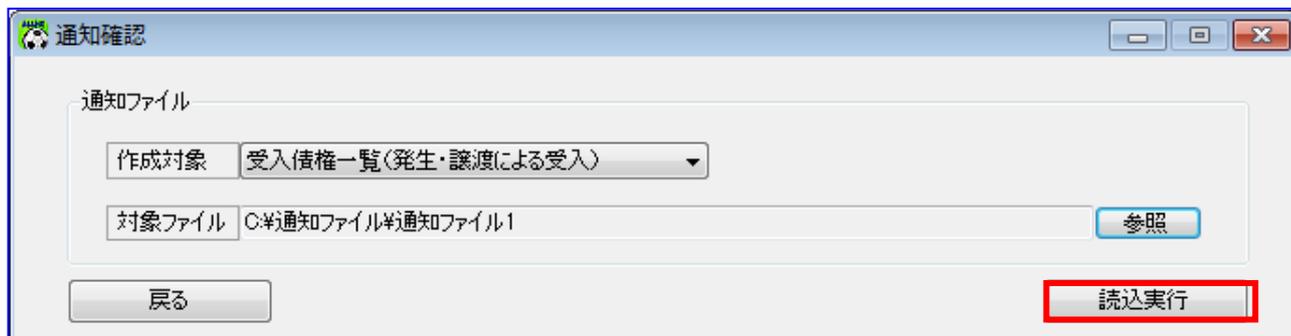
- ✚ 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます
[参照]を押下します。



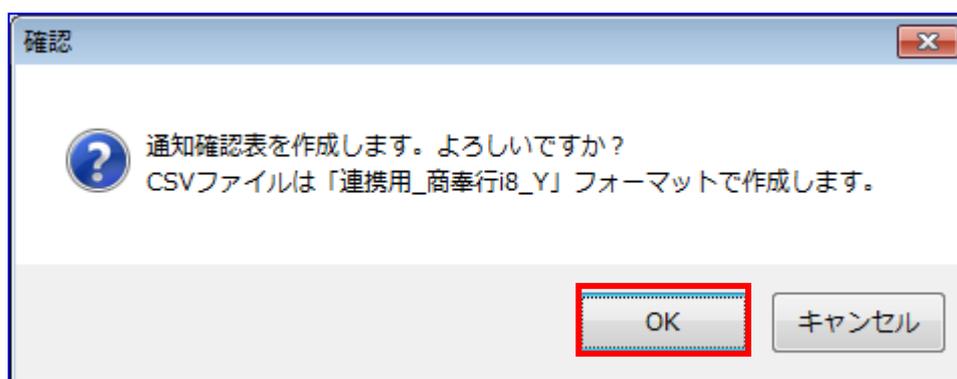
- ✚ [参照]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。

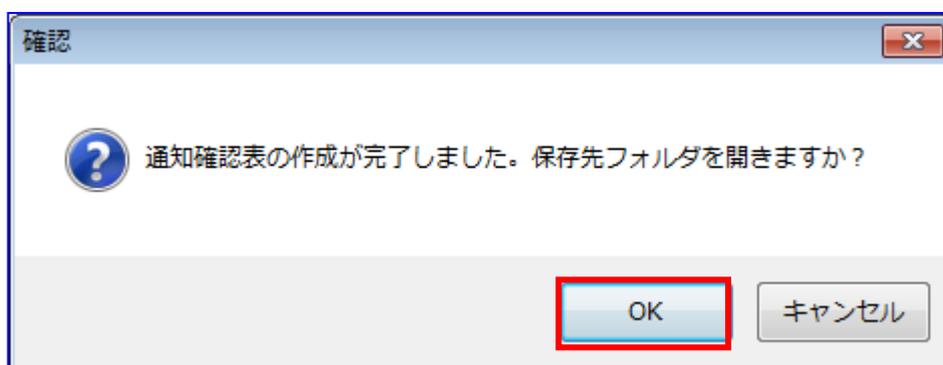


「**2.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（上記ダイアログの例では「連携用_商奉行 i8_Y」）が表示されます。

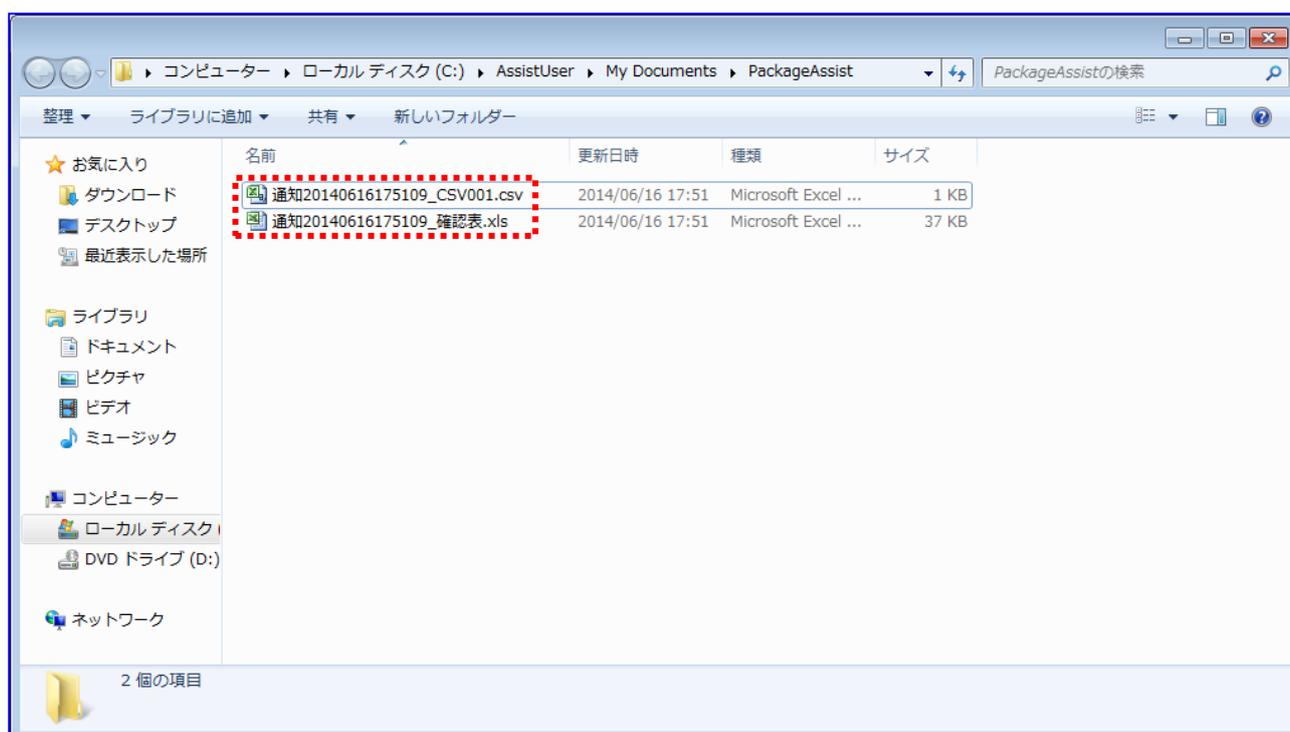


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご確認ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
作成した通知確認表の保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表 : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

CSV ファイル : 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv

3.1.2 通知情報を確認する

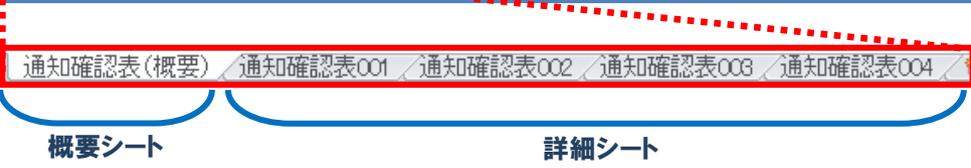
- 出力された通知確認表を開きます。
(通知確認表の詳細は、基本操作編「6.2.8.1 通知確認表(概要)」、「6.2.8.2 通知確認表」をご参照ください。)

通知確認表は、「概要シート」と「詳細シート」で構成されています。

- 「概要シート」には、各詳細シートにおける CSV ファイル、通知先情報、合計件数、合計金額の一覧が出力されています。

例)通知確認表(概要シート)

No	シート名	CSVファイル	通知先 利用者番号	通知先名	通知先口座情報			合計件数(件)	合計金額(円)
1	通知確認表001	通知20130701143751_CS001.csv	A00000001	株式会社 〇〇〇	0000	〇〇〇	001	2	2,000,000
2	通知確認表002	通知20130701143751_CS002.csv	A00000001	株式会社 〇〇〇	0000	〇〇〇	001	2	2,000,000
3	通知確認表003	通知20130701143751_CS003.csv	A00000001	株式会社 〇〇〇	0000	〇〇〇	001	3	3,000,000
4	通知確認表004	通知20130701143751_CS004.csv	A00000001	株式会社 〇〇〇	0000	〇〇〇	001	3	3,000,000



- 「詳細シート」には、読込んだ通知ファイルの通知先口座情報毎の詳細情報が出力されています。

例)通知確認表(詳細シート)

No	区分	記録番号	債権金額(円)	電子記録年月日 支払期日	債務者名 権利者名	債務者口座情報 権利者口座情報			譲渡 制限	債権人RefNo.	取消 区分
1	01:発生 (債務者請求)	A0000000100000100000	1,000,000	2013/01/07	債務者 株式会社 〇〇〇	9999	〇〇〇	999	〇〇〇	0:無	ARSDFGHILJKMNPQRSTUW
				2013/08/20	債権者 株式会社 〇〇〇	9999	〇〇〇	001	〇〇〇	0:無	KY20130456789
2	01:発生 (債務者請求)	A0000000100000200000	1,000,000	2013/01/08	債務者 株式会社 〇〇〇	9999	〇〇〇	999	〇〇〇	0:無	ARSDFGHILJKMNPQRSTUW
				2013/08/20	債権者 株式会社 〇〇〇	9999	〇〇〇	001	〇〇〇	0:無	KY20130456789



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号）毎に作成されます。
電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

CSV ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



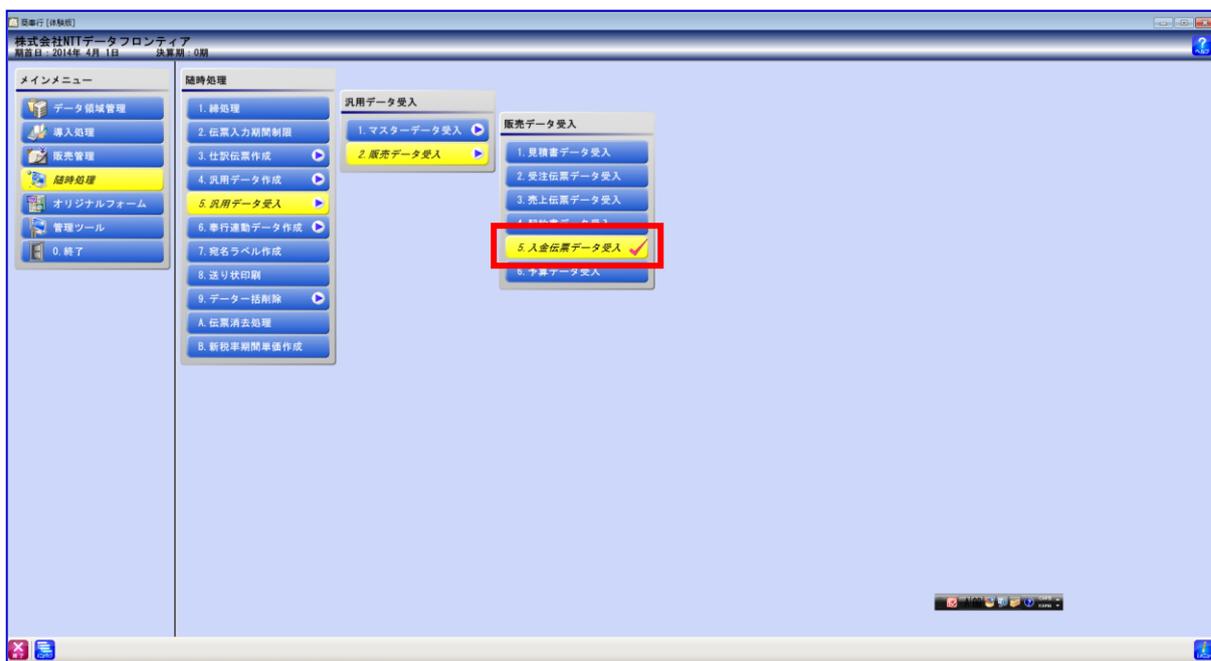
作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび CSV ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび CSV ファイルは出力されません。

3.1.3 入金伝票を作成する

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「商奉行 i8」で読み込み、入金伝票データを作成します。

- 「商奉行 i8」を開き、[随時処理][汎用データ受入][販売データ受入][入金伝票データ受入]を押下します。



- 受入ファイル設定タブの[参照]を押下し、受入元ファイル名に「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」で作成した債権情報 CSV ファイルを選択し、受入開始ボタンを押下します。（受入データ形式は「OBC受入形式」を選択）

入金伝票データ受入 - 受入条件設定

受入ファイル設定 エラー情報設定

受入データ形式
[100] OBC受入形式 形式作成(S)...

詳細情報
区切文字 :
受入開始位置 :

暦選択
 西暦 和暦

受入元ファイル名
C:\AssistUser\My Documents\PackageAssist\約通知20140625121324_CSY001.csv 参照(B)...
文字コード : Shift-JIS 変更(G)...

OBCD001,DSRM007,DSRM001,DSRM002,DSRM003,DSRM004,DSRM005,DSRM006,DSRM008,DSRM201,DSRM203,DSRM20-
*, ,2014/06/11, ,0001, , , ,8, ,REF.NO.000001, , , , ,
*, ,2014/06/11, ,0002, , , ,8, ,REF.NO.000002, , , , ,

[参照...] ボタンをクリックし、受け入れる汎用データのファイル名を指定します。
ファイル名を指定すると、汎用データの内容が表示されます。
注意 汎用データの内容が文字化けして表示される場合は、[変更...] ボタンをクリックし、文字コードを変更します。
詳細⇒ [操作説明] ボタン

キャンセル
操作説明(H)

- ✚ 全ての債権情報 CSV データが受入済になったことを確認し、[閉じる]を押下します。

入金伝票データ受入 - 受入結果確認

確認内容 | 印刷設定 | プリンタ設定

汎用データ受入が終了しました。
受入結果を確認できます。

内容確認

<input checked="" type="radio"/> 受入済データ	入金伝票件数	2 件
	ファイルの行数	2 行
<input type="radio"/> 未受入データ	入金伝票件数	0 件
	ファイルの行数	0 行

未受入データになった場合は、未受入データの内容を出力し、未受入理由をご確認ください。
未受入理由を参考に、未受入データを修正し、再度受け入れてください。
詳細⇒[操作説明]ボタン

印刷(P)

プレビュー(I)

転送(E)...

閉じる(C)

操作説明(H)



「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」にて複数の債権情報 CSV ファイルが作成された場合、本項に処理を CSV ファイル数分繰り返して受入を行ってください。



未受入データに件数が表示されている場合、[プレビュー]を押下し、エラー内容を確認してください。
また、「**2 連携事前設定**」の設定が正しく行われているか確認してください。

- 入金伝票の内容を確認します。
[販売管理][入金処理][入金伝票]を押下します。



- 入金伝票の内容を確認し、問題がある場合は当画面より修正を行います。
(入金伝票の修正方法については「商奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)

【対象の使用フォーマット: 連携用_商奉行 i8_Y の場合の例】

【対象の使用フォーマット:連携用_商奉行 i8_N の場合の例】

入金伝票

参照	売掛金	汎用受入にて作成	登録件数	12
入金日付	2014年 06月11日	伝票No.	11	
請求先	0001			
	取引先 A 株式会社			
部門				
担当者				

行	区	入金内容	金額
1	8	会社銀行： 01 〇〇〇〇銀行 債権期日： 2014年 08月27日 記録番号： 12345678901234567890	100,000

通知ファイルの債権情報

請求No.	
請求期間	自 年 月 日 至 年 月 日
前回請求額	
売上額	
入金額	
今回請求額	

銀行名：
支店名：
口座情報：

銀行名： 合計 100,000

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.信託債権 8.電子記録債権 9.その他

[登録： 2014/06/25 12:35:13]

[F1] 操作説明 [F2] [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(商奉行 i8)

平成 26 年 8 月 18 日 第 2.1 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、電子記録債権サービスである「でんさいネット」を使用する目的に限り使用できるものとします。
- ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
- ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

一括請求 Assist® Ver.2

操作マニュアル

連携編

(蔵奉行 i8)

第 2.1 版

目次

はじめに.....	2
1 連携の概要.....	3
1.1 連携の概要.....	3
1.2 連携可能な蔵奉行のバージョンについて.....	4
1.3 連携の流れ.....	8
2 連携事前設定.....	9
2.1 蔵奉行 i8 事前設定.....	9
2.1.1 暦表示を確認する.....	9
2.1.2 仕入先を確認する.....	11
2.2 本ソフトの事前設定.....	15
2.2.1 共通設定情報を設定する.....	15
2.2.2 取引先を設定する.....	16
2.2.3 社内口座を設定する.....	18
2.2.4 読込 CSV 設定を設定する.....	19
3 連携手順.....	25
3.1 連携手順.....	25
3.1.1 支払伝票を作成する.....	25
3.1.2 支払伝票データを作成する.....	29
3.1.3 一括請求ファイルを作成する.....	35
3.1.4 支払伝票を更新する.....	43

はじめに

本書では、本ソフトと株式会社オービックビジネスコンサルタントの仕入在庫管理ソフト「蔵奉行 i8」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

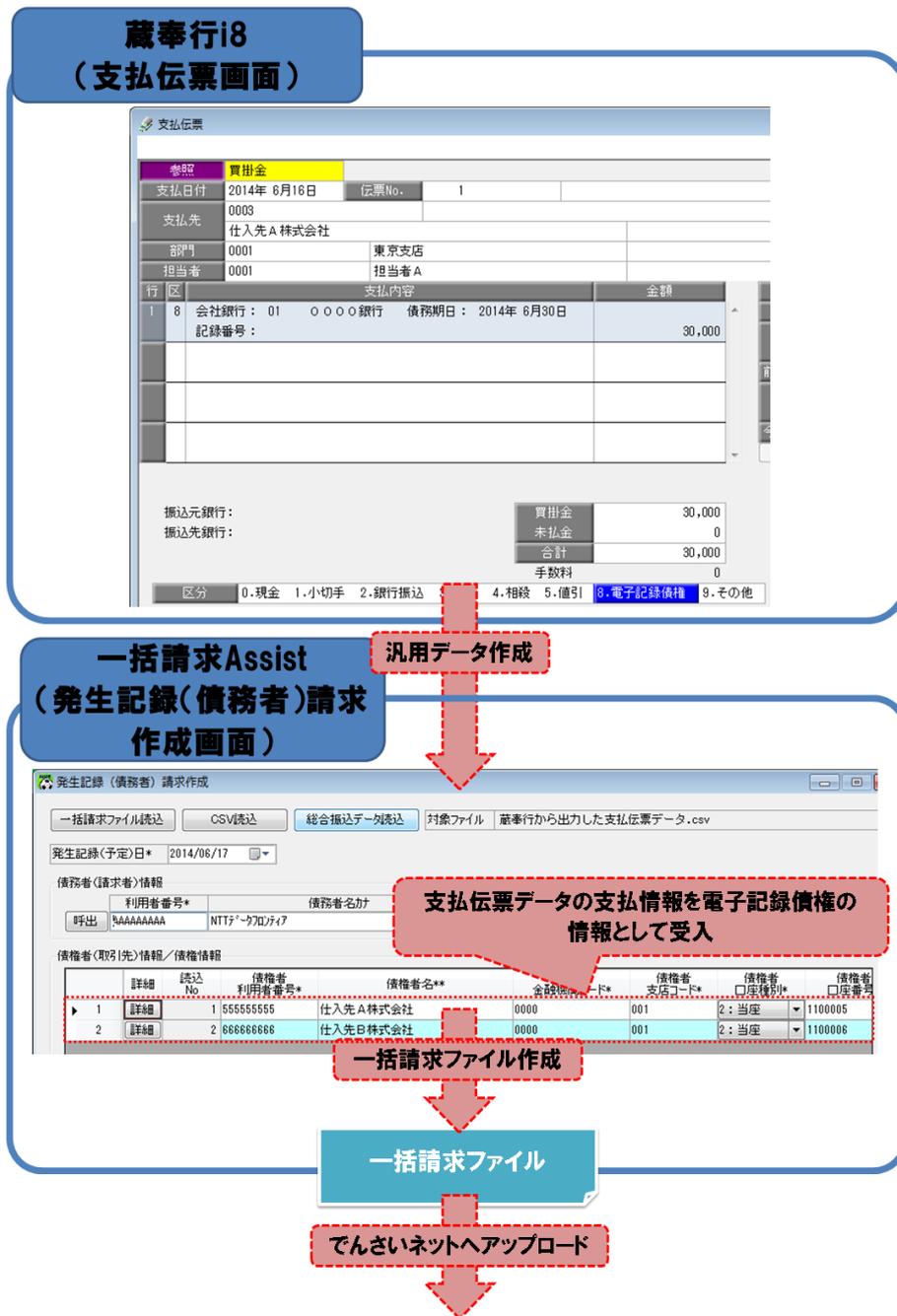
本書に記載されていない「蔵奉行 i8」のその他機能の詳細については、「蔵奉行 i8」の操作説明をご参照ください。

1 連携の概要

1.1 連携の概要

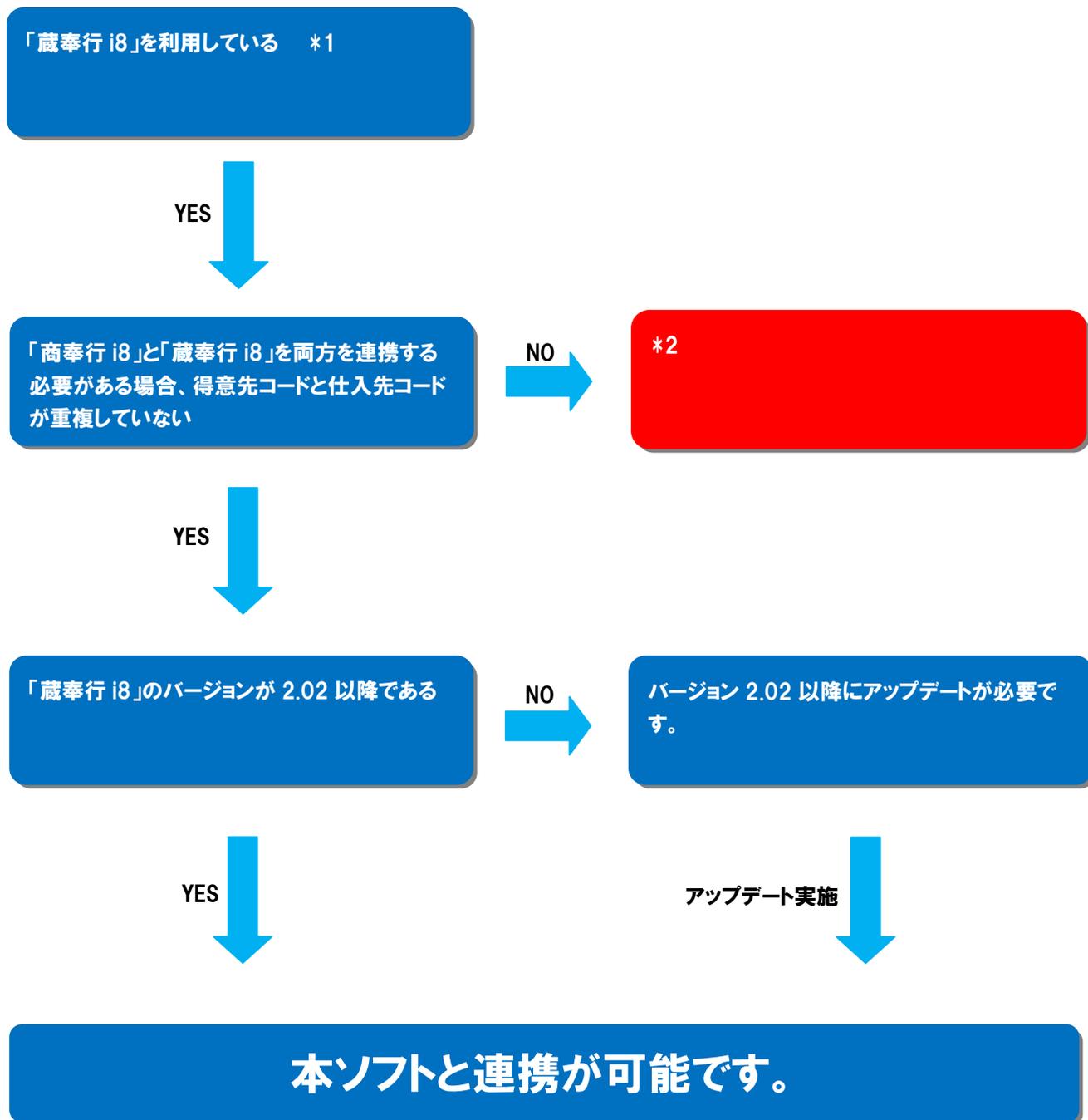
「蔵奉行 i8」をご利用の場合、本ソフトと連携することにより、仕入先へ電子記録債権で支払うことができます。

本ソフトは、「蔵奉行 i8」から出力した支払伝票データを読み込むことにより、簡単に発生記録（債務者）一括請求ファイルを作成することができます。



1.2 連携可能な蔵奉行のバージョンについて

本ソフトと連携が可能となる条件は下記の通りとなります。



*1 「蔵奉行 i8」以外とは連携できません。（「蔵奉行 21」、「蔵奉行 i」など）

*2 「商奉行 i8」と「蔵奉行 i8」では、管理している「得意先コード」と「仕入先コード」を別管理しているため、それぞれに同一のコード値を設定することができますが、本ソフト上の「取引先管理画面」に設定する連携用の「取引先 ID」については、共通の設定になります。

そのため、「商奉行 i8」と「蔵奉行 i8」で管理している「得意先コード」と「仕入先コード」の値が重複しないように設定をする（桁数、コード値が異なる）必要があります。

※コード値が重複している場合についても、「商奉行 i8」と「蔵奉行 i8」のいずれかのコード値のみ本ソフトに登録することで、いずれかのソフトのみとの連携は可能です。

※例として「得意先コード:0001」「仕入先コード:00001」は本ソフトでは重複しないで設定可能です。そのため、「商奉行 i8」「蔵奉行 i8」のコード桁数設定で「得意先コード」と「仕入先コード」に異なる桁数を設定できる場合は「商奉行 i8」と「蔵奉行 i8」の両ソフトと連携可能になります。

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先ID	取引先名	金種別	支店コード	口座種別	口座番号	得意先コード
1	取引先A株式会社	0000	001	2: 当座	11111111	0001
2	取引先B株式会社	0000	001	2: 当座	22222222	0002
3	仕入先A株式会社	0000	001	2: 当座	33333333	0003
4	仕入先B株式会社	0000	001	2: 当座	44444444	0004

商奉行i8 得意先登録画面

得意先検索

検索条件
得意先名1 が を含む 検索(S)
 無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる 詳細設定(D)>>

1~2件目を表示

得意先コード	得意先略称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

蔵奉行i8 仕入先登録画面

仕入先検索

検索条件
仕入先名1 が を含む 検索(S)
 無効な仕入先を含める 仕入先コード順で並べる 詳細設定(D)>>

1~2件目を表示

仕入先コード	仕入先略称	仕入先名1	仕入先名2
0003	仕入先A株式会社	仕入先A株式会社	
0004	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

「商奉行i8」の「得意先コード」と「蔵奉行i8」の仕入先コードでコード値が重複しないように設定が必要

「商奉行i8」と「歳奉行i8」の両ソフト連携可能例：

- 得意先コードと仕入先コードが同一桁数
- 得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先名	得意先コード	仕入先コード	得意先名	仕入先名
取引先A株式会社	0001	0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社
取引先B株式会社	0002	0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社
取引先C株式会社	0003	0003	取引先C株式会社	取引先C株式会社
取引先D株式会社	0004	0004	取引先D株式会社	取引先D株式会社

商奉行i8 得意先登録画面

得意先コード: 0001, 0002

歳奉行i8 仕入先登録画面

仕入先コード: 0003, 0004

両ソフトの連携が可能

「商奉行i8」と「歳奉行i8」の両ソフト連携可能例：

- 得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
- 得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先名	得意先コード	仕入先コード	得意先名	仕入先名
取引先A株式会社	0000	0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社
取引先B株式会社	0000	0001	取引先B株式会社	取引先B株式会社
取引先C株式会社	0000	0002	取引先C株式会社	取引先C株式会社
取引先D株式会社	0000	0002	取引先D株式会社	取引先D株式会社

商奉行i8 得意先登録画面

得意先コード: 0001, 0002

歳奉行i8 仕入先登録画面

仕入先コード: 00001, 00002

両ソフトの連携が可能

「商奉行i8」と「蔵奉行i8」の両ソフト連携可能例:

- ・得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
- ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先番号	取引先名	全額明細コード	得意先コード	得意先種別	得意先番号	取引先種別
1	取引先A株式会社	0000	0001	仕入先	0001	仕入先
2	取引先B株式会社	0000	0001	仕入先	0002	仕入先
3	仕入先B株式会社	0000	0001	仕入先	0003	仕入先
4	仕入先B株式会社	0000	0001	仕入先	0004	仕入先

商奉行i8 得意先登録画面

得意先コード: 0001, 0002

得意先コード	得意先名称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

蔵奉行i8 仕入先登録画面

仕入先コード: 00003, 00004

仕入先コード	仕入先名称	仕入先名1	仕入先名2
00003	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	
00004	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

両ソフトの連携が可能

「商奉行i8」と「蔵奉行i8」のいずれかのみ連携可能例:

- ・得意先コードと仕入先コードが同一桁数
- ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist (取引先管理画面)

得意先コードと仕入先コードの桁数・コード値が同一であるため、「商奉行i8」と「蔵奉行i8」のいずれかのみ連携可能

商奉行i8 得意先登録画面

得意先コード: 0001, 0002

得意先コード	得意先名称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

蔵奉行i8 仕入先登録画面

仕入先コード: 0001, 0002

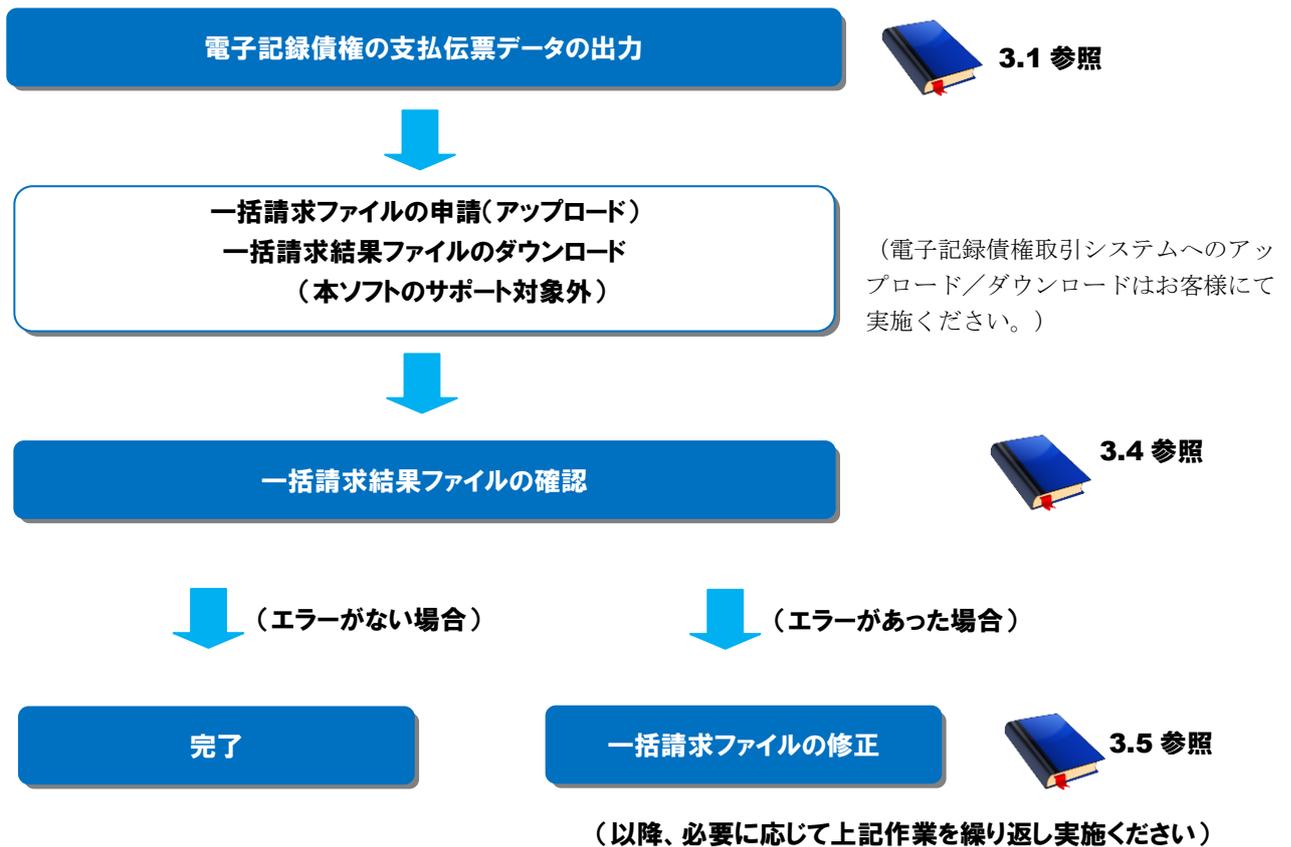
仕入先コード	仕入先名称	仕入先名1	仕入先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

1.3 連携の流れ

事前設定



連携手順



2 連携事前設定

2.1 蔵奉行 i8 事前設定

連携を行うための「蔵奉行 i8」の事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
暦表示を確認する

2.1.2
仕入先を確認する

操作方法

2.1.1 暦表示を確認する

「蔵奉行 i8」の暦表示が「西暦」となっているか確認します。

「蔵奉行 i8」を開き、[導入処理][運用設定][会社運用設定]を押下します。



✚ 暦表示が「西暦」であることを確認します。



会社通用設定

会計期間設定

会計期や決算期などを入力します。

暦表示 西暦 和暦

会計期首 2014年4月1日

会計期末 2015年3月31日

決算期 第0期

開始残登録日 2014年4月1日

伝票入力開始日 2013年4月1日

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 ガイド F12 閉じる

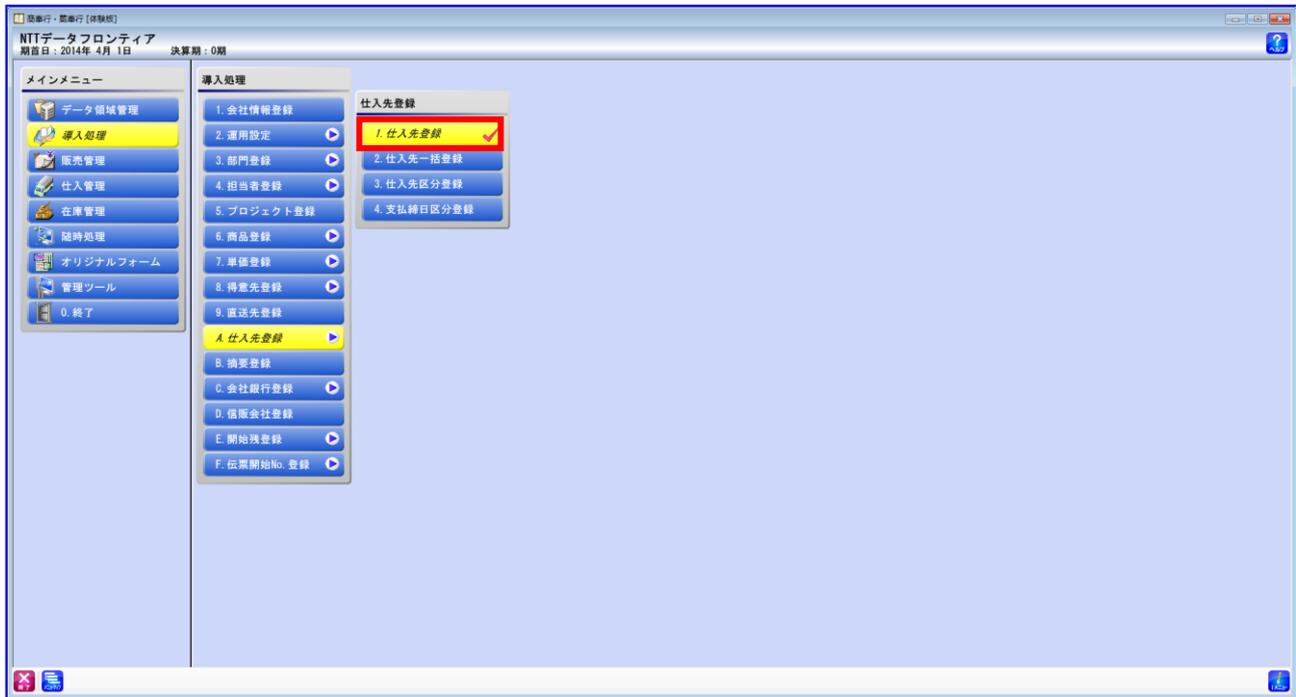


暦表示が「和暦」の場合、「3.1.3 一括請求ファイルを作成する」にてエラーが発生するため、本ソフトとの連携ができません。暦表示を変更する場合、伝票や管理資料での暦の表示方法が変更になりますのでご注意ください。

2.1.2 仕入先を確認する

連携で使用する仕入先が登録されているか確認します。

「蔵奉行 i8」を開き、[導入処理][仕入先登録][仕入先登録]を押下します。



「仕入先コード」の[検索]を押下します。

仕入先登録

仕入先コード [検索]

仕入先名フリガナ

仕入先名 1

仕入先名 2

仕入先略称

登録件数

基本 属性 仕入 精算 支払 振込 メモ 相殺

利用状態

台帳インデックス

郵便番号

住所 1

住所 2

電話番号 FAX番号

ホームページ

担当者名

担当者部署名

担当者役職名

担当者電話番号 担当者携帯番号

担当者FAX番号

担当者E-Mail

敬称

操作ガイド

仕入先コード

【参考】

- コードは、数字、英大文字、英小文字、カナの順に並びます。
- コード桁数は、[コード桁数/項目名称設定]メニューで変更できます。
- 前ゼロを自動表示するかを、[会社機能設定]メニューで設定できます。

・英数カナ 4~13桁
・検索⇒[Space]キー

[F1] 操作説明 [F2] 印刷 [F3] 短縮設定 [F4] [F5] 次データ [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] 検索 [F9] 初期値 [F10] 設定 [F11] [F12] 閉じる

-
- 「即時検索しない」を選択し、[検索]を押下します。

仕入先検索

検索条件

仕入先名1 が 1 を含む

無効な仕入先を含める 仕入先コード順で並べる

検索(S)

詳細設定(I)>>

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)

- 仕入先に対応するレコードが存在することを確認します。
存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「蔵奉行 i8」の操作説明をご参照ください。)

仕入先検索

検索条件

仕入先名1 が を含む

無効な仕入先を含める 仕入先コード順で並べる

検索(S) 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

仕入先コード	仕入先略称	仕入先名1	仕入先名2
0003	仕入先A株式会社	仕入先A株式会社	
0004	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

電子記録債権で支払う仕入先

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)



電子記録債権で支払う対象の仕入先を全て登録する必要があります。
また、電子記録債権以外で支払う仕入先が登録されていても問題ありません。



登録した「仕入先コード」は、「**2.2.2 取引先を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順

2.2.1
共通設定情報
を設定する

2.2.2
取引先を設定する

2.2.3
社内口座を
設定する

2.2.4
読込 CSV 設定を
設定する

操作方法

2.2.1 共通設定情報を設定する

- システム設定画面を開き、共通設定情報の請求者利用者番号を「事務代行等での利用時」に設定し[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時

ファイル出力先 C:\AssistUser\My Documents\Package Assist

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準

出力CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準

一括請求ファイル 出力する 出力しない

一括請求結果ファイル 出力する 出力しない

通知ファイル 出力する 出力しない



請求者利用者番号を「事務代行等での利用時」に設定する際、下記のメッセージが表示されますが問題ありません。
「請求者情報に複数の利用者番号を使用する場合（事務代行等での利用時）に設定してください。使用する利用者番号は社内口座管理画面で口座毎に設定してください。」

2.2.2 取引先を設定する

- 取引先管理画面を開き、「蔵奉行 i8」に登録した取引先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶ 1	555555555	仕入先A株式会社	0000	001	2: 当座	1100005
2	666666666	仕入先B株式会社	0000	001	2: 当座	1100006



本ソフトの[CSV 読込]を用いて「蔵奉行 i8」の取引先情報を読込むことはできません。

- 取引先 ID に仕入先コードを登録します。

**属奉行i8
仕入先登録画面**

電子記録債権で支払う仕入先

検索条件

仕入先名1 が

無効な仕入先を含める 仕入先コード順で並べ

1~2件目を表示

仕入先コード	仕入先略称	仕入先名1	仕
0003	仕入先 A 株式会社	仕入先 A 株式会社	
0004	仕入先 B 株式会社	仕入先 B 株式会社	

**一括請求Assist
(取引先管理画面)**

取引先管理

CSV読み込み CSV出力

取引先情報

	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
1	A 株式会社	0000	001	2: 当座	1100005	0003
2	B 株式会社	0000	001	2: 当座	1100006	0004

電子記録債権で支払う仕入先を全て登録する

行ジャンプ ジャンプ 検索 検索 エラージャンプ 次エラー

*必須項目 戻る 更新

2.2.3 社内口座を設定する

- 社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

利用者番号*	利用者名(検索用)*	利用者名カナ*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	
1	AAAAAAAAA	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア	0000	001	2:当座

2.2.4 読込 CSV 設定を設定する

- システム設定画面を開き、読込 CSV 設定の使用フォーマットに「連携用_蔵奉行 i8」を選択し、[修正]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込CSV設定' (Import CSV Settings) section is highlighted. The '使用フォーマット' (Use Format) dropdown menu is open, showing three options: '一括請求Assist標準' (Batch Request Assist Standard), '一括請求Assist標準' (Batch Request Assist Standard), and '連携用_蔵奉行 i8' (Cooperation Use - Kurahouei i8). The '連携用_蔵奉行 i8' option is selected and highlighted with a red dashed box. The '修正' (Modify) button is highlighted with a red box. Other sections include '共通設定情報' (Common Settings Information), 'メニュー表示有無' (Menu Display On/Off), '譲渡記録設定情報' (Transfer Record Settings Information), and '通知確認設定情報' (Notification Confirmation Settings Information).

設定項目	設定内容
請求者利用者番号	<input type="radio"/> 通常利用時 <input checked="" type="radio"/> 事務代行等での利用時
ファイル出力先	C:\AssistUser\My Documents\PackageAssist [参照]
口座種別区分	<input type="radio"/> 別段を利用する <input checked="" type="radio"/> 別段を利用しない
一括請求ファイル拡張子	<input type="radio"/> 付与する <input checked="" type="radio"/> 付与しない
メニュー表示有無	
発生記録(債権者)請求	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない
譲渡記録設定情報	
保証随伴有無	<input checked="" type="radio"/> 選択可(保証有り/無し) <input type="radio"/> 選択不可(保証有りのみ)
全額譲渡時の金額入力	<input checked="" type="radio"/> 入力する <input type="radio"/> 入力しない
通知確認設定情報	
予約通知	<input type="radio"/> 出力する <input checked="" type="radio"/> 出力しない
読込CSV設定	
使用フォーマット	一括請求Assist標準 [修正] [削除] [新規作成] [ファイル読込] [ファイル出力]
出力CSV設定	
使用フォーマット	一括請求Assist標準 [修正] [削除] [新規作成] [ファイル読込] [ファイル出力]
一括請求ファイル	<input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない
一括請求結果ファイル	<input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない
通知ファイル	<input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない

キャンセル [保存]

-
- ✚ 読込 CSV フォーマットの発生記録（債務者）請求の[設定]を押下します。

読込CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名

フォーマット形式

更新

読込CSVフォーマット

発生記録(債務者)請求	<input type="button" value="設定"/>	
発生記録(債権者)請求	<input type="button" value="設定"/>	※未設定
譲渡記録請求	<input type="button" value="設定"/>	※未設定
譲渡記録請求(複数取引先)	<input type="button" value="設定"/>	※未設定

閉じる

譲渡制限有無に「0：無」もしくは「1：有」を選択し、[保存]を押下します。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 連携用_蔵奉行18 フォーマット形式 ヘッダレコード無

対象ファイル 発生記録(債務者)請求

利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。
口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。
利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

債権者情報を取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

読込CSVの1行目にタイトル行が設定されている場合、2行目から読込を開始することができます。

タイトル行有(2行目から読込) タイトル行無(1行目から読込)

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
債権者情報_利用者番号		
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード		
債権者情報_支店コード		
債権者情報_口座種別		
債権者情報_口座番号		
債権者情報_利用者ID	3	
債権金額(円)	7	
支払期日	6	
譲渡制限有無 *2		0：無
依頼人Ref.No.		

*1 請求作成画面ヘッダ情報(読込CSVの全レコード、同一の値を設定してください。)

*2 固定値を設定した場合、CSV読込の際、請求作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません。)

検索 検索 エラージャンプ 次のエラー

キャンセル 保存



選択した「譲渡制限有無」は、本ソフトと連携する際に、発生記録（債務者）請求作成画面の各レコードの「譲渡制限有無」に一律反映されます。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 蔵奉行から出力した支払伝票データ.csv

発生記録(予定)日* 2014/06/17

債務者(請求者)情報

利用者番号*	債務者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
呼出 AAAAAAAAAA	NTTデータロディア	0000	001	2:当座	1100000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者座番号*	債権金額(円)*	支払期日*	譲渡制限有無*	依頼人 Ref.No.
▶ 1 詳細	1	05	30,000	2014/06/30	0:無	
2 詳細	2	06	70,000	2014/06/30	0:無	

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 2
合計金額(円) 100,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

【参考】 読込 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
1	利用者 ID の自動設定有無	
2	利用者情報の自動設定有無 (社内口座管理)	自動設定しない
3	利用者情報の自動設定有無 (取引先管理)	自動設定する
4	タイトル行有無	
5	タイトル行有無	タイトル行有 (2 行目から読込)
6	読込 CSV 項目設定	
7	データレコード項目	
8	発生記録 (予定) 日	2
9	債務者情報_利用者番号	-
10	債務者情報_債務者名	-
11	債務者情報_金融機関コード	-
12	債務者情報_支店コード	-
13	債務者情報_口座種別	-
14	債務者情報_口座番号	-
15	債務者情報_利用者 ID	-
16	債権者情報_利用者番号	-
17	債権者情報_債権者名	-
18	債権者情報_金融機関コード	-
19	債権者情報_支店コード	-
20	債権者情報_口座種別	-
21	債権者情報_口座番号	-
22	債権者情報_利用者 ID	3
23	債権金額 (円)	7
24	支払期日	6
25	譲渡制限有無	- (固定値: 「0: 無」)
26	依頼人 Ref. No.	-

【参考】 読込 CSV ファイルフォーマット (*1)

No	項目名	出力内容	備考
1	区切	蔵奉行：支払伝票データ、伝票区切	固定値：*
2	支払日付	蔵奉行：支払伝票データ、支払日付	
3	支払先コード	蔵奉行：支払伝票データ、支払先コード	
4	支払先名 1	蔵奉行：支払伝票データ、支払先名 1	
5	支払先名 2	蔵奉行：支払伝票データ、支払先名 2	
6	債務期日	蔵奉行：支払伝票データ、債務期日	
7	支払金額	蔵奉行：支払伝票データ、支払金額	

*1 「**3.1.2 支払伝票データを作成する**」を実施することで出力されるファイルフォーマットです。

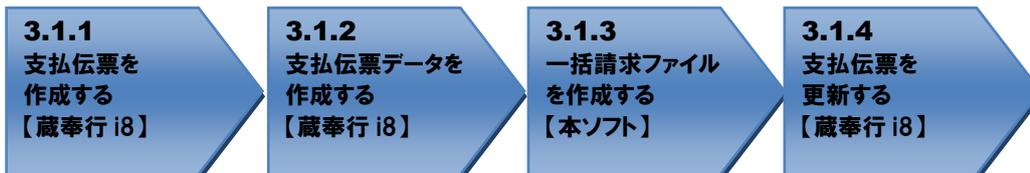
(CSV ファイルフォーマットの詳細については「蔵奉行 i8」のヘルプをご参照ください。)

3 連携手順

3.1 連携手順

「蔵奉行 i8」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 支払伝票を作成する

支払伝票を作成します。

「蔵奉行 i8」を開き、[仕入管理][支払処理][支払伝票]を押下します。



- 支払伝票を作成します。
下記項目を登録し、[閉じる]を押下します。

支払伝票 電子記録債権で支払う支払伝票

修正 買掛金 1 登録件数 3

支払日付 2014年 6月17日 1

支払先 0003 仕入先A株式会社 2

部門 0001 東京支店

担当者 0001 担当者A

行	区	支払内容	金額
1	8	会社銀行：01 〇〇〇〇銀行 債務期日：2014年 6月30日 記録番号： 5	30,000 6

振込元銀行： 買掛金 30,000
振込先銀行： 未払金 0
合計 30,000
手数料 0

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.電子記録債権 9.その他

[登録： 2014/06/16 12:31:05] [修正： 2014/06/17 19:58:23]

F1 操作説明 F2 F3 付箋 F4 F5 振込情報 F6 F7 F8 F9 F10 中止 F11 F12 終了

金額を入力してください。([/]または[,]キーで、「000」を入力できます。)

No	項目	説明
1	支払日付	支払期日を入力します。
2	支払先	支払先コードを入力します。 検索ボタンを押下し、一覧から選択することも可能です。
3	区分	「8：電子記録債権」を入力します。
4	会社銀行	会社銀行を入力します。 検索ボタンを押下し、一覧から選択することも可能です。
5	債務期日	債務期日を入力します。
6	金額	金額を入力します。



表に記載のない項目は本ソフトへは連携されませんが、支払伝票への入力には問題ありません。

また、記録番号については「**3.1.4 支払伝票を更新する**」で入力します。



本例では1件（明細）となりますが、最大30件（明細）を1伝票内で登録でき、連携することが可能です。

連携時における注意点は、「**3.1.2 支払伝票データを作成する**」をご確認ください。



1伝票内に区分「8：電子記録債権」以外を登録した場合、支払伝票の作成は正常終了しますが、本ソフトとの連携はできません。

連携する場合は1伝票内に区分「8：電子記録債権」の明細のみを登録してください。



支払伝票で入力した項目は、本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。連携される項目は下記の通りです。

No	項目	本ソフトへの連携先
1	支払日付	発生記録予定日
2	支払先	債権者（取引先）情報／債権情報の下記項目を支払先より補完して連携します。 利用者番号、債権者名、金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号
3	区分	—
4	会社銀行	—
5	債務期日	債権者（取引先）情報／債権情報の支払期日
6	金額	債権者（取引先）情報／債権情報の債権金額（円）

発生記録(予定)日 2014/06/17

債権者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債権者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
AAAAA	NTT	NTT	0000	001	2: 当座	1100000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	債権者 No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
1		555555555	仕入先 A株式会社	0000	001	2: 当座	1100005

画面左

合計件数(件) 1
合計金額(円) 30,000

発生記録(予定)日 2014/06/17

債権者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債権者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
AAAAA	NTT	NTT	0000	001	2: 当座	1100000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	債権者 No	債権者(座番号)*	債権金額(円)*	支払期日*	譲渡制限有無*	依頼人 Ref.No.
1		105	30,000	2014/06/30		

画面右

合計件数(件) 1
合計金額(円) 30,000

3.1.2 支払伝票データを作成する

 [随時処理][汎用データ作成][仕入データ作成][支払伝票データ作成]を押下します。



✚ [新規作成]を押下します。

支払伝票データ作成 - 作成パターン選択

パターンコード	パターン名

リストから選択し、[OK]ボタンをクリックします。新しいパターンを作成する場合は、[新規]ボタンをクリックします。
詳細⇒[操作説明]ボタン

OK
新規(N)
複写(C)...
削除(D)
キャンセル
操作説明(H)



支払伝票データ作成は一度作成を実施するとパターンが作成されるため、次回受入時は[新規]を押下せず、作成されたパターンを選択して[OK]を押下します。
作成されたパターンを選択した場合は基本設定タブの範囲と出力設定タブの出力先ファイル名を修正して[出力開始]を押下します。

- 「編集する」にチェックをいれ、パターンコードに任意の番号を入力し、パターン名に用途がわかるように任意の名称を入力します。
範囲指定に支払日付を選択し、範囲に「**3.1.1 支払伝票を作成する**」で入力した支払伝票の支払日付を入力します。

支払伝票データ作成 - 出力条件設定

基本項目 | 利用情報 | 付箋情報 | 拡張項目 | 出力設定 | 項目選択

作成パターン

パターンコード 0000000001

パターン名 一括請求Assist連携用パターン 編集する

伝票区分 全範囲 作成区分 すべて

支払日付 2014年 6月17日 ~ 2014年 6月17日

指定なし

並び順
支払日付順 昇順 降順

コード 検索⇒[Space]キー
参考 最初～最後に戻すには、開始コード・終了コードの順に空欄にします。

名称/摘要 部分一致検索です。入力した文字を含む伝票が検索されます。

状態区分 「0：通常」「2：前払金振替」「3：返金」を指定します。

詳細⇒[操作説明]ボタン

出力開始(E)

コード保存(C)

キャンセル

操作説明(H)



範囲の開始日付と終了日付の両方に、支払伝票で入力した支払日付（同じ日付）を入力してください。
支払日付が異なる複数の支払伝票を作成した場合、「**3.1.2 支払伝票データを作成する**」を繰り返し実施し、複数の支払伝票データを作成します。

- 出力設定タブのファイルの種類に転送ファイルを選択し、作成形式にカンマ区切を選択します。
[参照]を押下し、出力先ファイル名を入力します。

支払伝票データ作成 - 出力条件設定

基本項目 | 利用情報 | 付箋情報 | 拡張項目 | 出力設定 | 項目選択

ファイルの種類
 転送ファイル Excelファイル

作成形式
 カンマ区切 タブ区切 OBC受入形式
文字コード: Shift-JIS

出力先ファイル名
%AssistUser%\MyDocuments%\PackageAssist%\支払伝票データ.csv

[参照...] ボタンをクリックし、ファイルの出力先とファイル名を設定します。

- 項目選択タブの項目種類に支払伝票を選択します。
選択項目より「支払日付」「支払先」「債務期日」「支払金額」を選択して[選択]を押下し、選択済項目に反映されることを確認します。
各設定が完了しましたら[出力開始]を押下します。

支払伝票データ作成 - 出力条件設定

基本項目 | 利用情報 | 付箋情報 | 拡張項目 | 出力設定 | 項目選択

項目種類
支払伝票

選択項目

項目名
伝票区分
伝票No.
部門
担当者
支払内訳
支払区分
申告書計算区分
税率
明細摘要
手形期日

全選択(A)

選択(S)

全削除(L)

削除(D)

選択済項目

項目名
支払日付
支払先
債務期日
支払金額

出力開始(E)

コード保存(C)

作成する項目を選択し、[選択]ボタンをクリックします。
[Shift]キーまたは[Ctrl]キーを押しながら選択すると、複数の項目を一度に選択できます。
詳細⇒[操作説明]ボタン

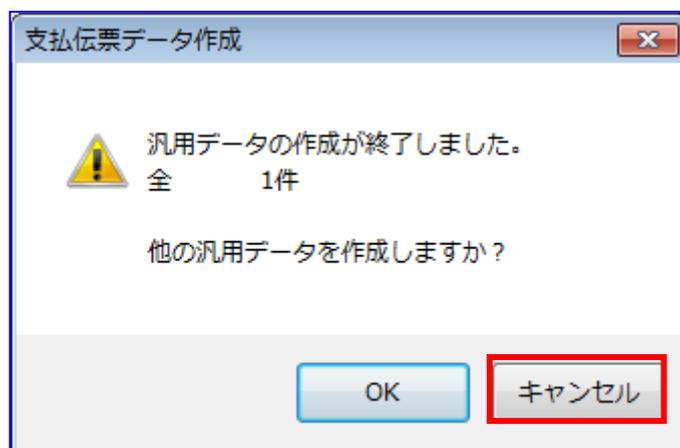
キャンセル

操作説明(H)



選択済項目の項目順は「支払日付」「支払先」「債務期日」「支払金額」の順に設定してください。

📌 下記ダイアログの[キャンセル]を押下します。



ダイアログに表示される件数には、支払伝票の明細数ではなく、支払伝票の数が表示されます。



作成された支払伝票データを「**3.1.3 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込みますが、支払伝票の明細データの件数が1,000件を超える場合、本ソフトでエラーが発生します。
大量の支払伝票の明細データを作成する場合、支払伝票の明細が1,000件作成したタイミングで支払伝票データを作成する等の対処が必要になります。



支払日付が異なる複数の支払伝票を作成した場合、[OK]を押下し、繰り返し複数の支払伝票データを作成します。

3.1.3 一括請求ファイルを作成する

3.1.2 で作成した支払伝票データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- 本ソフトの発生記録（債務者）請求作成画面を開き、[CSV 読み込み]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読み込み **CSV読み込み** 総合振込データ読み込み 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2014/06/17

債務者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
----	--------	-------	----------	--------	-------	-------

債権者(取引先)情報/債権情報

	詳細	読込 No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
▶ 1	詳細							

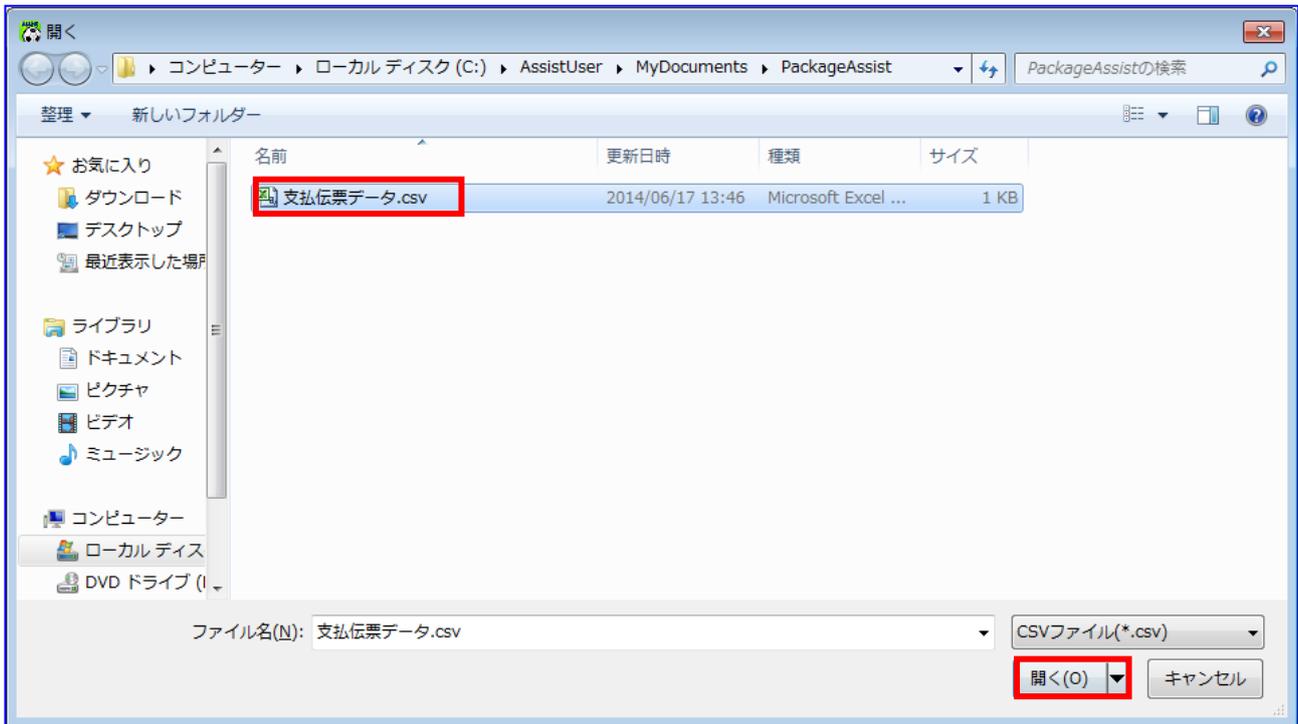
行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件)	1
合計金額(円)	0

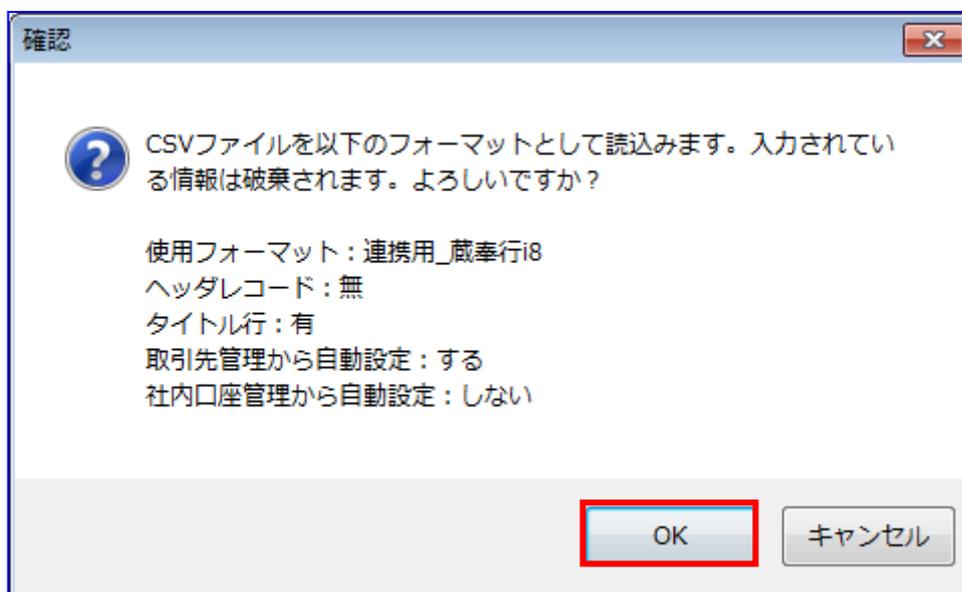
*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

✚ 支払伝票データを選択し、[開く]を押下します。



✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 発生記録（債務者）請求作成画面に支払伝票データが表示されます。債務者（請求者）情報を入力するため、[呼出]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 支払伝票データ.csv

発生記録(予定)日* 2014/06/17

債務者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
----	--------	-------	----------	--------	-------	-------

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者 利用者番号*	債権者名**	債権者 金融機関コード*	債権者 支店コード*	債権者 口座種別*	債権者 口座番号
▶ 1 詳細	1	555555555	仕入先 A 株式会社	0000	001	2: 当座	1100005

電子記録債権で支払う支払伝票データ

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 30,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成



「3.1.1 支払伝票を作成する」で作成した支払伝票の支払日付は「発生記録（予定）日」に連携されますが、支払日付に過去日を入力した場合、「発生記録（予定）日」はエラーになります。

「3.1.1 支払伝票を作成する」で作成した支払伝票の支払日付を当日以降の日付に修正し、当画面の「発生記録（予定）日」もあわせて修正してください。

- 社内口座を選択し、[選択]を押下します。

社内口座選択

検索条件

利用者番号	<input type="text"/>
利用者名(検索用)	<input type="text"/>
利用者名カナ	<input type="text"/>
金融機関コード	<input type="text"/>
支店コード	<input type="text"/>
口座種別	<input type="text"/>
口座番号	<input type="text"/>
社内口座ID	<input type="text"/>

検索 検索条件クリア

社内口座情報

選択	利用者番号	利用者名(検索用)	利用者名カナ	金融機関コード	支店コード	口座種別
<input checked="" type="checkbox"/>	AAAAAAAAA	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア	0000	001	2:当座

閉じる

- 債務者（請求者）情報に社内口座情報が表示されます。
表示内容に誤りがないことを確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 支払伝票データ.csv

発生記録(予定)日* 2014/06/17

自社の口座情報

債務者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
	AAAAAAAAA	NTTデータコア	0000	001	2:当座	1100000

債権者(取引先)情報/債権情報

	詳細	読込 No	債権者 利用者番号*	債権者名**	債権者 金融機関コード*	債権者 支店コード*	債権者 口座種別*	債権者 口座番号
▶ 1	詳細	1	555555555	仕入先 A株式会社	0000	001	2:当座	1100005

電子記録債権で支払う支払伝票データ

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 30,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る **一括請求ファイル作成**

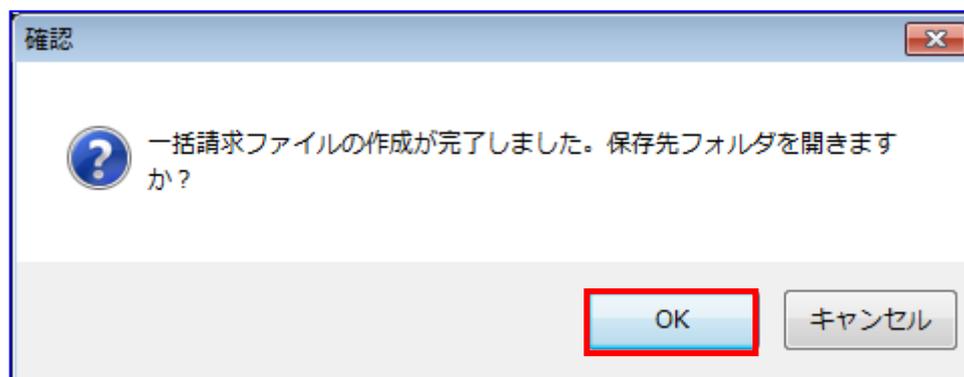
- 下記ダイアログの[OK]を押下します。

確認

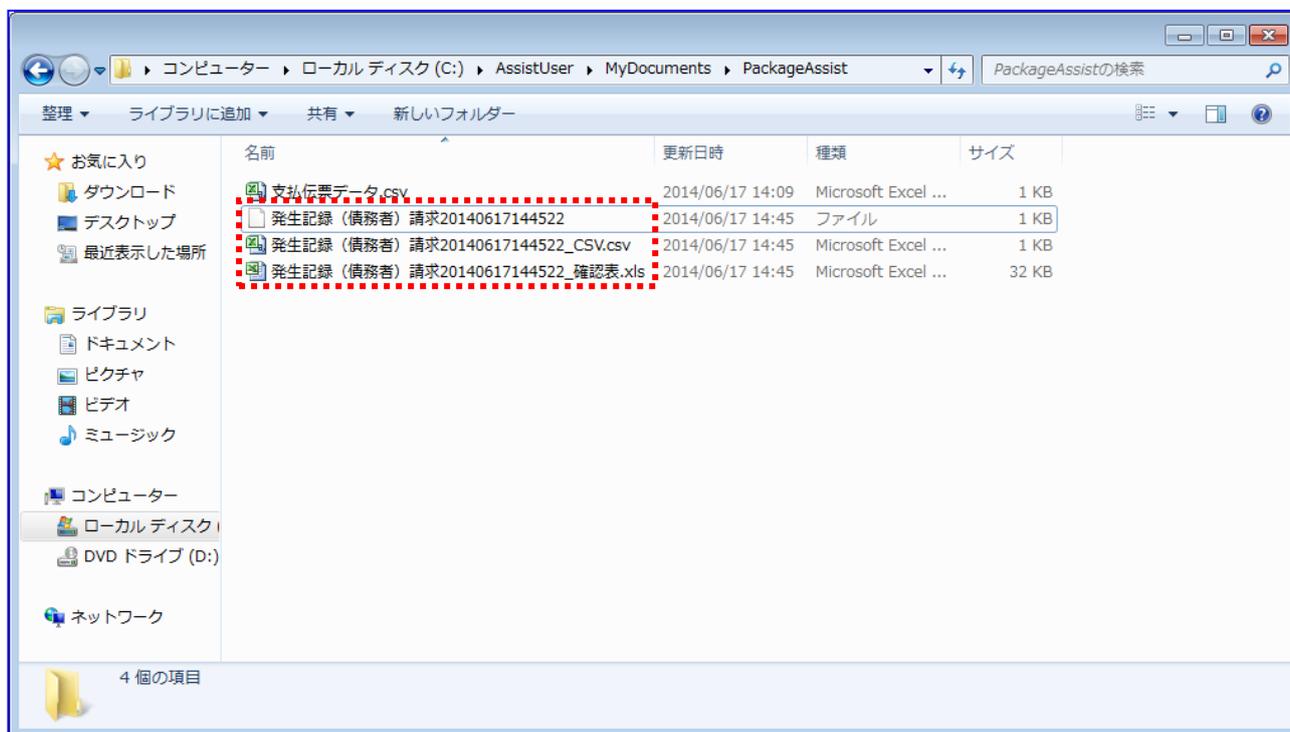
一括請求ファイルを作成します。よろしいですか?

OK キャンセル

✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

- 一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
- CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
- 一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて設定した拡張子

- 出力された一括請求確認表を確認し、想定した請求内容になっていることをご確認ください。
(一括請求確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.2 発生記録(債務者)請求確認表**」、
「**6.2.3 発生記録(債権者)請求確認表**」をご参照ください。)

請求内容に誤りがある場合は、再度「**3.1.1 支払伝票を作成する**」を実施し、該当箇所を修正の上、一括請求ファイルを作成してください。

例)発生記録(債務者)請求確認表

発生記録(債務者)請求確認表										出力日時:2014/06/17 14:45:22	
対象ファイル:発生記録(債務者)請求20140617144522											
発生記録(予定)日										2014/06/17	
債務者(請求者)情報											
利用者番号	債務者名カナ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号			合計件数(件)	1		
AAAAAAAA	NTTデータ	0000	001	2:当座	1100000			合計金額(円)	30,000		
債権者(取引先)情報/債権情報											
No	利用者番号	債権者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	債権金額(円)	支払期日	譲渡制限有無	依頼人Ref.No.	
1	55555555	住入先A株式会社	0000	001	2:当座	1100005	30,000	2014/06/30	0:無		

- 電子記録債権取引システムへの一括請求ファイル申請(アップロード)作業を実施してください。
電子記録債権取引システムより一括請求結果が返却後、業務編「**3.4 発生記録(債務者/債権者)請求の一括請求結果確認**」を実施してください。

例)一括請求結果確認表

一括請求結果確認表										出力日時:2014/06/02 15:41:46	
読込ファイル:一括請求結果.txt											
結果										正常	
通知作成日										2014/06/17	
通知先利用者番号										AAAAAAAA	
通知先名カナ										NTTデータ	
通知先口座情報										0000 001 2:当座 1100000	
種別コード										00:発生・譲渡通知	
文字コード区分										0:JIS	
合計件数(件)										1	
合計金額(円)										30,000	
No	区分	記録番号	債権金額(円)	電子記録年月日	支払期日	債務者名 権利者名	債務者口座情報 権利者口座情報	譲渡制限有無	依頼人Ref.No.		
1	01:発生 (債務者請求)	A000000100000100000	30,000	2014/06/17	2014/06/30	債務者:NTTデータ 債権者:住入先A株式会社	0000 001 2:当座 1100000 0000 001 2:当座 1100005	0:無			

3.1.4 支払伝票を更新する

支払伝票の記録番号を入力し、支払伝票を更新します。

「蔵奉行 i8」を開き、[仕入管理][支払処理][支払伝票]を押下します。



一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(蔵奉行 i8)

平成 26 年 8 月 18 日 第 2.1 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、電子記録債権サービスである「でんさいネット」を使用する目的に限り使用できるものとします。
- ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
- ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

一括請求 Assist® Ver.2

操作マニュアル

連携編

(PCA 会計 X)

第 2.1 版

目次

はじめに.....	3
1 連携の概要.....	4
1.1 連携の概要.....	4
1.1.1 買掛金の支払を電子記録債権で実施(連携1).....	4
1.1.2 通知ファイルから仕訳伝票を作成(連携2).....	6
1.2 連携条件について.....	7
1.3 連携の流れ.....	8
1.3.1 連携の流れ(連携1).....	8
1.3.2 連携の流れ(連携2).....	9
2 事前設定(連携1).....	10
2.1 「PCA 会計 X」事前設定(連携1).....	10
2.1.1 勘定科目を確認する.....	10
2.1.2 会社口座を確認する.....	13
2.1.3 補助科目を確認する (連携1-①).....	16
2.1.4 補助科目を確認する (連携1-②).....	22
2.1.5 振込先を確認する.....	27
2.2 本ソフトの事前設定(連携1).....	31
2.2.1 取引先を設定する (連携1-①).....	31
2.2.2 取引先を設定する (連携1-②).....	33
2.2.3 社内口座を設定する.....	35
3 連携手順(連携1).....	37
3.1 連携手順(連携1).....	37
3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する.....	37
3.1.2 振込データを作成する (連携1-①).....	39

3.1.3	振込データを作成する（連携1－②）	44
3.1.4	一括請求ファイルを作成する	54
4	事前設定(連携 2)	61
4.1	「PCA 会計 X」事前設定(連携2)	61
4.1.1	勘定科目を確認する	61
4.1.2	補助科目を確認する	64
4.1.3	部門を確認する	70
4.2	本ソフトの事前設定(連携 2)	72
4.2.1	通知確認設定情報を設定する	72
4.2.2	取引先を設定する	73
4.2.3	出力 CSV 設定を設定する	75
4.2.4	固定値を設定する	76
5	連携手順(連携 2)	86
5.1	連携手順(連携 2)	86
5.1.1	通知ファイルを読み込む	86
5.1.2	通知情報を確認する	90
5.1.3	仕訳伝票を作成する	92

はじめに

本書では、本ソフトとピー・シー・エー株式会社の会計ソフト「PCA 会計 X」との連携について、事前設定、典型手順を説明します。

本書に記載されていない「PCA 会計 X」のその他機能の詳細については、「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。

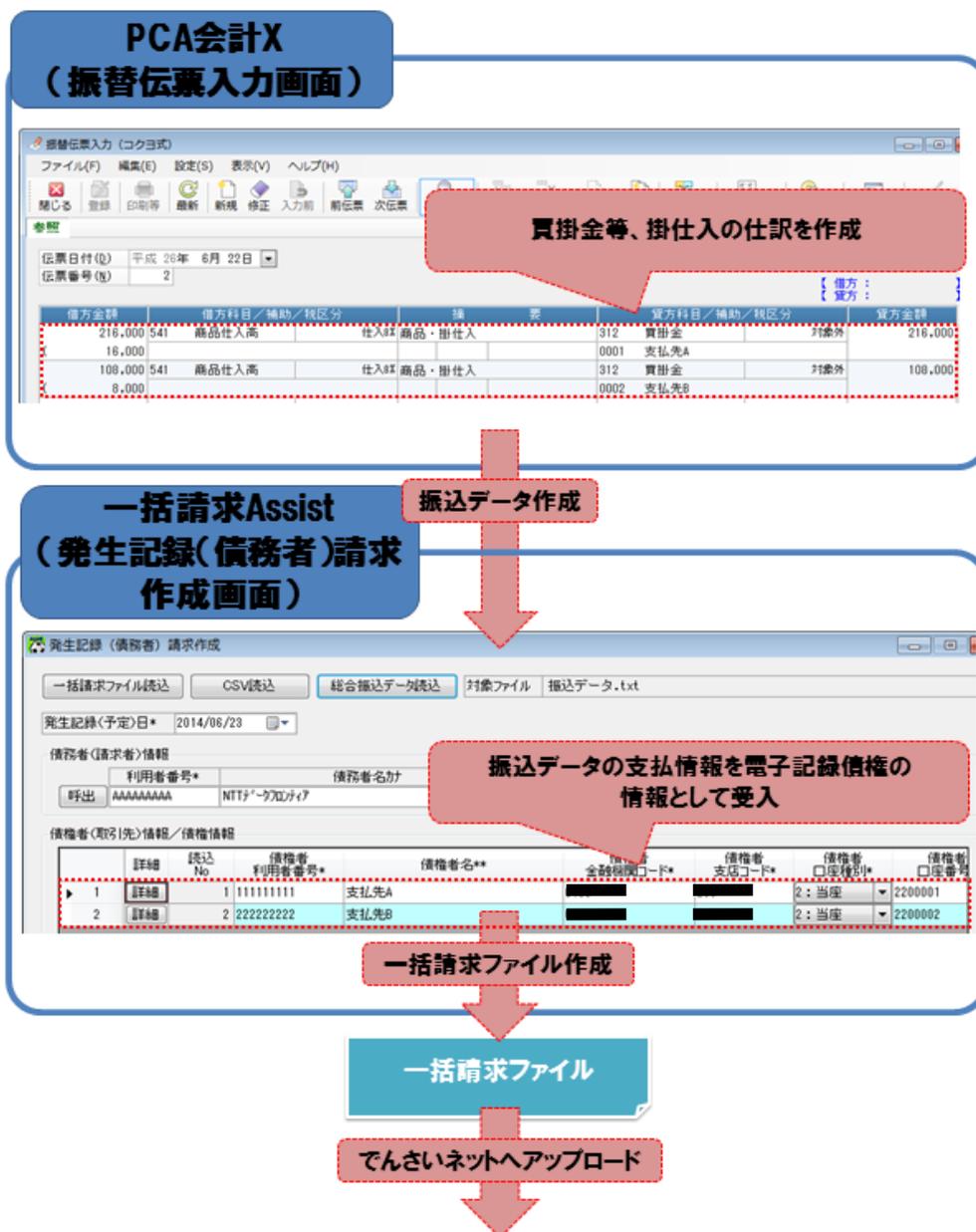
1 連携の概要

1.1 連携の概要

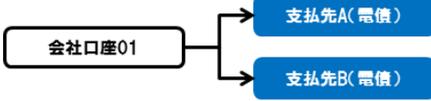
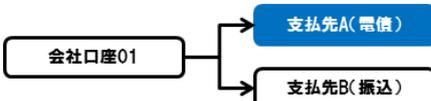
1.1.1 買掛金の支払を電子記録債権で実施(連携1)

「PCA 会計 X」をご利用の場合、本ソフトと連携することにより、買掛金の支払を電子記録債権で実施することができます。(以下、連携1)

本ソフトは、「PCA 会計 X」より出力した振込データを読み込むことにより、簡単に発生記録(債務者)一括請求ファイルを作成することができます。



なお、「PCA会計X」と本ソフトを連携（連携1）する場合、お客様の利用方法により、連携ができない場合や、事前設定方法が異なりますのでご注意ください。（下図参照）

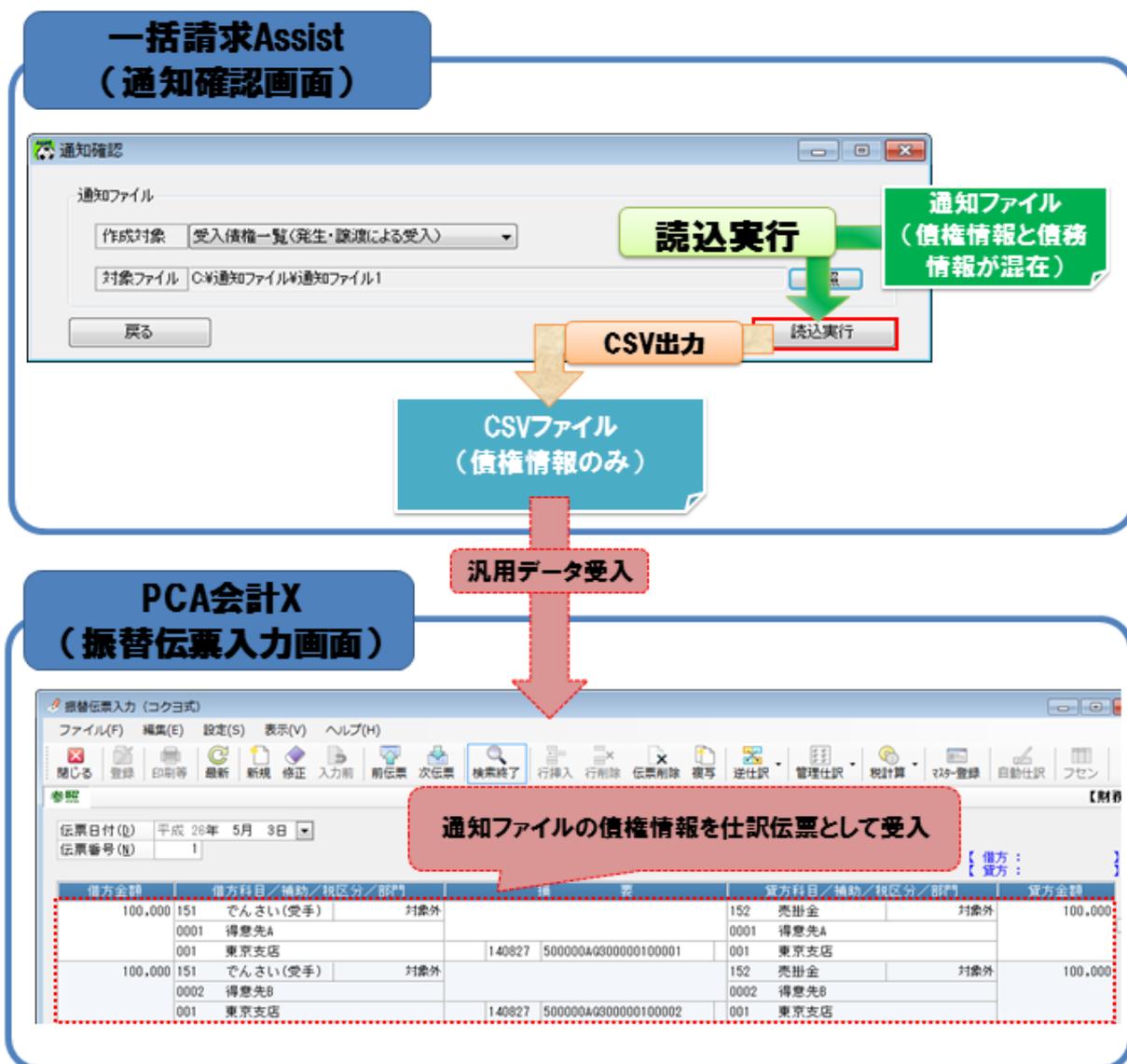
会社口座のパターン		マニュアル参照箇所
支払先への決済パターン	会社口座01：電子記録債権 & 振込の決済用口座 ① 支払先企業全てに電子記録債権で決済 ・支払先A：電子記録債権で決済 ・支払先B：電子記録債権で決済 	2 事前設定（連携1） 2.1.1 勘定科目を確認する 2.1.2 会社口座を確認する 2.1.3 補助科目を確認する（連携1-①） 2.1.5 振込先を確認する 2.2.1 取引先を設定する（連携1-①） 2.2.3 社内口座を設定する 3 連携手順（連携1） 3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する 3.1.2 振込データを作成する（連携1-①） 3.1.4 一括請求ファイルを作成する
	② 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済 ・支払先A：電子記録債権で決済 ・支払先B：振込で決済 	2 事前設定（連携1） 2.1.1 勘定科目を確認する 2.1.2 会社口座を確認する 2.1.4 補助科目を確認する（連携1-②） 2.1.5 振込先を確認する 2.2.2 取引先を設定する（連携1-②） 2.2.3 社内口座を設定する 3 連携手順（連携1） 3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する 3.1.3 振込データを作成する（連携1-②） 3.1.4 一括請求ファイルを作成する
	③ 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済 ・支払先A：電子記録債権 & 振込で決済 	-



上記①②の決済パターンについて、「支払先A」「支払先B」のように支払先が2社の例を記載しておりますが、支払先が2社以上でも連携可能です。

1.1.2 通知ファイルから仕訳伝票を作成(連携2)

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイルを出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「PCA 会計 X」に読み込むことにより簡単に仕訳伝票を作成することができます。（以下、連携2）



また、「PCA 会計 X」と本ソフトの連携を実施する場合、お客様の電子記録債権の利用方法に関わらず、連携は可能になります。

1.2 連携条件について

連携可能な「PCA 会計 X」のバージョンは下記の通りとなります。

バージョン：1.0

リビジョン：4.0.0 以降



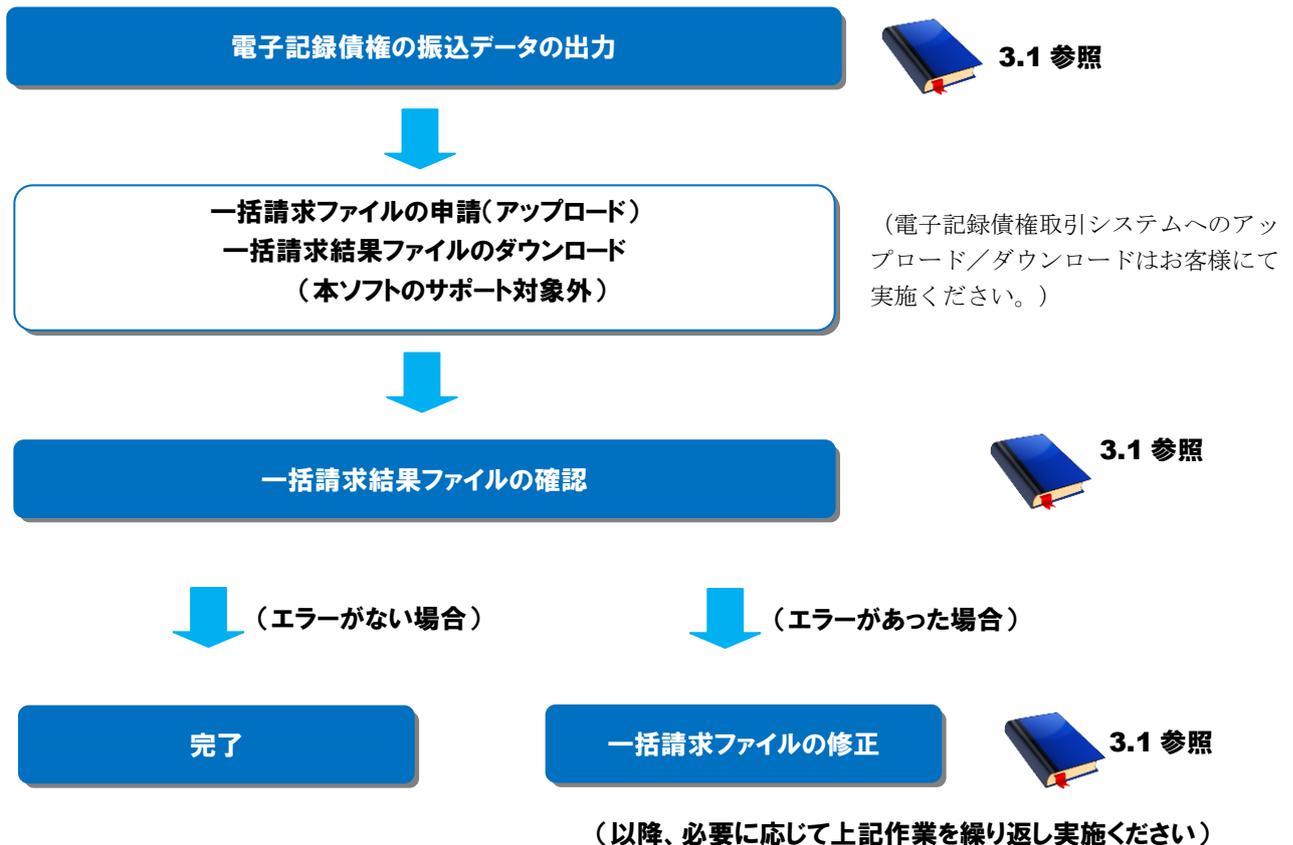
1.3 連携の流れ

1.3.1 連携の流れ(連携1)

事前設定



連携手順

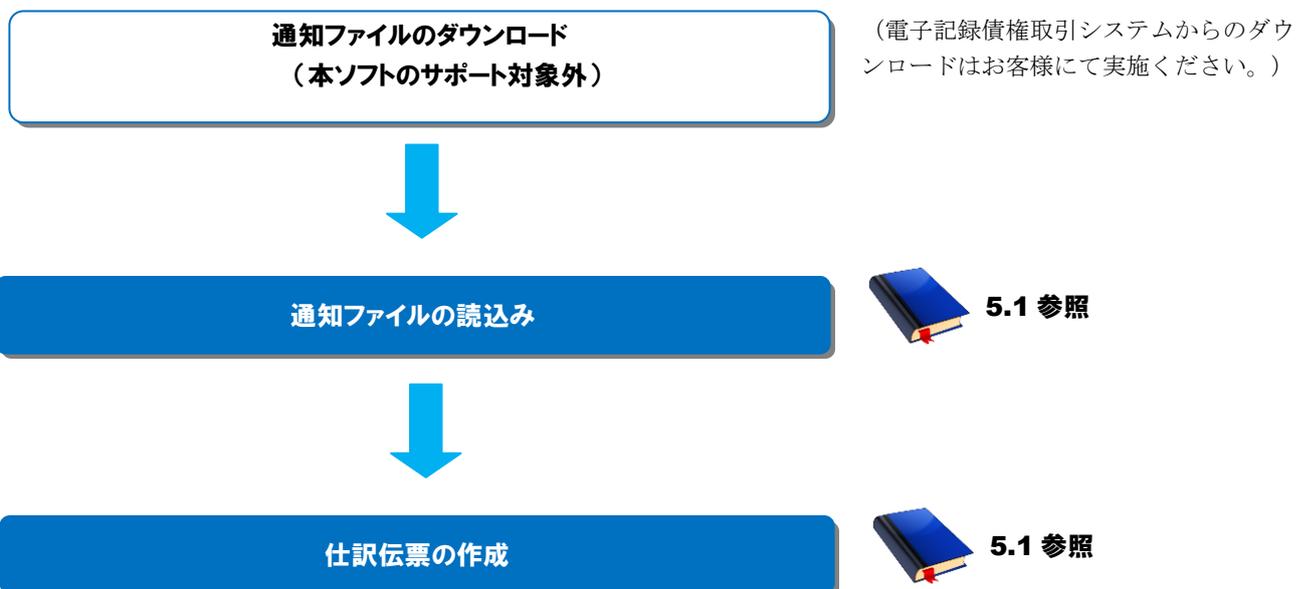


1.3.2 連携の流れ(連携2)

事前設定



連携手順



2 事前設定（連携1）

2.1 「PCA 会計 X」事前設定（連携1）

買掛金の支払を電子記録債権で実施する際（連携1）の「PCA 会計 X」事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
勘定科目を
確認する

2.1.2
会社口座を
確認する

2.1.3
補助科目を
確認する
（連携1-①）

2.1.4
補助科目を
確認する
（連携1-②）

2.1.5
振込先を
確認する

操作方法

2.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

🏠 「PCA 会計 X」を開き、[前準備][勘定科目の登録]を押下します。



- 勘定科目「買掛金」が存在することを確認します。
勘定科目「買掛金」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)

コード	勘定科目名	勘定科目属性	加索引	貸借
302	電子記録債務	支払手形	アノホ	貸方
312	買掛金	買掛金	カウキ	貸方
321	短期借入金	短期借入金	カウカ	貸方
322	未払金	未払金	ミハラ	貸方
323	未払費用	未払費用	ミハラ	貸方
324	前受金	前受金	マウキ	貸方
325	前受収益	前受収益	マウキ	貸方
326	預り金	預り金	アノカ	貸方
327	未払事業税等	未払事業税等	ミハラ	貸方
328	未払法人税等	未払法人税等	ミハラ	貸方
329	繰延税金負債	繰延税金負債	カノハ	貸方
330	未払配当金	未払配当金	ミハラ	貸方
331	仮受金	仮受金	カウキ	貸方
332	他流動負債	その他の流動負債	ソノカ	貸方
335	仮受消費税等	仮受消費税等	カウカ	貸方
336	未払消費税等	未払消費税等	ミハラ	貸方
337	賞与引当金	賞与引当金	ヨウキ	貸方
338	割引手形	割引手形	ウキキ	貸方
339	裏書手形	裏書手形	ウカキ	貸方
340	長期借入金	長期借入金	チウカ	貸方
342	繰延税金負債	繰延税金負債	カノハ	貸方
351	他固定負債	その他の固定負債	ソノカ	貸方
359	退職給付引当金	退職給付引当金	チヨウ	貸方

- 勘定科目「電子記録債務」が存在することを確認します。
勘定科目「電子記録債務」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)

コード	勘定科目名	勘定科目属性	加索引	貸借
302	電子記録債務	支払手形	デフォルト	貸方
312	買掛金	買掛金	加付	貸方
321	短期借入金	短期借入金	加付	貸方
322	未払金	未払金	デフォルト	貸方
323	未払費用	未払費用	デフォルト	貸方
324	前受金	前受金	デフォルト	貸方
325	前受収益	前受収益	デフォルト	貸方
326	預り金	預り金	加付	貸方
327	未払事業税等	未払事業税等	デフォルト	貸方
328	未払法人税等	未払法人税等	デフォルト	貸方
329	繰延税金負債	繰延税金負債	加付	貸方
330	未払配当金	未払配当金	デフォルト	貸方
331	仮受金	仮受金	加付	貸方
332	他流動負債	その他の流動負債	デフォルト	貸方
335	仮受消費税等	仮受消費税等	加付	貸方
336	未払消費税等	未払消費税等	デフォルト	貸方
337	賞与引当金	賞与引当金	加付	貸方
338	割引手形	割引手形	デフォルト	貸方
339	裏書手形	裏書手形	加付	貸方
340	長期借入金	長期借入金	加付	貸方
342	繰延税金負債	繰延税金負債	加付	貸方
351	他固定負債	その他の固定負債	デフォルト	貸方
359	退職給付引当金	退職給付引当金	加付	貸方



勘定科目「電子記録債務」の新規作成について

- 勘定科目属性は「支払手形」を設定してください。
- 貸借区分は「貸方」を設定してください。

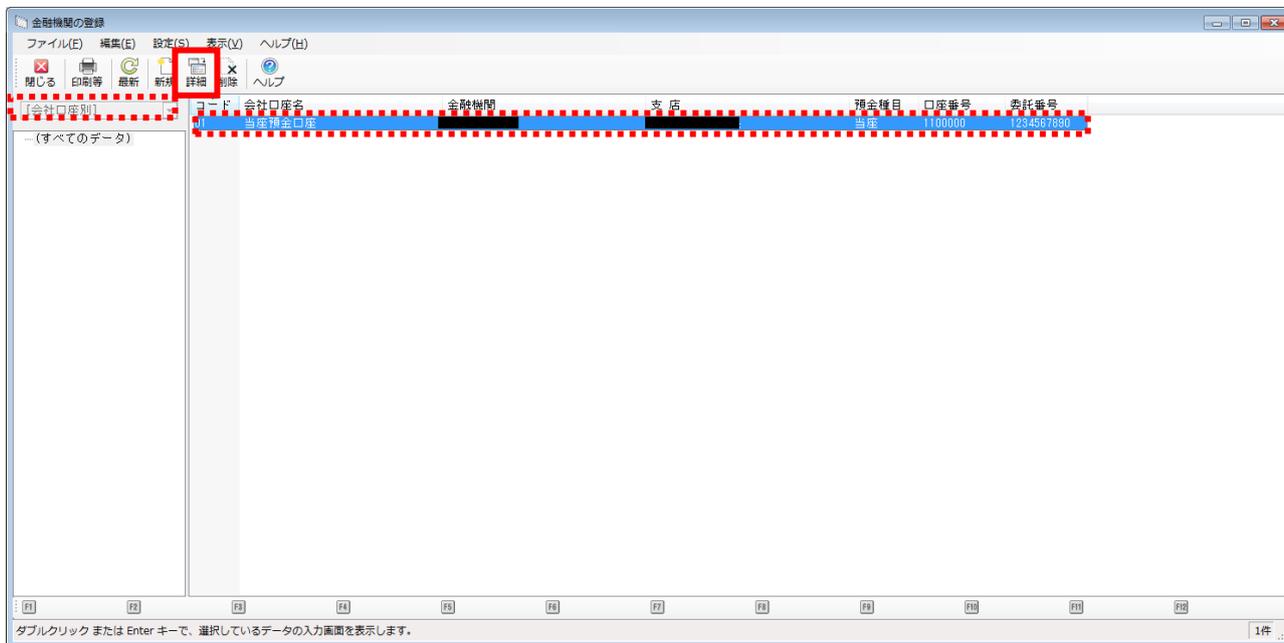
2.1.2 会社口座を確認する

連携で使用する会社口座が登録されているか確認します。

✚ [前準備][金融機関の登録]を押下します。



- プルダウンに会社口座別を選択し、登録されている会社口座を選択し、[詳細]を押下します。
会社口座が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)



金融機関情報、会社口座情報、関連科目情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 前移動 次移動 削除 一覧 ヘルプ

修正

基本情報(A):

コード	01
会社口座名	当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード	■
金融機関名	■
金融機関名フリガナ	■
店番号	■
支店名	■
支店名フリガナ	■

会社口座情報(C):

預金種目	2:当座
口座番号	1100000
委託番号	1234567890
委託者名	委託者名
委託者名フリガナ	イカタメ
区切り文字	0:CR・LF付

手数料情報(D):

振込先	金額範囲	電	信	文	書
同行同支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
同行他支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
他行	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	

手数料グループを使用する

関連科目情報(G):

会社口座科目	121	当座預金
会社口座補助科目		
支払手数料科目	741	支払手数料
支払手数料補助科目		
雑収入科目	819	雑収入
雑収入補助科目		

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12



委託番号とは、総合振込や給与振込サービスを利用する際に、会社口座を管理する金融機関が振込依頼人を識別するのに使用される番号です。これらのサービスを利用するためには、前もって金融機関に委託番号を割り当ててもらう必要があります。



都合により金融機関、支店は黒塗りでマスクしていますが、入力が必要な項目になります。以降の金融機関、支店についても同様になります。

2.1.3 補助科目を確認する（連携1-①）

連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

✚ [前準備][補助科目の登録]を押下します。



- 振込先に対応する補助科目が存在することを確認します。
補助科目が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例1～4を参照）
（新規作成方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。）

コード	補助科目名	勘定科目名	補助区分	借税	貸税	税自動計算	税弾数処理	振込先	繰日
0001	支払先A	電子記録債務	共通	00	00	税計算しない	指定なし	使用しない	0
0001	支払先A	買掛金	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用する	0
0002	支払先B	電子記録債務	共通	00	00	税計算しない	指定なし	使用しない	0
0002	支払先B	買掛金	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用する	0



電子記録債務の支払先は、最初に登録する補助科目は「科目別」で作成し、2つ目以降は、最初に登録した補助科目を共通補助として呼び出して登録します。
結果としては、上図の通り、補助区分「共通」で勘定科目「電子記録債務」「買掛金」が登録されます。

例 1 : 補助科目名「支払先 A」、勘定科目「電子記録債務」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債務」を設定します。
2	補助区分	科目別補助を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「支払先A」を設定します。
5	振込先	「0：振込先に使用しない」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2：補助科目名「支払先 A」、勘定科目「買掛金」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「買掛金」を設定します。
2	補助区分	共通補助を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、例 1 で作成した補助科目を選択します。 各項目は選択した補助科目から自動で設定されます。
4	振込先	「1：振込先に使用する」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 3：補助科目名「支払先 B」、勘定科目「電子記録債務」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債務」を設定します。
2	補助区分	科目別補助を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「支払先B」を設定します。
5	振込先	「0：振込先に使用しない」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 4：補助科目名「支払先 B」、勘定科目「買掛金」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「買掛金」を設定します。
2	補助区分	共通補助を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、例3で作成した補助科目を選択します。 各項目は選択した補助科目から自動で設定されます。
4	振込先	「1：振込先に使用する」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

2.1.4 補助科目を確認する（連携1-②）

連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

✚ [前準備][補助科目の登録]を押下します。



- 振込先に対応する補助科目が存在することを確認します。
- 補助科目が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例1～3を参照）
- （新規作成方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。

勘定科目	勘定科目	勘定科目	補助区分	借借	貸貸	科目別	科目別	科目別	科目別	科目別
0001	支払先A(で)	電子記録債務	共通	00	00	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	使用しない
0001	支払先A(で)	買掛金	共通	00	00	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	使用する
0002	支払先B	買掛金	科目別	00	00	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	使用する

電子記録債務の支払先（支払先 A（で））は、最初に登録する補助科目は「科目別」で作成し、2つ目以降は、最初に登録した補助科目を共通補助として呼び出して登録します。結果としては、上図の通り、補助区分「共通」で勘定科目「電子記録債務」「買掛金」が登録されます。

銀行振込の支払先（支払先 B）は、補助区分「科目別」で作成し、勘定科目「買掛金」で登録します。

例1：補助科目名「支払先A(で)」、勘定科目「電子記録債務」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債務」設定します。
2	補助区分	科目別補助を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「支払先A(で)」を設定します。
5	振込先	「0：振込先に使用しない」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2：補助科目名「支払先 A（で）」、勘定科目「買掛金」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「買掛金」を設定します。
2	補助区分	共通補助を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、例1で作成した補助科目を選択します。 各項目は選択した補助科目から自動で設定されます。
4	振込先	「1：振込先に使用する」を選択します。
5	締日	支払先Bと被らない締日（00～99の数字）を入力します。



締日とは、支払先をグループ化する番号になります。銀行振込依頼書の集計時のキーとして使用します。
実際の締日とは異なる番号を入力することが可能です。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 3：補助科目名「支払先 B」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「買掛金」を設定します。
2	補助区分	科目別補助を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「支払先B」を設定します。
5	振込先	「1：振込先に使用する」を選択します。
6	締日	支払先Aと被らない締日（00～99の数字）を入力します。



締日とは、支払先をグループ化する番号になります。銀行振込依頼書の集計時のキーとして使用します。
実際の締日とは異なる番号を入力することが可能です。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

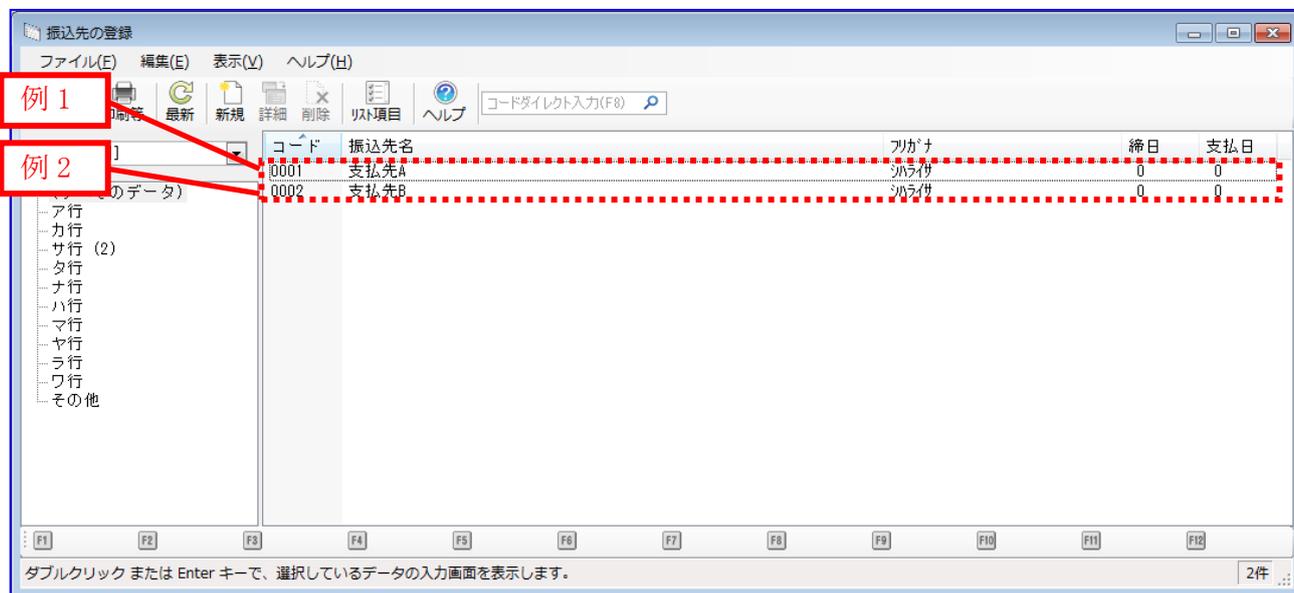
2.1.5 振込先を確認する

連携で使用する振込先が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備][振込先の登録]を押下します。



✚ 支払先が存在することを確認します。



上記画面は「**2.1.3 補助科目を確認する（連携1-①）**」の例になります。

「**2.1.4 補助科目を確認する（連携1-②）**」の場合は締日の表示が異なります。

例 1：支払先 A の振込先の登録

No	項目	説明
1	補助コード	「支払先A」の補助科目コードを設定します。
2	会社口座	会社口座を設定します。
3	振込先金融機関	「支払先A」の口座情報を設定します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2 : 支払先 B の振込先の登録

1 補助コード(K) 0002 支払先B

2 会社口座(A):
会社口座 01 当座預金口座(でんさい用)
金融機関
支店
口座番号 1100000

3 振込先金融機関(B):
金融機関
支店
口座番号 2200002
預金種目 普通 当座
送金方法 電信 文書
振込手数料負担 当方 先方 振込金額 0 円以上なら 先方

詳細設定(Q):
識別区分 顧客コード EDI情報
顧客コード1
顧客コード2
EDI情報

振込先名	支払先B
アガナ	シライサ
締日	0
支払日	0
郵便番号	
住所1	
住所2	
TEL	
FAX	

No	項目	説明
1	補助コード	「支払先B」の補助科目コードを設定します。
2	会社口座	会社口座を設定します。
3	振込先金融機関	「支払先B」の口座情報を設定します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

2.2 本ソフトの事前設定(連携1)

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順

2.2.1
取引先を
設定する
(連携1-①)

2.2.2
取引先を
設定する
(連携1-②)

2.2.3
社内口座を
設定する

操作方法

2.2.1 取引先を設定する (連携1-①)

- 取引先管理画面を開き、連携する支払先情報が登録されていることを確認します。
登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	111111111	支払先A	[redacted]	[redacted]	2:当座	2200001
2	222222222	支払先B	[redacted]	[redacted]	2:当座	2200002



項目「取引先 ID」は本連携では入力不要になります。

- 取引先管理画面に、振込先金融機関の口座情報を登録します。

PCA会計X 振込先の登録画面

補助コード(K) 0001 支払先A

会社口座(A):
会社口座 01 当座預金口座(でんさい用)
金融機関 [REDACTED]
支店 [REDACTED]
口座番号 1100000

振込先金融機関(B):
金融機関 [REDACTED]
支店 [REDACTED]
口座番号 2200001
預金種目 普通 当座

補助コード(K) 0002 支払先B

会社口座(A):
会社口座 01 当座預金口座(でんさい用)
金融機関 [REDACTED]
支店 [REDACTED]
口座番号 1100000

振込先金融機関(B):
金融機関 [REDACTED]
支店 [REDACTED]
口座番号 2200002
預金種目 普通 当座

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先番号	名称	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号
1	支払先A	[REDACTED]	[REDACTED]	当座	1100000
2	支払先B	[REDACTED]	[REDACTED]	当座	1100000

取引先管理

取引先情報

取引先番号 名称 金融機関コード 支店コード 口座種別 口座番号

1 支払先A [REDACTED] [REDACTED] 当座 1100000

2 支払先B [REDACTED] [REDACTED] 当座 1100000

検索

更新

2.2.2 取引先を設定する（連携1-②）

- 取引先管理画面を開き、連携する支払先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

No.	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	111111111	支払先A	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	2: 当座	2200001



項目「取引先 ID」は本連携では入力不要になります。

- 取引先管理画面に、振込先金融機関の口座情報を登録します。

PCA会計X 振込先の登録画面

振込先の登録

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 前移動 次移動

参照

補助コード(K) 0001 支払先A

会社口座(A):

会社口座 01 当座預金口座(でんさい用)

金融機関

支店

口座番号 1100000

振込先金融機関(B):

金融機関

支店

口座番号 2200001

預金種目 普通 当座

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先管理

CSV読み込み CSV出力

取引先情報

利用種別	取引先名	金融機関	支店コード	口座種別	口座番号
支払先A	金融機関	支店	日当座	2200001	

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

ジャンプ 検索 決定エラー

*必須項目

戻る 更新

2.2.3 社内口座を設定する

- 社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者名(検索用)*	利用者名加*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶ 1	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア			2: 当座	1100000



項目「社内口座 ID」は本連携では入力不要になります。

- ✚ 社内口座管理画面に、会社口座の口座情報を登録します。

**PCA会計X
金融機関の登録画面**

**一括請求Assist
(社内口座管理画面)**

	利用者名(受取用)*	利用者名(払込)*	金融機関コード*	本店コード*	口座種別*	口座番号*
1	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア			2:当座	1100000

3 連携手順(連携 1)

3.1 連携手順(連携 1)

「PCA 会計 X」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する

掛仕入の仕訳を作成します。

- 「PCA 会計 X」を開き、[データ入力][振替伝票入力(コクヨ式)]または[振替伝票入力(連想摘要)]を押下します。(本例ではコクヨ式にて実施します。)



掛仕入の仕訳を作成します。

No	項目	説明
1	伝票日付	伝票日付を入力します。
2	仕訳データA	支払先Aに対する掛仕入の仕訳を入力します。
3	仕訳データB	支払先Bに対する掛仕入の仕訳を入力します。



1枚の伝票に複数レコード登録し、連携することは可能です。
また、複数枚の伝票を作成し、連携することも可能です。



振替伝票入力画面で入力した金額、補助科目（支払先情報）は、本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。

3.1.2 振込データを作成する（連携1-①）

電子記録債権の支払先 A&支払先 B 向けの振込データを作成します。

✚ [銀行処理][銀行振込依頼書]を押下します。



✚ 条件を入力し、[画面出力]を押下します。

No	項目	説明
1	画面の種類	画面を選択します。
2	集計期間	振替伝票入力画面で入力した伝票日付の範囲を入力します。
3	会社口座	会社口座を入力します。



集計期間には「**3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する**」作成した伝票の伝票日付が含まれる範囲を選択してください。

支払先、金額を確認し、[振込データ作成]を押下します。

The screenshot shows a software window titled "銀行振込依頼書" (Bank Remittance Request Form). The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "設定(S)", "データ作成(D)", "表示(V)", and "ヘルプ(H)". The toolbar contains icons for "閉じる", "印刷等", "リセット", "集計条件", "再集計", "行コピー", "画面切替", "振込金額編集", "振込データ作成" (highlighted with a red box), and "ヘルプ".

Form fields include:
会社口座(B): 01 (当座預金口座 (でんさい用))
締日(Q): 0
支払日(Q): 0
集計期間(Q): 2014年 6月 22日 ~ 2014年 6月 22日

A table displays remittance data:

金融機関	振込先	預金種目	振込金額	口座番号	振込方法	先方手数料
		当座		2200001	電信	
0001	支払先A		216,000			0
0002	支払先B		108,000			0
合 計			324,000			0

At the bottom, a status bar shows "集計が完了しました。" (Calculation completed).

- ✚ 条件を入力し、[実行]を押下します。

振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	■■■■■■■■■■
支店	■■■■■■■■■■
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	1100000
区切り文字	CR・LF付

仕訳設定 (I)

集計仕訳を転送済みに変更する 支払伝票を作成する **1**

出力設定

取組日 (D) **2** 平成 26年 6月 22日

出力指定 (C) **3** 振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) **4** C:\Users\dev-original\Desktop\振込データ.txt

実行(F5) キャンセル

No	項目	説明
1	仕訳設定	「支払伝票を作成する」をチェックします。
2	取組日	取組日を入力します。 本ソフトの「発生記録（予定）日」に連携される項目です。
3	出力指定	「振込データの作成」を選択します。
4	出力先パス	任意の出力先を選択します。



取組日には本日以降の日付を入力してください。

- 所定のフォルダに振込データが作成され、支払伝票が表示されます。
貸方勘定科目を「電子記録債務」、補助科目を「支払先 A」「支払先 B」、摘要欄を電子記録債権での支払である旨がわかるよう修正して登録します。

振替伝票入力 (コクヨ式)

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付 (D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号 (N) 自動

借方金額	借方科目 / 補助 / 税区分	摘要	貸方科目 / 補助 / 税区分	貸方金額
216,000	312 買掛金 0001 支払先A	対象外 会社口座 振込	121 当座預金 対象外	216,000
108,000	312 買掛金 0002 支払先B	対象外 会社口座 振込	121 当座預金 対象外	108,000

【借方 :
貸方 :

振替伝票入力 (コクヨ式)

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付 (D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号 (N) 自動

借方金額	借方科目 / 補助 / 税区分	摘要	貸方科目 / 補助 / 税区分	貸方金額
216,000	302 電子記録債務 0001 支払先A	対象外 電子記録債権にて支払	302 電子記録債務 0001 支払先A 対象外	216,000
108,000	302 電子記録債務 0002 支払先B	対象外 電子記録債権にて支払	302 電子記録債務 0002 支払先B 対象外	108,000
324,000	合計	差 額	0	324,000

【借方 :
貸方 :

19 / 999

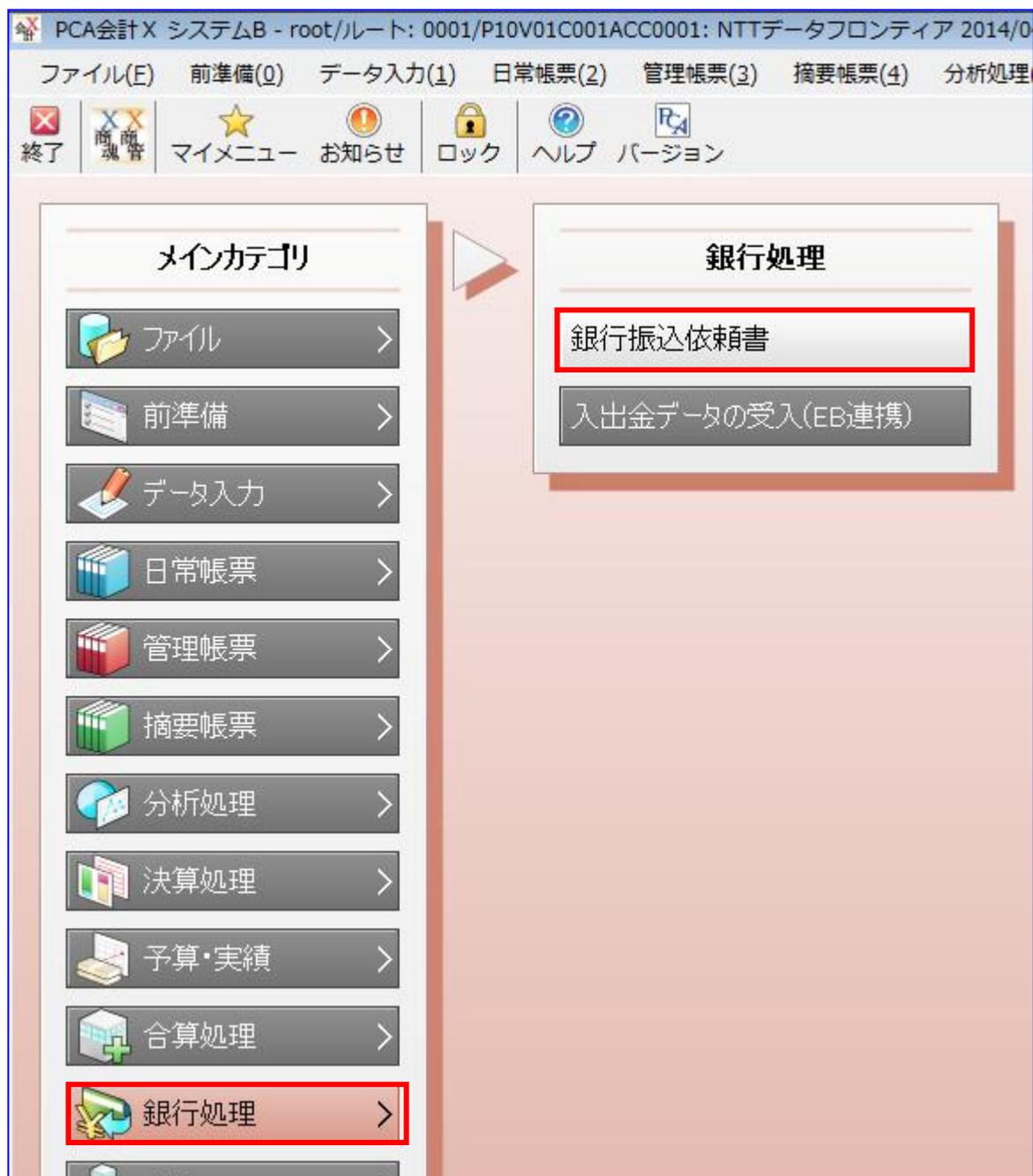


作成された支払先 A&支払先 Bの振込データは「**3.1.4 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

3.1.3 振込データを作成する（連携1-②）

電子記録債権で支払う支払先 A、銀行振込で支払う支払先 B 向けの振込データを作成します。

- ✚ 支払先 A 向けの振込データを作成します。
[銀行処理][銀行振込依頼書]を押下します。



✚ 条件を入力し、[画面出力]を押下します。

No	項目	説明
1	画面の種類	画面を選択します。
2	集計期間	振替伝票入力画面で入力した伝票日付の範囲を入力します。
3	会社口座	会社口座を入力します。
4	締日	「2.1.4 補助科目を確認する (連携1-2)」で設定した支払先Aの締日を入力します。



集計期間には「3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する」で作成した伝票の伝票日付が含まれる範囲を選択してください。



支払先 A の締日を設定することにより、支払先 A 向けの振込データを作成します。

支払先、金額を確認し、[振込データ作成]を押下します。

✚ 条件を入力し、[実行]を押下します。

振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	XXXXXXXXXX
支店	XXXXXXXXXX
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	1100000
区切り文字	CR・LF付

仕訳設定 (I)

集計仕訳を転送済みに変更する 支払伝票を作成する 1

出力設定

取組日 (D) 2 平成 26年 6月 22日 ▼

出力指定 (C) 3 振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) 4 C:\Users\dev-original\Desktop\振込データ.txt ▼

実行(F5) キャンセル

No	項目	説明
1	仕訳設定	「支払伝票を作成する」をチェックします。
2	取組日	取組日を入力します。 本ソフトの「発生記録（予定）日」に連携される項目です。
3	出力指定	「振込データの作成」を選択します。
4	出力先パス	任意の出力先を選択します。



取組日には本日以降の日付を入力してください。

- 所定のフォルダに振込データが作成され、支払伝票が表示されます。
貸方勘定科目を「電子記録債務」、補助科目を「支払先 A (で)」、摘要欄を電子記録債権での支払である旨がわかるよう修正して登録します。

振替伝票入力 (コクヨ式)

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号(N) 自動

借方金額	借方科目/補助/税区分	摘要	貸方科目/補助/税区分	貸方金額
216,000	312 買掛金 0001 支払先A(で)	対象外 会社口座 [] 振	121 当座預金 対象外	216,000

【借方 :
貸方 :

振替伝票入力 (コクヨ式)

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号(N) 自動

借方金額	借方科目/補助/税区分	摘要	貸方科目/補助/税区分	貸方金額
216,000	312 買掛金 0001 支払先A(で)	対象外 電子記録債権にて支払	302 電子記録債務 0001 支払先A(で)	216,000
216,000	合計	差 額	0	216,000

【借方 :
貸方 :



作成された支払先 A 向けの振込データは、「**3.1.4 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- ✚ 支払先 B 向けのデータを作成します。
[銀行処理][銀行振込依頼書]を押下します。



- 条件を入力し、[画面出力]を押下します。

No	項目	説明
1	画面の種類	画面を選択します。
2	集計期間	振替伝票入力画面で入力した伝票日付の範囲を入力します。
3	会社口座	会社口座を入力します。
4	締日	「2.1.4 補助科目を確認する②（連携2向け）」で設定した支払先Bの締日を入力します。



集計期間には「3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する」で作成した伝票の伝票日付が含まれる範囲を選択してください。



支払先Bの締日を設定することにより、支払先B向けの振込データを作成します。

支払先、金額を確認し、[振込データ作成]を押下します。

The screenshot shows a software window titled '銀行振込依頼書' (Bank Remittance Request Form). The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '設定(S)', 'データ作成(D)', '表示(V)', and 'ヘルプ(H)'. The toolbar contains icons for '終了', '印刷等', 'アルトキー', '集計条件', '再集計', '行コピー', '画面切替', '振込金額編集', and '振込データ作成' (highlighted with a red box). Below the toolbar, there are input fields for '会社口座(B)' (01), '当座預金口座', '締日(D)' (20), '支払日(M)' (0), and '集計期間(L)' (2014年 6月 22日 ~ 2014年 6月 22日). A '集計開始(F5)' button is on the right. The main area is a table with columns: '金融機関', '振込先', '預金種目', '口座番号', '振込方法', '振込金額', '当方手数料', and '先方手数料'. The first row shows a remittance to '支払先B' for 108,000 yen. A '合計' row at the bottom shows a total of 108,000 yen. The status bar at the bottom indicates '集計が完了しました。' (Calculation completed).

金融機関	振込先	預金種目	口座番号	振込方法	振込金額	当方手数料	先方手数料
	支払先B	当座	2200002	電信	108,000	0	0
合計					108,000	0	0

- 条件を入力し、[実行]を押下します。

振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	XXXXXXXXXX
支店	XXXXXXXXXX
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	1100000
区切り文字	CR・LF付

仕訳設定 (I)

集計仕訳を転送済みに変更する 支払伝票を作成する 1

出力設定

取組日 (Q) 2 平成 26年 6月 22日 ▼

出力指定 (Q) 3 振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) 4 C:\Users\dev-original\Desktop\振込データ.txt ▼

実行(F5) キャンセル

No	項目	説明
1	仕訳設定	「支払伝票を作成する」をチェックします。
2	取組日	取組日を入力します。 本ソフトの「発生記録（予定）日」に連携される項目です。
3	出力指定	「振込データの作成」を選択します。
4	出力先パス	任意の出力先を選択します。

- 所定のフォルダに振込データが作成され、支払伝票が表示されます。修正せず、そのまま登録します。

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索 行挿入 行削除 伝票削除 複写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マスタ登録 自動仕訳

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号(N) 自動

【借方 : 貸方 :】

借方金額	借方科目/補助/税区分	摘要	貸方科目/補助/税区分	貸方金額
108,000	312 買掛金 0002 支払先B	会社口座 [] 振	121 当座預金 対象外	108,000
108,000	合計	差額	0	108,000

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

1 / 999



作成された支払先 B 向けの振込データは、EB ソフト等に送信し、振込を実施してください。

3.1.4 一括請求ファイルを作成する

「3.1.2 振込データを作成する(連携1-①)」もしくは「3.1.3 振込データを作成する(連携1-②)」で作成した振込データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

本ソフトの発生記録(債務者)請求作成画面を開き、[総合振込データ読み込み]を押下します。

発生記録(債務者)請求作成

一括請求ファイル読み込み CSV読み込み **総合振込データ読み込み** 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2014/06/22

債務者(請求者)情報

利用者番号*	債務者名カナ	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
呼出 AAAAAAAAAA					

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読み込み No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
▶ 1 詳細							

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 0

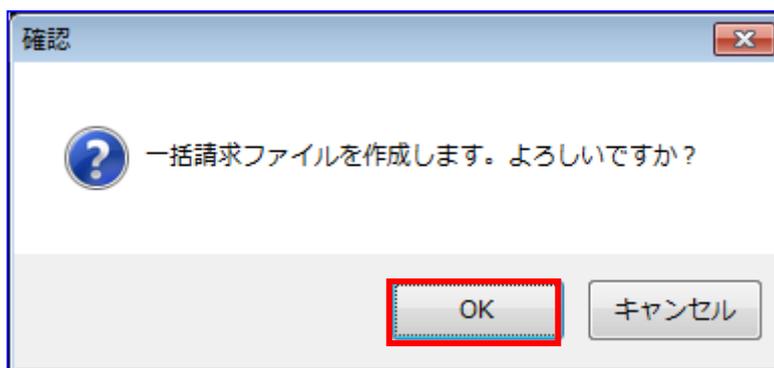
*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

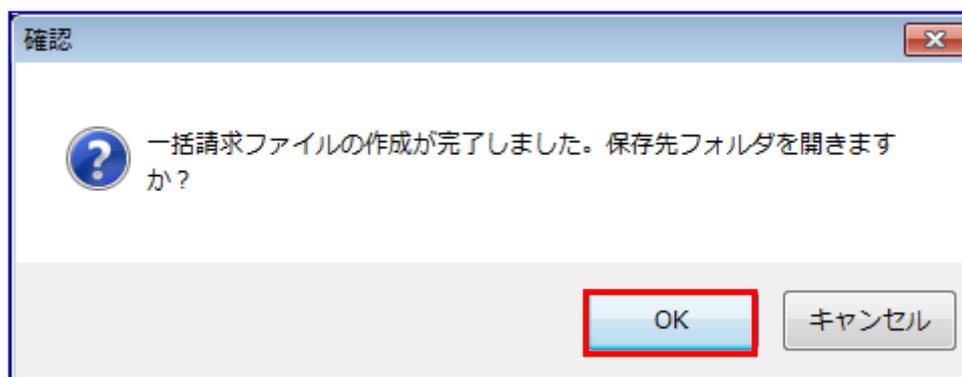
表示された内容を確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

No	項目	説明
1	発生記録 (予定) 日	「3.1.2 振込データを作成する (連携1-①)」,または「3.1.3 振込データを作成する (連携1-②)」で入力した取組日が設定されます。
2	債権者情報	「3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する」で入力した補助科目に対応する情報が設定されます。
3	債権金額 (円)	「3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する」で入力した金額が設定されます。
4	支払期日	前画面で入力した支払期日が設定されます。
5	譲渡制限有無	前画面で入力した譲渡制限有無が設定されます。

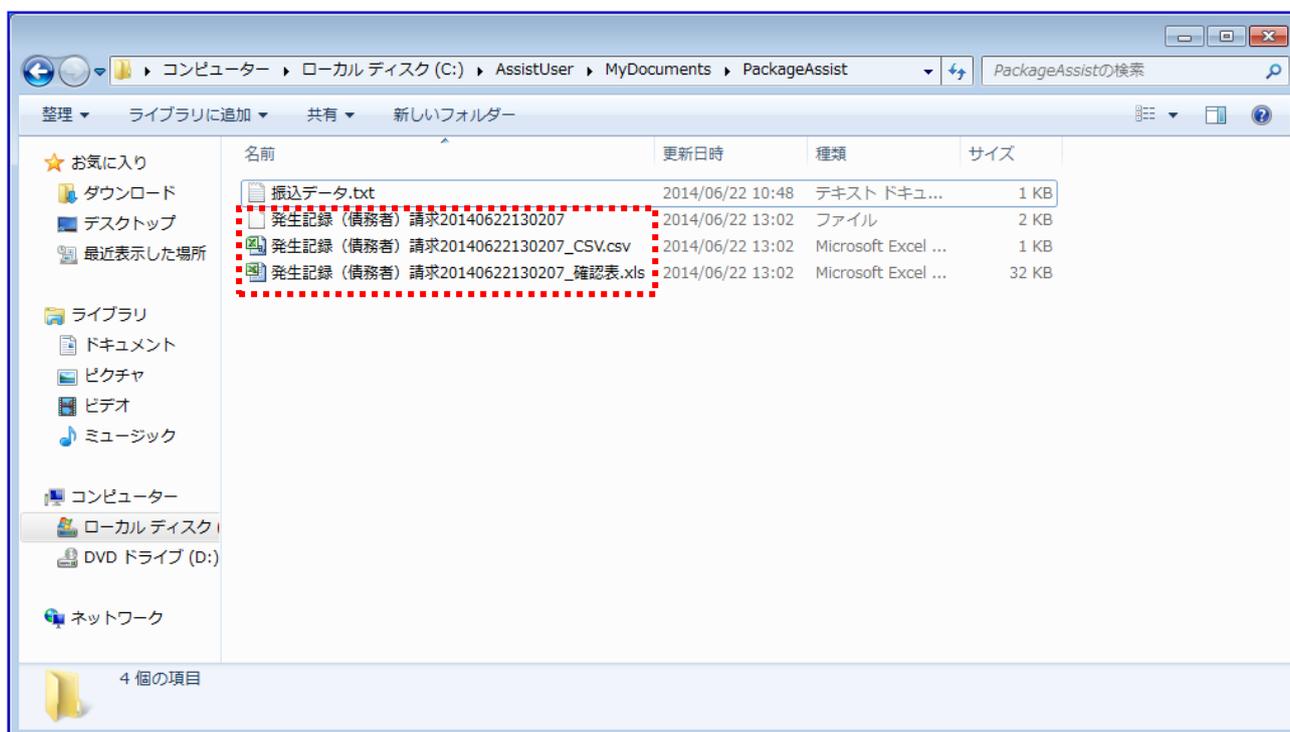
-
- ✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- ✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて設定した拡張子

- 出力された一括請求確認表を確認し、想定した請求内容になっていることをご確認ください。
(一括請求確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.2 発生記録(債務者)請求確認表**」、
「**6.2.3 発生記録(債権者)請求確認表**」をご参照ください。)

請求内容に誤りがある場合は、再度「**3.1.1 支払伝票を作成する**」を実施し、該当箇所を修正の上、一括請求ファイルを作成してください。

例)発生記録(債務者)請求確認表

発生記録(債務者)請求確認表										出力日時:2014/06/17 14:45:22		
対象ファイル:発生記録(債務者)請求20140617144522												
発生記録(予定)日										2014/06/17		
債務者(請求者)情報												
利用者番号	債務者名カナ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号						合計件数(件)	1
AAAAAAAA	NTTイブ-クラウド			2:当座	1100000						合計金額(円)	30,000
債権者(取引先)情報/債権情報												
No	利用者番号	債権者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	債権金額(円)	支払期日	譲渡制限有無	依頼人Ref.No.		
1	55555555	仕入先A株式会社			2:当座	1100005	30,000	2014/06/30	0:無			

- 電子記録債権取引システムへの一括請求ファイル申請(アップロード)作業を実施してください。
電子記録債権取引システムより一括請求結果が返却後、業務編「**3.4 発生記録(債務者/債権者)請求の一括請求結果確認**」を実施してください。

例)一括請求結果確認表

一括請求結果確認表										出力日時:2014/06/02 15:41:46		
統括ファイル:一括請求結果.txt												
結果										正常		
通知作成日										2014/06/17		
通知先利用者番号										AAAAAAAA		
種別コード	90:発生・譲渡通知									合計件数(件)	1	
文字コード区分	0:JIS									合計金額(円)	30,000	
通知先口座情報										2:当座 1100000		
No	区分	記録番号	債権金額(円)	電子記録年月日	義務者名	権利者名	義務者口座情報		譲渡制限有無	依頼人Ref.No.		
1	01:発生 (債務者請求)	A0000000100000100000	30,000	2014/06/17	債務者	NTTイブ-クラウド	2:当座 1100000		0:無			
				2014/06/30			債権者	2:当座 1100005				



支払期日が到来すると会社口座より債権金額の自動引落が実施されます。入出金明細データを取得し、「PCA 会計 X」に登録してください。

PCA会計X システムB - root/ルート: 0002/P10V01C001ACC0003: NTTデータフロンティア 2014/04/01-

ファイル(E) 前準備(Q) データ入力(1) 日常帳票(2) 管理帳票(3) 摘要帳票(4) 分析処理(5)

終了 商 管 マイメニュー お知らせ ロック ヘルプ バージョン

メインカテゴリ

- ファイル >
- 前準備 >
- データ入力 >
- 日常帳票 >
- 管理帳票 >
- 摘要帳票 >
- 分析処理 >
- 決算処理 >
- 予算・実績 >
- 合算処理 >
- 銀行処理 >**

銀行処理

- 銀行振込依頼書
- 入出金データの受入(EB連携)**

4 事前設定(連携2)

4.1 「PCA 会計 X」事前設定(連携2)

通知ファイルから仕訳伝票を作成する際(連携2)の「PCA 会計 X」事前設定方法を説明します。

操作手順

4.1.1
勘定科目を
確認する

4.1.2
補助科目を
確認する

4.1.3
部門を確認する

操作方法

4.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

「PCA 会計 X」を開き、[前準備][勘定科目の登録]を押下します。



- 勘定科目「売掛金」が存在することを確認します。
勘定科目「売掛金」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)

コード	勘定科目名	勘定科目属性	加索引	貸借	借税	貸税
151	電子記録債権	受取手形	電子債	借方	00	00
152	売掛金	売掛金	売掛金	借方	00	00
159	貸倒引当金	貸倒引当金	貸倒引	貸方	00	00
161	有価証券	有価証券	有価証	借方	00	X0
171	商品	商品	商品	借方	00	00
175	製品	製品	セ化	借方	00	00
176	原材料	原材料	ケンザ	借方	00	00
177	仕掛品	仕掛品	仕掛品	借方	00	00
178	貯蔵品	貯蔵品	貯蔵品	借方	00	00
180	未収収益	未収収益	未収収	借方	00	00
181	前入金	前入金	前入金	借方	00	00
182	立替金	立替金	立替金	借方	00	00
183	短期貸付金	短期貸付金	短期貸	借方	00	00
184	未収入金	未収入金	未収入	借方	00	00
185	前払費用	前払費用	前払費	借方	00	00
186	繰延税金資産	繰延税金資産	繰延税	借方	00	00
187	仮払金	仮払金	仮払金	借方	00	00
188	他流動資産	その他の流動資産	ソタリ	借方	00	00
191	仮払消費税等	仮払消費税等	仮払消	借方	Q4	Q4
197	未収消費税等	未収消費税等	未収消	借方	00	00
199	貸倒引当金	貸倒引当金	貸倒引	貸方	00	00
211	建物	建物	建物	借方	Q4	00
212	建物付属設備	建物付属設備	建物付	借方	Q4	00
213	構築物	構築物	構築物	借方	Q4	00
214	機械装置	機械装置	機械装	借方	Q4	00
215	車両運搬具	車両運搬具	車両運	借方	Q4	00
216	工具器具備品	工具器具備品	工具器	借方	Q4	00
219	有形固定資産	その他の有形固定資産	有形固	借方	Q4	00

- 勘定科目「電子記録債権」が存在することを確認します。
勘定科目「電子記録債権」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)

コード	勘定科目名	勘定科目属性	加索引	管借	借税	貸税
151	電子記録債権	受取手形	デフォルト	借方	00	00
152	売掛金	売掛金	加算	借方	00	00
159	貸倒引当金	貸倒引当金	加算	貸方	00	00
161	有価証券	有価証券	デフォルト	借方	00	X0
171	商品	商品	デフォルト	借方	00	00
175	製品	製品	セカンダリ	借方	00	00
176	原材料	原材料	デフォルト	借方	00	00
177	仕掛品	仕掛品	加算	借方	00	00
178	貯蔵品	貯蔵品	デフォルト	借方	00	00
180	未収収益	未収収益	デフォルト	借方	00	00
181	前渡金	前渡金	デフォルト	借方	00	00
182	立替金	立替金	加算	借方	00	00
183	短期貸付金	短期貸付金	加算	借方	00	00
184	未収入金	未収入金	デフォルト	借方	00	00
185	前払費用	前払費用	デフォルト	借方	00	00
186	繰延税金資産	繰延税金資産	加算	借方	00	00
187	仮払金	仮払金	加算	借方	00	00
188	他流動資産	その他の流動資産	デフォルト	借方	00	00
191	仮払消費税等	仮払消費税等	加算	借方	Q4	Q4
197	未収消費税等	未収消費税等	デフォルト	借方	00	00
199	貸倒引当金	貸倒引当金	加算	貸方	00	00
211	建物	建物	加算	借方	Q4	00
212	建物付属設備	建物付属設備	加算	借方	Q4	00
213	構築物	構築物	加算	借方	Q4	00
214	機械装置	機械装置	加算	借方	Q4	00
215	車両運搬具	車両運搬具	加算	借方	Q4	00
216	工具器具備品	工具器具備品	加算	借方	Q4	00
218	有形固定資産	その他の有形固定資産	加算	借方	Q4	00



勘定科目「電子記録債権」の新規作成について

- 勘定科目属性は「受取手形」を設定してください。
- 貸借区分は「借方」を設定してください。

4.1.2 補助科目を確認する

連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

✚ [前準備][金融機関の登録]を押下します。



- 得意先に対応する補助科目が存在することを確認します。
補助科目が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)

コード	得意先	勘定科目名	補助区分	借税	貸税	税自動計算	税端数処理	振込先	権限
0001	得意先A	電子記録債権	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用しない	0
0001	得意先A	売掛金	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用しない	0
0002	得意先B	電子記録債権	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用しない	0
0002	得意先B	売掛金	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用しない	0



電子記録債権の得意先は、最初に登録する補助科目は「科目別」で作成し、2つ目以降は、最初に登録した補助科目を共通補助として呼び出して登録します。
結果としては、上図の通り、補助区分「共通」で勘定科目「電子記録債権」「売掛金」が登録されます。

例1：補助科目名「得意先A」、勘定科目「電子記録債権」の設定例

The screenshot shows the '補助科目の登録' (Register Auxiliary Account) window. The '新規' (New) tab is active. The '勘定科目(K)' (Account Type) is set to '151 電子記録債権'. The '補助区分(C)' (Auxiliary Account Type) is set to '科目別補助'. The '基本設定(B):' (Basic Settings) section includes: 'コード' (Code) '0001', '補助科目名' (Auxiliary Account Name) '得意先A', 'が索引' (Index) 'トクイ', '補助科目正式名' (Auxiliary Account Official Name) '得意先A', and '正式名フリガナ' (Official Name Kana) 'トクイエー'. The '税設定' (Tax Settings) section includes: '借方税区分' (Debit Tax Category) '00' (消費税に関係ない科目), '貸方税区分' (Credit Tax Category) '00' (消費税に関係ない科目), '消費税設定(I):' (Consumption Tax Settings) with '消費税自動計算' (Consumption Tax Auto Calculation) '9:指定なし' and '消費税端数処理' (Consumption Tax Rounding) '9:指定なし'. Red dashed boxes and numbers 1-4 highlight these settings.

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債権」を設定します。
2	補助区分	科目別補助を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「得意先A」を設定します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2：補助科目名「得意先 A」、勘定科目「売掛金」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「売掛金」を設定します。
2	補助区分	共通補助を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、例 1 で作成した補助科目を選択します。 各項目は選択した補助科目から自動で設定されます。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 3：補助科目名「得意先 B」、勘定科目「電子記録債権」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債権」を設定します。
2	補助区分	科目別補助を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「得意先B」を設定します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 4：補助科目名「得意先 B」、勘定科目「売掛金」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「売掛金」を設定します。
2	補助区分	共通補助を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、例3で作成した補助科目を選択します。 各項目は選択した補助科目から自動で設定されます。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

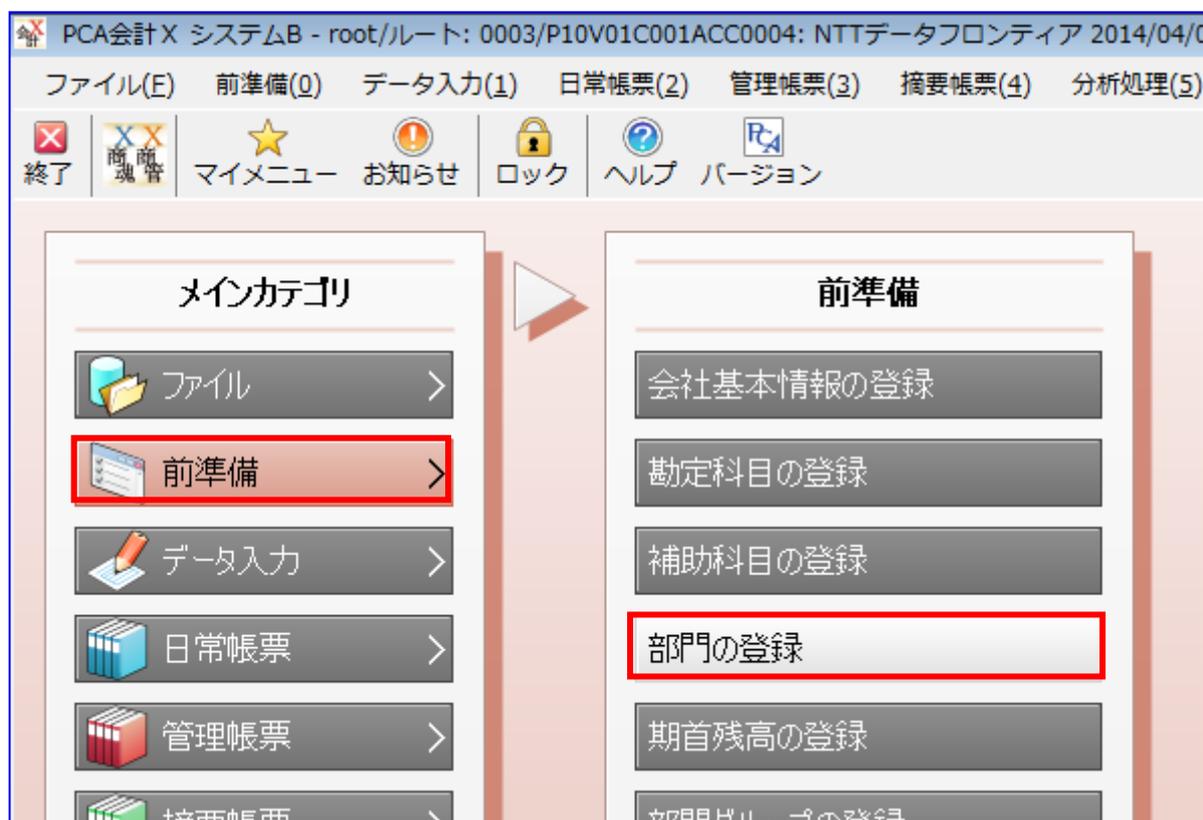
4.1.3 部門を確認する

部門を部門の登録画面で管理している場合、登録内容を確認します。



部門を使用していない場合、本項の作業は不要です。

✚ [前準備][部門の登録]を押下します。



4.2 本ソフトの事前設定(連携 2)

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順

4.2.1
通知確認設定情報を
を設定する

4.2.2
取引先を設定する

4.2.3
出力 CSV 設定を
設定する

4.2.4
固定値を設定する

操作方法

4.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し[保存]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '通知確認設定情報' (Notification Confirmation Settings) section is highlighted with a red dashed box. In this section, the '予約通知' (Reservation Notification) radio button is set to '出力しない' (Do not output), which is also highlighted with a red dashed box. The '保存' (Save) button at the bottom right is also highlighted with a red box.

設定項目	設定内容
請求者利用者番号	<input checked="" type="radio"/> 通常利用時 <input type="radio"/> 事務代行等での利用時
利用者番号	AAAAAAAAA
ファイル出力先	C:\AssistUser\My Documents\PackageAssist
口座種別区分	<input type="radio"/> 別段を利用する <input checked="" type="radio"/> 別段を利用しない
一括請求ファイル拡張子	<input type="radio"/> 付与する <input checked="" type="radio"/> 付与しない
メニュー表示有無	
発生記録(債権者)請求	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない
譲渡記録設定情報	
保証連伴有無	<input checked="" type="radio"/> 選択可(保証有り/無し) <input type="radio"/> 選択不可(保証有りのみ)
全額譲渡時の金額入力	<input checked="" type="radio"/> 入力する <input type="radio"/> 入力しない
通知確認設定情報	
予約通知	<input type="radio"/> 出力する <input checked="" type="radio"/> 出力しない
読込CSV設定	
使用フォーマット	一括請求Assist標準
出力CSV設定	
使用フォーマット	一括請求Assist標準
一括請求ファイル	<input type="radio"/> 出力する <input checked="" type="radio"/> 出力しない
一括請求結果ファイル	<input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない
通知ファイル	<input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない

4.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「4.1.2 補助科目を確認する」で登録した得意先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶ 1	11111111	得意先A	■■■■■	■■■■■	1: 普通	1111111
2	22222222	得意先B	■■■■■	■■■■■	1: 普通	2222222

- 取引先 ID に補助科目のコードを登録します。

PCA会計X 補助科目の登録画面

補助科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 検索 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ コードダイレクト入力(F8)

[勘定科目別-五十音別]

データ一覧 検索結果

(すべてのデータ)

- 111 現金 (0)
- 112 小口現金 (0)
- 121 当座預金 (0)
- 131 普通預金 (0)
- 139 納税準備預金 (0)
- 140 貯蓄預金 (0)

コード	補助科目名	加索引	勘定科目名
0001	得意先A	トクイ掛	電子記録債権
0001	得意先A	トクイ掛	売掛金
0002	得意先B	トクイ掛	電子記録債権
0002			掛金

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先管理

CSV読込 CSV出力

取引先情報

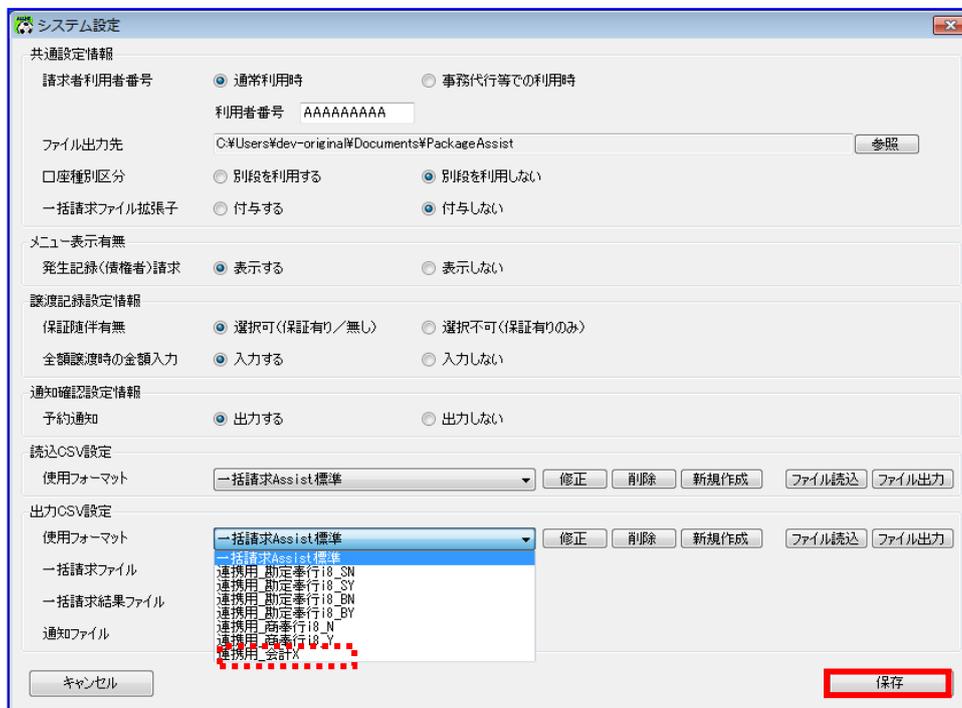
	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
1	得意先A			1: 普通	1111111	0001
2	得意先B			1: 普通	2222222	0002

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

戻る 更新

4.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットに「連携用_会計 X」を選択し、[保存]を押下します。



4.2.4 固定値を設定する

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、「PCA 会計 X」に登録されている勘定科目コードと部門コードを設定します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求結果ファイル 出力する 出力しない

通知ファイル 出力する 出力しない

- ✚ 出力 CSV フォーマットの通知の[設定]を押下します。

The screenshot shows a dialog box titled "出力CSVフォーマット共通設定" (Output CSV Format Common Settings). It is divided into two main sections: "共通情報" (Common Information) and "出力CSVフォーマット" (Output CSV Format).
In the "共通情報" section, there are two text input fields: "フォーマット名" (Format Name) containing "連携用_会計X" and "フォーマット形式" (Format Type) containing "ヘッダレコード無". Below these are radio button options for "出力形式" (Output Format): "日付形式" (Date Format) with options "YYYYMMDD" (selected), "YYYY/MM/DD", and "YYYY/M/D"; and "金額形式" (Amount Format) with options "カンマ有" and "カンマ無" (selected). A "更新" (Update) button is located at the bottom right of this section.
In the "出力CSVフォーマット" section, there are two rows of settings. The first row is "一括請求結果" (Batch Invoice Results) with a "設定" (Settings) button and the text "※未設定" (Not set). The second row is "通知" (Notification) with a "設定" (Settings) button highlighted by a red rectangular box. At the bottom left of the dialog is a "閉じる" (Close) button.



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値を設定し、[保存]を押下します。設定値については次ページの通り設定します。

出力CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する 設定する 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	4	
貸方勘定科目コード	5	
借方部門コード	6	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索 エラージャンプ

- 借方勘定科目コードの固定値について
「PCA 会計 X」の勘定科目「電子記録債権」に対応するコードを設定します。

**PCA会計X
(勘定科目の登録画面)**

勘定科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ

[属性グループ別]

(すべてのデータ)
 B/S科目
 P/L科目

コード	勘定科目名	勘定
151	電子記録債権	受取
152	売掛金	売掛
159	貸倒引当金	貸倒
161	有価証券	有価
171	商品	商品

**一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)**

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	4	151
貸方勘定科目コード	5	
借方部門コード	6	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

- 貸方勘定科目コードの固定値について
「PCA 会計 X」の勘定科目「売掛金」に対応するコードを設定します。

**PCA会計X
(勘定科目の登録画面)**

勘定科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ

[属性グループ別]

(すべてのデータ)

- B/S科目
- P/L科目

コード	勘定科目名	勘定
151	電子記録債権	受
152	売掛金	売
159	貸倒引当金	貸
161	有価証券	有
171	商品	商

**一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)**

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	4	1
貸方勘定科目コード	5	152
借方部門コード	6	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

- 借方部門コード、貸方部門コードの固定値について
「PCA 会計 X」の部門に対応するコードを設定します。

**PCA会計X
(部門の登録画面)**

コード	
000	共通部門
001	東京支店
002	

**一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)**

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方部門コード	6	001
貸方部門コード	7	001
税区分コード	8	00

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



本ソフトで設定する「PCA 会計 X」との連携用の「部門コード」は1種類になります。複数の部門を使い分けて利用する場合は、連携後の「PCA 会計 X」の振替伝票入力画面で修正するか、連携の都度、本手順にて固定値を修正してください。

(振替伝票入力画面での部門の修正方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
1	CSV 項目数	11
2	利用者 ID の自動設定有無	
3	利用者 ID の自動設定有無 (通知先情報)	自動設定しない
4	利用者 ID の自動設定有無 (義務者情報、権利者情報)	自動設定する
5	タイトル行有無	
6	タイトル行有無	設定しない
7	出力 CSV 項目設定	
8	データレコード項目	
9	作成対象区分	-
10	通知作成日	-
11	通知先情報_利用者番号	-
12	通知先情報_通知先名か	-
13	通知先情報_金融機関コード	-
14	通知先情報_金融機関名か	-
15	通知先情報_支店コード	-
16	通知先情報_支店名か	-
17	通知先情報_口座種別	-
18	通知先情報_口座番号	-
19	通知先情報_利用者 ID	-
20	合計件数 (件)	-
21	合計金額 (円)	-
22	データレコード区分	-
23	義務者情報_義務者名	-
24	義務者情報_金融機関コード	-
25	義務者情報_金融機関名か	-
26	義務者情報_支店コード	-
27	義務者情報_支店名か	-
28	義務者情報_口座種別	-
29	義務者情報_口座番号	-
30	義務者情報_利用者 ID	3
31	権利者情報_権利者名	-
32	権利者情報_金融機関コード	-
33	権利者情報_金融機関名か	-
34	権利者情報_支店コード	-
35	権利者情報_支店名か	-
36	権利者情報_口座種別	-
37	権利者情報_口座番号	-
38	権利者情報_利用者 ID	-
39	債権金額 (円)	1
40	支払期日	10
41	譲渡制限有無	-
42	記録番号	11
43	依頼人 Ref. No.	-
44	電子記録年月日	2
45	取消区分	-

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
46	データレコード項目 (任意項目)	
47	借方勘定科目コード	4 (固定値: 空)
48	貸方勘定科目コード	5 (固定値: 空)
49	借方部門コード	6 (固定値: 空)
50	貸方部門コード	7 (固定値: 空)
51	税区分コード	8 (固定値: 00)
52	税額	9 (固定値: 0)

✚ 【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

No	項目	出力内容	備考
1	データレコード		
2	伝票日付	通知ファイル, 電子記録年月日	
3	伝票番号	スペース 5 桁	
4	仕訳区分	スペース 2 桁	
5	管理仕訳区分	スペース 1 桁	
6	借方税計算モード	スペース 1 桁	
7	借方部門コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
8	借方部門名	スペース 30 桁	
9	借方科目コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
10	借方科目名	スペース 14 桁	
11	借方補助コード	通知ファイル, 義務者情報の 口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に 一致する取引先管理情報, 取引先 ID を自動設定	
12	借方補助名	スペース 14 桁	
13	借方税区分コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
14	借方税区分名	スペース 14 桁	
15	借方金額	通知ファイル, 債権金額	
16	借方消費税額	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
17	貸方税計算モード	スペース 1 桁	
18	貸方部門コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
19	貸方部門名	スペース 30 桁	
20	貸方科目コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
21	貸方科目名	スペース 14 桁	
22	貸方補助コード	通知ファイル, 義務者情報の 口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に 一致する取引先管理情報, 取引先 ID を自動設定	
23	貸方補助名	スペース 14 桁	
24	貸方税区分コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
25	貸方税区分名	スペース 14 桁	
26	貸方金額	通知ファイル, 債権金額	
27	貸方消費税額	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
28	摘要文	スペース 256 桁	
29	数字 1	通知ファイル, 支払期日	YYMMDD 形式
30	数字 2	通知ファイル, 記録番号	
31	入力プログラム区分	スペース 2 桁	
32	配賦元税計算	スペース 1 桁	
33	配賦元集計方法	スペース 1 桁	
34	配賦元集計開始日付	スペース 8 桁	
35	配賦元集計終了日付	スペース 8 桁	
36	配賦元管理仕訳区分	スペース 2 桁	
37	配賦元部門コード	スペース 6 桁	
38	配賦元部門名	スペース 30 桁	
39	配賦元科目コード	スペース 10 桁	
40	配賦元科目名	スペース 14 桁	
41	配賦元補助コード	スペース 10 桁	
42	配賦元補助名	スペース 14 桁	
43	配賦元金額	スペース 12 桁	

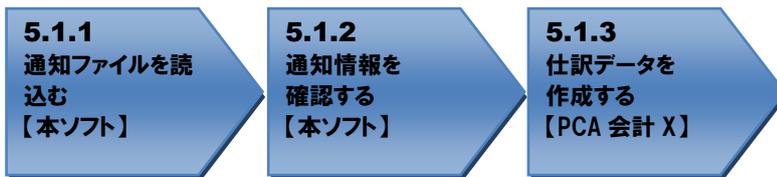
(CSV ファイルフォーマットの詳細については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)

5 連携手順(連携 2)

5.1 連携手順(連携 2)

「PCA 会計 X」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

5.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「PCA 会計 X」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧(発生・譲渡による受入)」を選択します。

通知確認

通知ファイル

作成対象 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

対象ファイル 参照

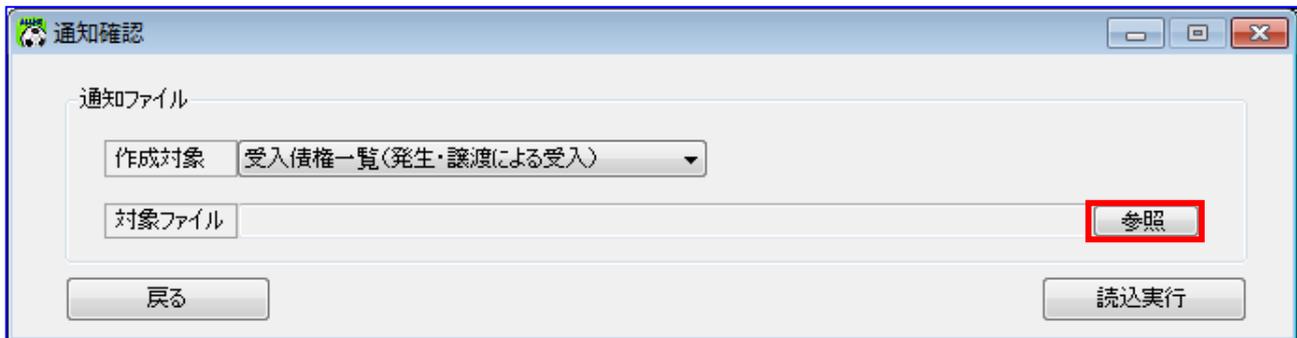
戻る 読み実行



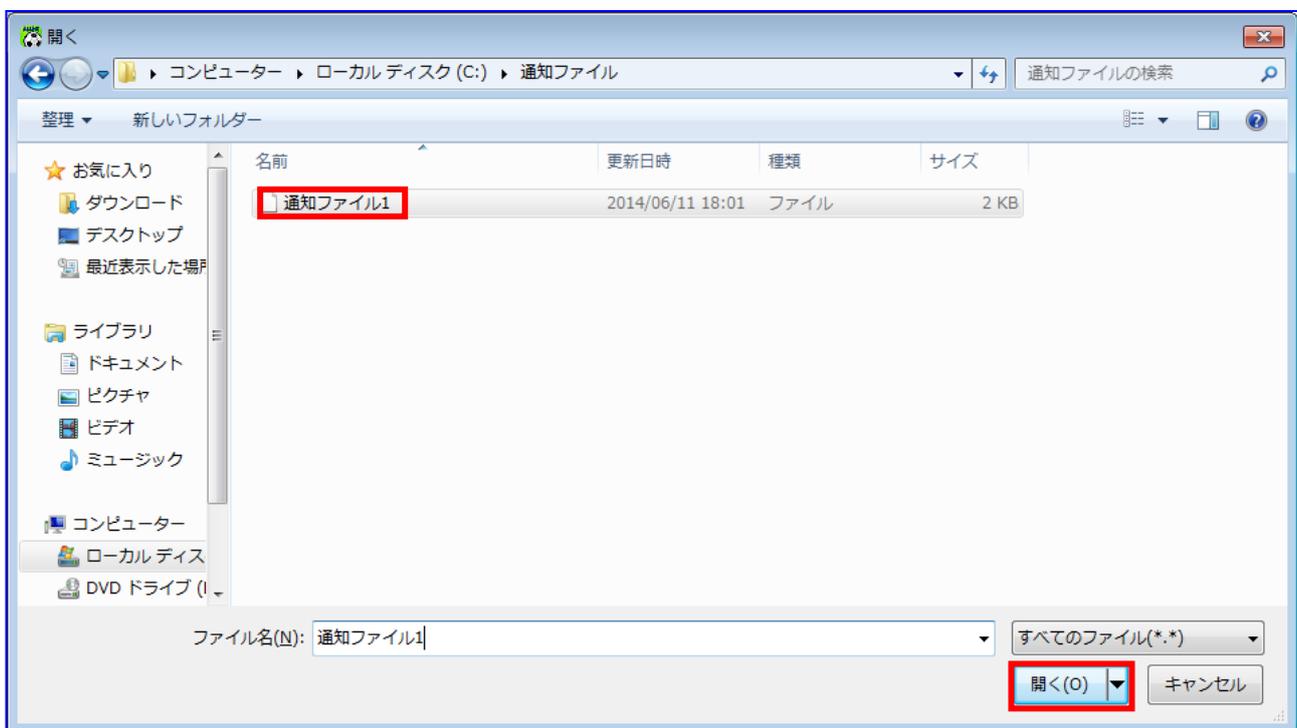
「受入債権一覧(発生・譲渡による受入)」とは通知情報から発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を指します。

読み込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報(通知先情報の口座情報)が設定されている債権を抽出します。

- 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。
[参照]を押下します。



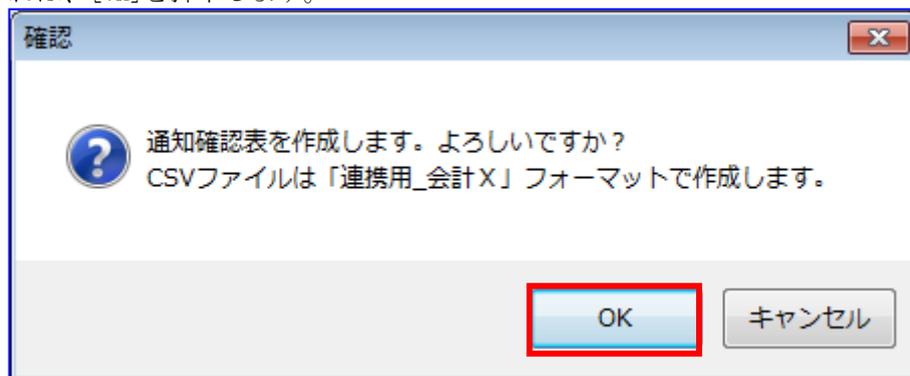
- [参照]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。

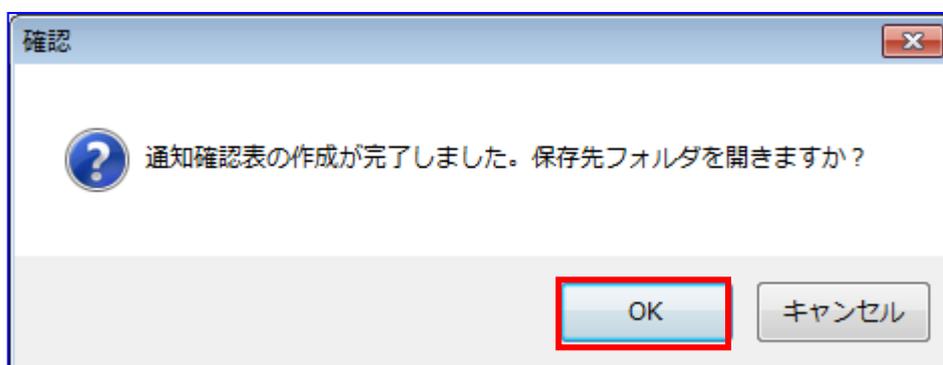


「**4.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名が表示されます。

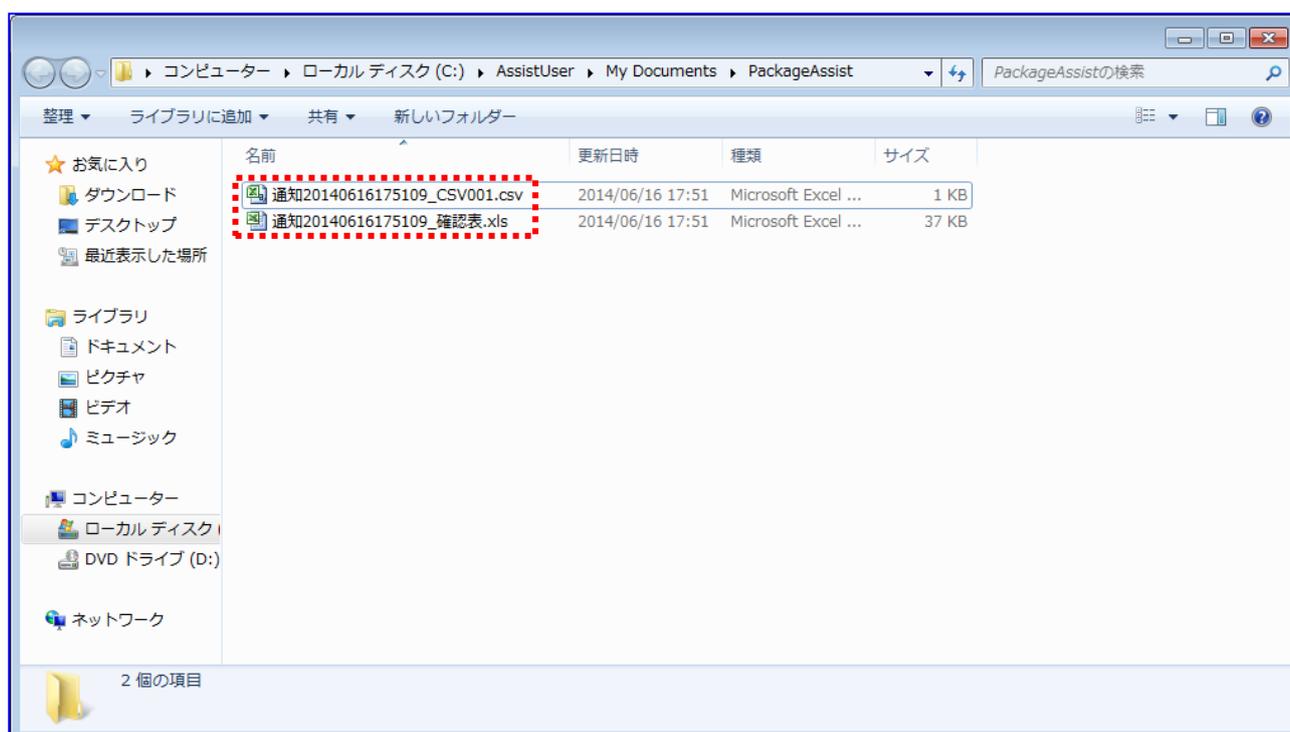


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご確認ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
作成した通知確認表の保存先フォルダを表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表 : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

CSV ファイル : 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv

5.1.2 通知情報を確認する

- 出力された通知確認表を開きます。
(通知確認表の詳細は、基本操作編「6.2.8.1 通知確認表(概要)」、「6.2.8.2 通知確認表」をご参照ください。)

通知確認表は、「概要シート」と「詳細シート」で構成されています。

- 「概要シート」には、各詳細シートにおける CSV ファイル、通知先情報、合計件数、合計金額の一覧が出力されています。

例)通知確認表(概要シート)

No	シート名	CSVファイル	通知先 利用者番号	通知先名	通知先口座情報	合計件数(件)	合計金額(円)
1	通知確認表001	通知20130701143751_CS#001.csv	A00000001	株式会社〇〇〇	2:当座 1110000	2	2,000,000
2	通知確認表002	通知20130701143751_CS#002.csv	A00000001	株式会社〇〇〇	2:当座 1110001	2	2,000,000
3	通知確認表003	通知20130701143751_CS#003.csv	A00000001	株式会社〇〇〇	2:当座 1110002	3	3,000,000
4	通知確認表004	通知20130701143751_CS#004.csv	A00000001	株式会社〇〇〇	2:当座 1110003	3	3,000,000



- 「詳細シート」には、読込んだ通知ファイルの通知先口座情報毎の詳細情報が出力されています。

例)通知確認表(詳細シート)

No	区分	記録番号	債権金額(円)	電子記録年月日 支払期日	債務者名 権利者名	債務者口座情報 権利者口座情報	譲渡 制限	債権人RefNo.	取消 区分
1	01: 発生 (債務者請求)	A0000000100000100000	1,000,000	2013/01/07	債務者 株式会社〇〇〇	2:当座 9999999	0:無	ARSDFGHILKJMNOPQRSTUW	
2	01: 発生 (債務者請求)	A0000000100000200000	1,000,000	2013/01/08	債務者 株式会社〇〇〇	2:当座 9999999	0:無	ARSDFGHILKJMNOPQRSTUW	



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号）毎に作成されます。
電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

CSV ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび CSV ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび CSV ファイルは出力されません。

5.1.3 仕訳伝票を作成する

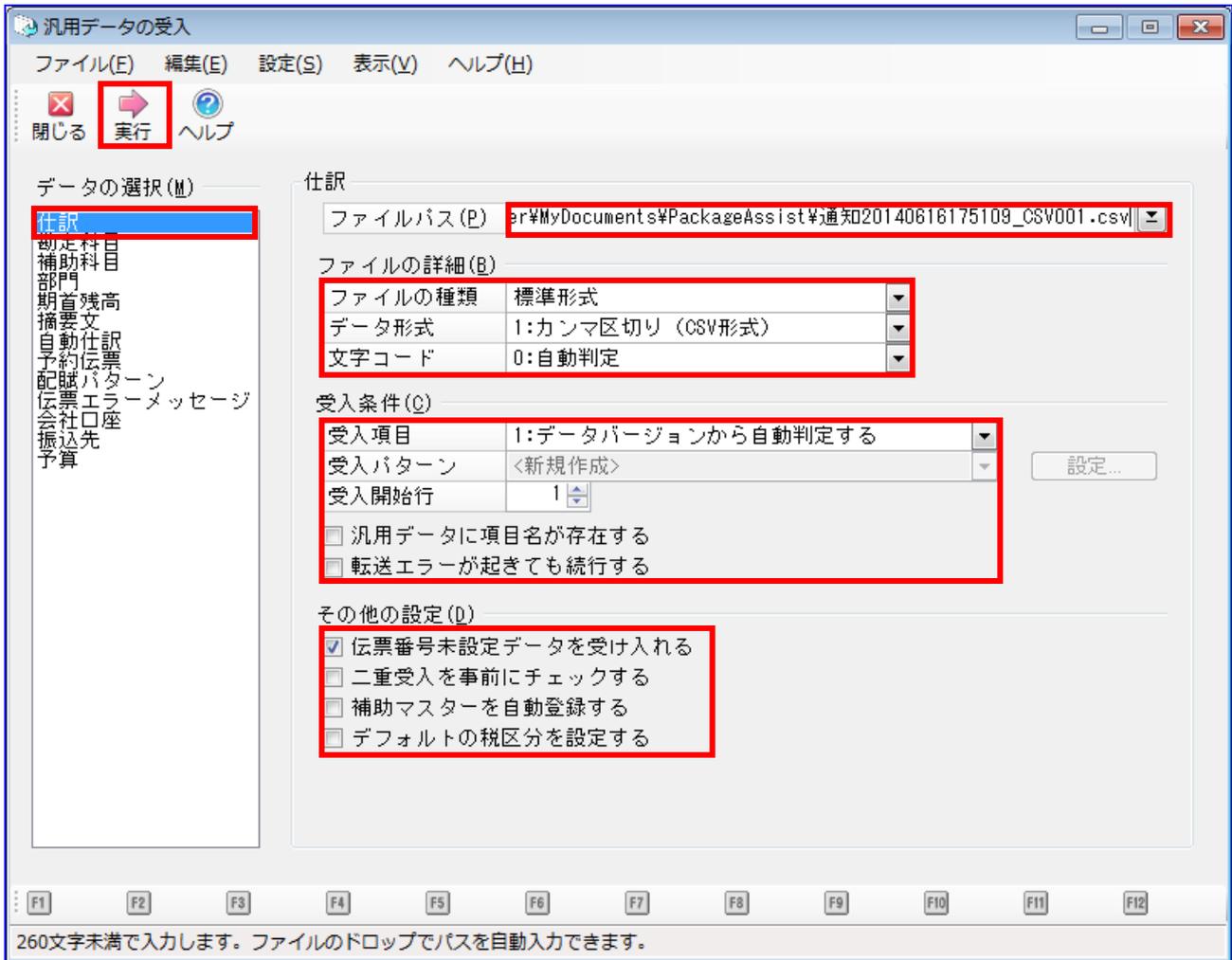
「5.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「PCA 会計 X」で読み込み、仕訳データを作成します。

- 「PCA 会計 X」を開き、[随時処理][汎用データ受入][仕訳伝票データ受入][仕訳伝票データ受入]を押下します。



『税率 5%の経過措置の取引伝票』については、本連携手順にて債権情報 CSV ファイルを読み込ませないようご注意ください。
(経過措置の取引伝票を利用する場合には、「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)

- ✦ ファイルパスに「**5.1.1 通知ファイルを読み込む**」で作成した債権情報 CSV ファイルを選択し、データの選択、ファイルの詳細、受入条件、その他の設定を下記の通り選択し、受入開始ボタンを押下します。



- 仕訳の内容を確認します。
[データ入力][振替伝票入力（コクヨ式）]を押下します。



- 仕訳の内容を確認し、問題がある場合は当画面より修正を行います。
(振替伝票入力画面での部門の修正方法については「PCA 会計 X」のヘルプをご参照ください。)

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索終了 行挿入 行削除 伝票削除 複写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マサ-登録 自動仕訳 フセン

修正 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 5月 3日

伝票番号(N) 1

{ 借方 : }

{ 貸方 : }

借方金額	借方科目	補助	税区分	部門	摘要	貸方科目	補助	税区分	部門	貸方金額
100,000	151	電子記録債権		対象外	電子記録債権にて受け取り	152	売掛金		対象外	100,000
	0001	得意先A				0001	得意先A			
	001	東京支店			140827 500000A0800000100001	001	東京支店			
100,000	151	電子記録債権		対象外	電子記録債権にて受け取り	152	売掛金		対象外	100,000
	0002	得意先B				0002	得意先B			
	001	東京支店			140827 500000A0800000100002	001	東京支店			
200,000	合計				差 額	0				200,000

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

12 / 999



「適要」については、債権情報 CSV ファイルからは連携されませんので、任意の内容を追記ください。

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(PCA 会計 X)

平成 26 年 8 月 18 日 第 2.1 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、電子記録債権サービスである「でんさいネット」を使用する目的に限り使用できるものとします。
- ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
- ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編 (PCA 商管 X)

第 2.1 版

目次

はじめに.....	2
1 連携の概要.....	3
1.1 連携の概要.....	3
1.2 連携条件について.....	5
1.3 連携の流れ.....	6
2 連携事前設定.....	7
2.1 「PCA 商管 X」事前設定.....	7
2.1.1 会社口座を確認する①.....	8
2.1.2 会社口座を確認する②.....	11
2.1.3 仕入先を確認する.....	15
2.2 本ソフトの事前設定.....	19
2.2.1 取引先を設定する①.....	20
2.2.2 取引先を設定する②.....	22
2.2.3 社内口座を設定する①.....	24
2.2.4 社内口座を設定する②.....	26
3 連携手順.....	28
3.1 連携手順.....	28
3.1.1 支払伝票を作成する①.....	29
3.1.2 支払伝票を作成する②.....	32
3.1.3 振込データを作成する①.....	35
3.1.4 振込データを作成する②.....	38
3.1.5 一括請求ファイルを作成する①.....	43
3.1.6 一括請求ファイルを作成する②.....	48
3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする.....	54

はじめに

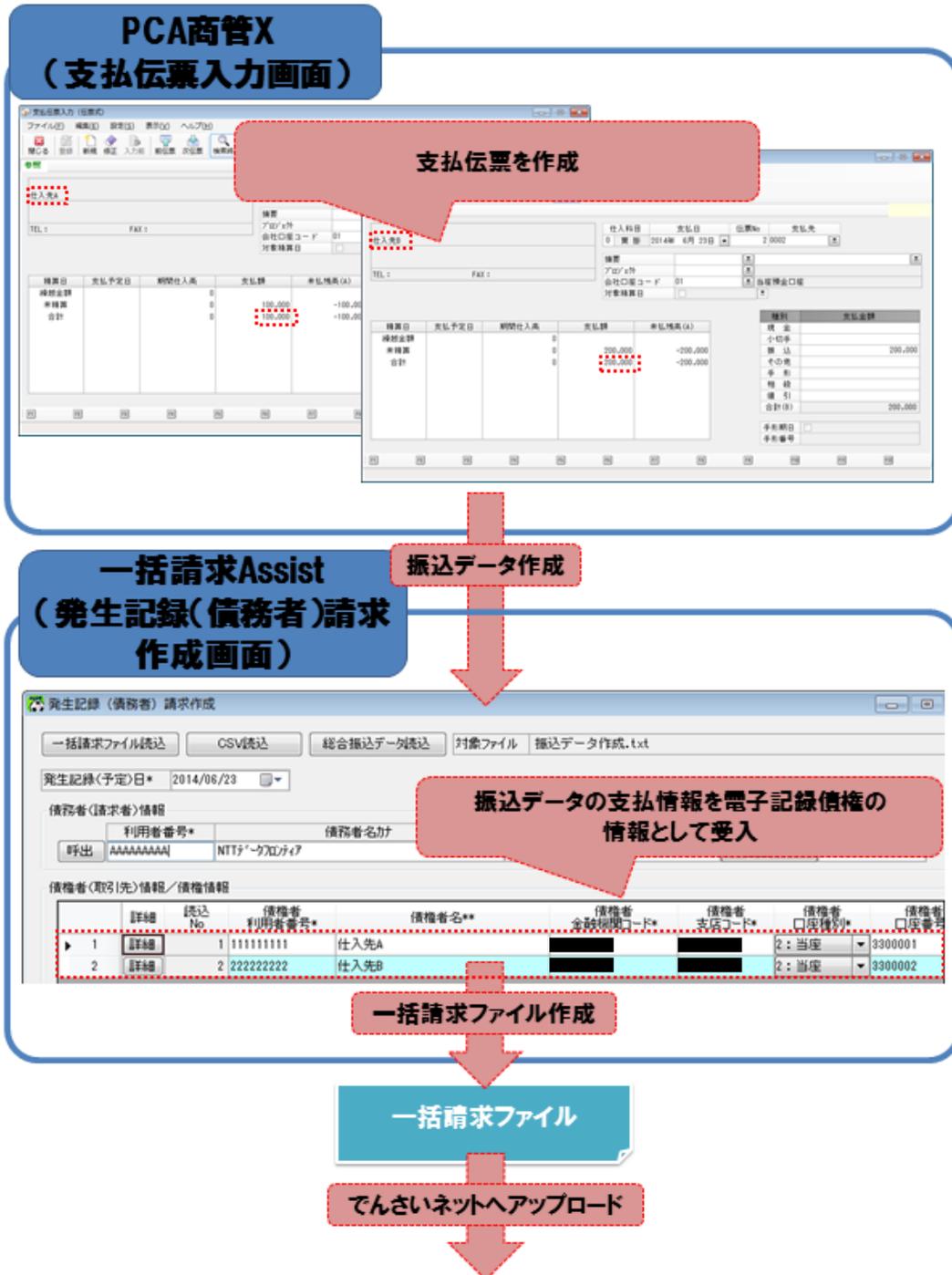
本書では、本ソフトとピー・シー・エー株式会社の仕入・在庫管理ソフト「PCA 商管 X」との連携について、事前設定、典型手順を説明します。

本書に記載されていない「PCA 商管 X」のその他機能の詳細については、「PCA 商管 X」のヘルプをご参照ください。

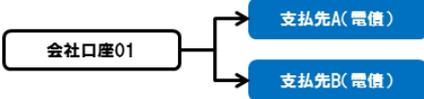
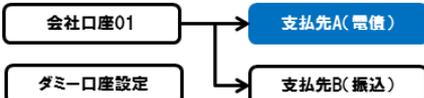
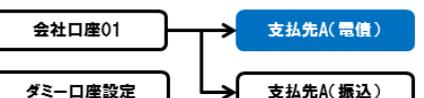
1 連携の概要

1.1 連携の概要

「PCA 商管 X」をご利用の場合、本ソフトと連携することにより、支払先へ電子記録債権で支払うことができます。
本ソフトは、「PCA 商管 X」より出力した総合振込データを読み込むことにより、簡単に発生記録（債務者）一括請求ファイルを作成します。



なお、振込で行っている支払を電子記録債権で実施する場合、お客様の利用方法によって、事前設定が異なりますのでご注意ください。（下図参照）

	会社口座のパターン	マニュアル参照箇所	
支払先への決済パターン	<p>① 支払先企業全てに電子記録債権で決済 ・支払先A：電子記録債権で決済 ・支払先B：電子記録債権で決済</p>	<p>会社口座01：電子記録債権 & 振込の決済用口座 本ソフトと「PCA商管X」の連携は可能です。 右記を参照し、事前設定と連携を行ってください。</p> 	<p>2 連携事前設定 2.1.1 会社口座を確認する① 2.1.3 仕入先を確認する 2.2.1 取引先を設定する① 2.2.3 社内口座を設定する①</p> <p>3 連携手順 3.1.1 支払伝票を作成する① 3.1.3 振込データを作成する① 3.1.5 一括請求ファイルを作成する① 3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする</p>
	<p>②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済 ・支払先A：電子記録債権で決済 ・支払先B：振込で決済</p>	<p>本ソフトと「PCA商管X」の連携は可能です。 右記を参照し、事前設定と連携を行ってください。</p> 	<p>2 連携1：事前設定 2.1.2 会社口座を確認する② 2.1.3 仕入先を確認する 2.2.2 取引先を設定する② 2.2.4 社内口座を設定する②</p> <p>3 連携手順 3.1.2 支払伝票を作成する② 3.1.4 振込データを作成する② 3.1.6 一括請求ファイルを作成する② 3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする</p>
	<p>②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済 ・支払先A：電子記録債権 & 振込で決済</p>	<p>本ソフトと「PCA商管X」の連携は可能です。 右記を参照し、事前設定と連携を行ってください。</p> 	



ダミー口座とは、本ソフトと「PCA商管X」の連携において、電子記録債権の支払と振込の支払を分割するために使用する架空の口座になります。
ダミー口座は決済には利用しません。



振込は本ソフト経由では実施できません。振込データはEBソフト等に読み込み、振込を実施してください。
振込データの作成については「**3 連携手順**」をご参照ください。



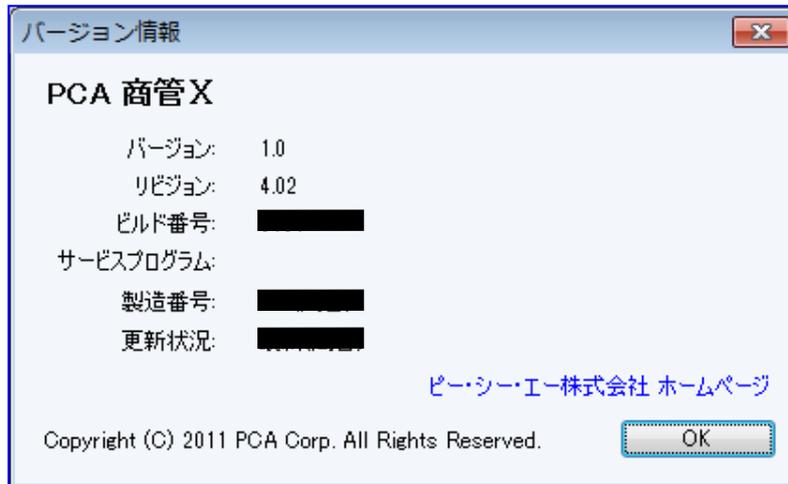
上記①、②-1の場合、「支払先A」「支払先B」のように支払先が2社の例を記載しておりますが、支払先が2社以上でも連携可能です。

1.2 連携条件について

連携可能な「PCA 商管 X」のバージョンは下記の通りとなります。

バージョン：1.0

リビジョン：4.0.0 以降

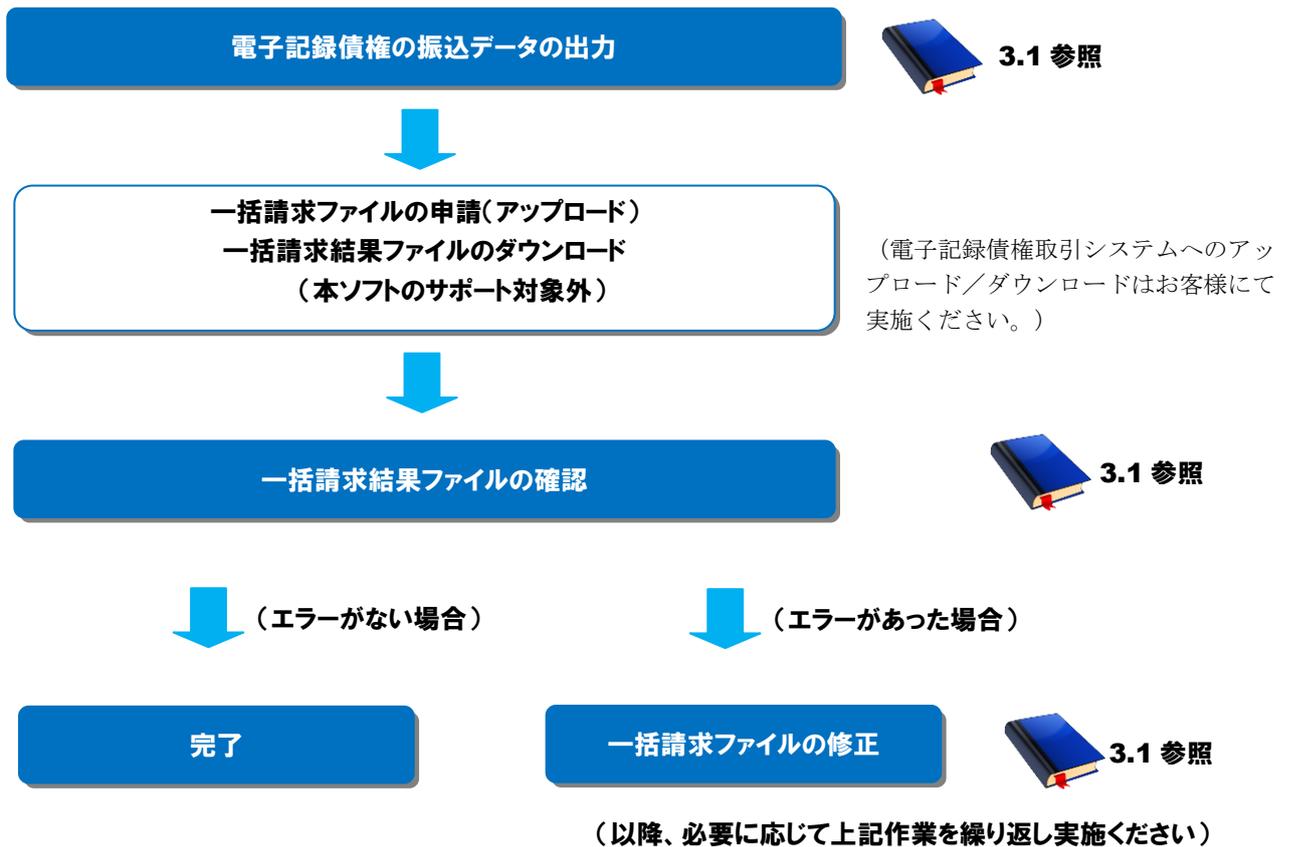


1.3 連携の流れ

事前設定



連携



2 連携事前設定

2.1 「PCA 商管 X」事前設定

連携を行うための「PCA 商管 X」の事前設定方法を説明します。

操作手順

① 支払先企業全てに電子記録債権で決済

2.1.1
会社口座を
確認する①

2.1.3
仕入先を確認する

②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済

②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済

2.1.2
会社口座を
確認する②

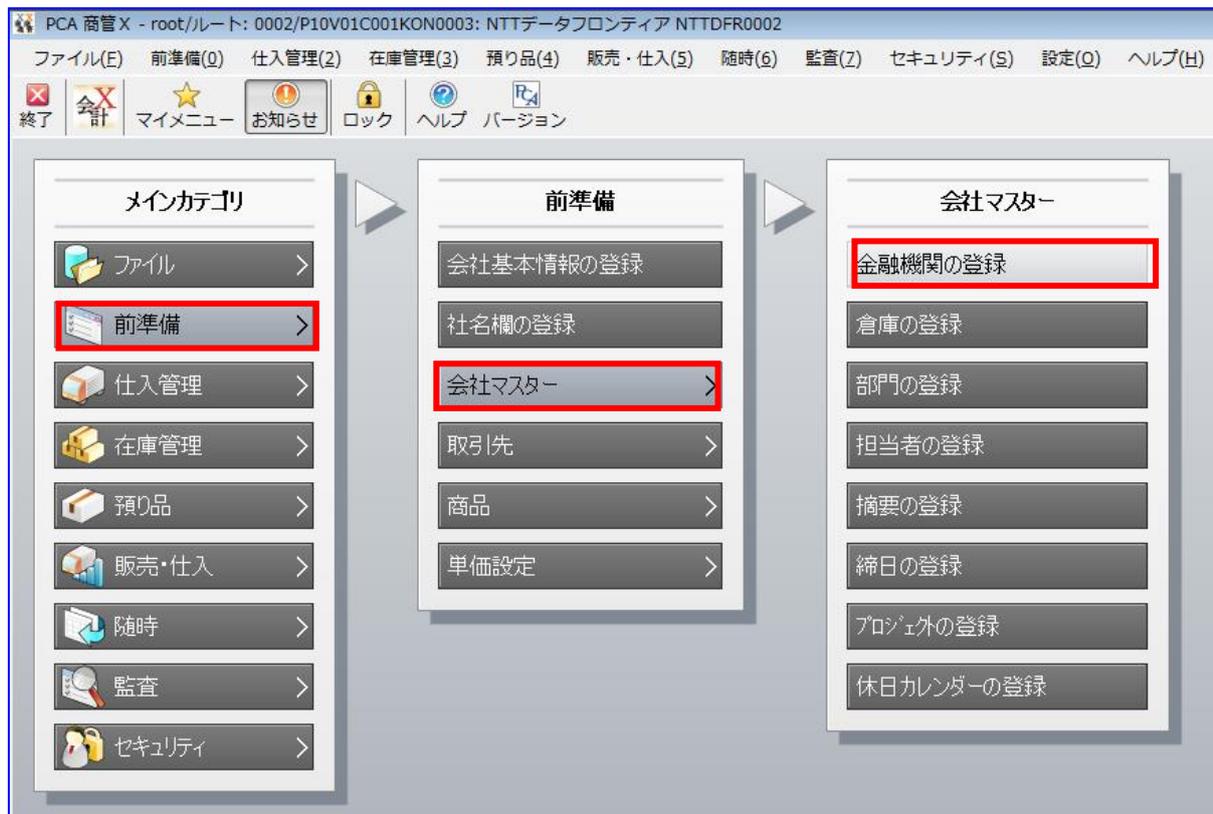
2.1.3
仕入先を確認する

操作方法

2.1.1 会社口座を確認する①

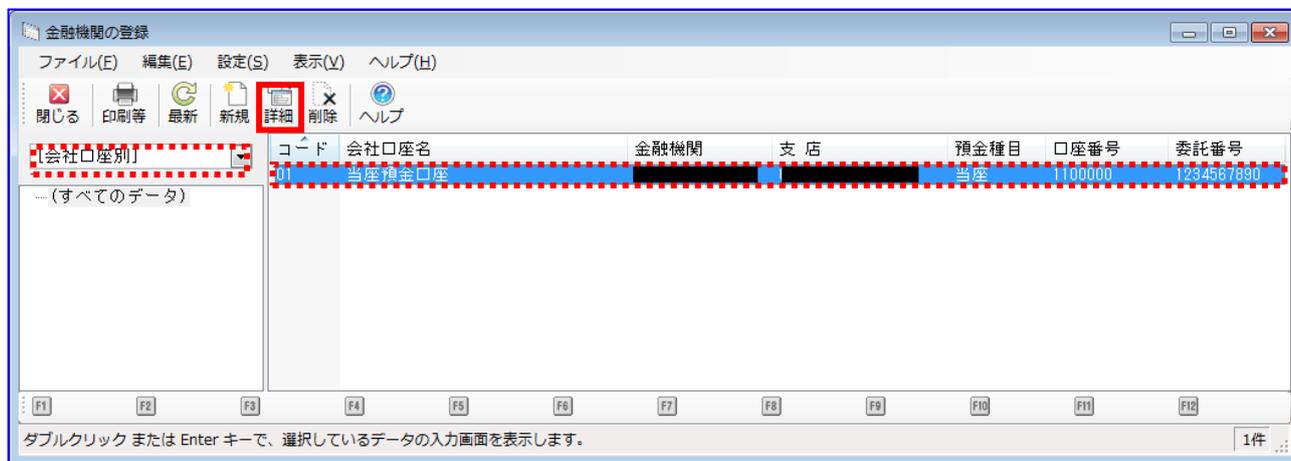
連携で使用する会社口座が登録されているか確認します。

📌 [前準備][会社マスター][金融機関の登録]を押下します。



[金融機関の登録]を押下時にデータ入力期間エラーが表示される場合、会社基本情報の「伝票入力可能期間」と「在庫締切日」を入力してください。

- プルダウンに会社口座別を選択し、登録されている会社口座を選択し、[詳細]を押下します。
会社コードが存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 商管 X」のヘルプをご参照ください。)



都合により金融機関、支店は黒塗りでマスクしていますが、入力が必要な項目になります。以降の金融機関、支店についても同様になります。

金融機関情報、会社口座情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

電子記録債権の決済口座

参照

基本情報(A):

コード 01
 会社口座名 当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード
 金融機関名
 金融機関名フリガナ
 店番号
 支店名
 支店名フリガナ

会社口座情報(C):

預金種目 2:当座
 口座番号 1100000
 委託番号 1234567890
 委託者名 委託者名
 委託者名フリガナ イクサメイ
 区切り文字 0:CR・LF付

手数料情報(D):

振込先	金額範囲	電	信	文	書
同行同支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
同行他支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
他行	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	

手数料グループを使用する

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

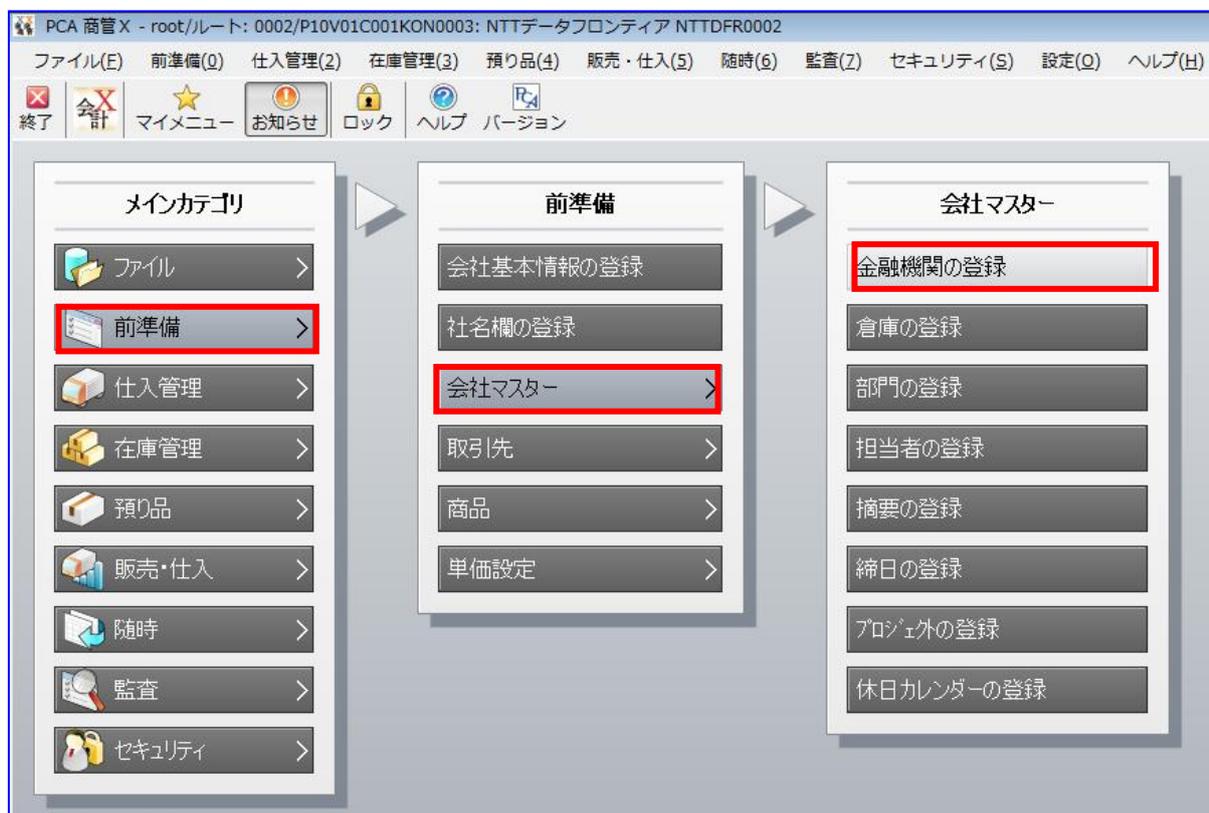


委託番号とは、総合振込や給与振込サービスを利用する際に、会社口座を管理する金融機関が振込依頼人を識別するのに使用される番号です。これらのサービスを利用するには、前もって金融機関に委託番号を割り当ててもらう必要があります。

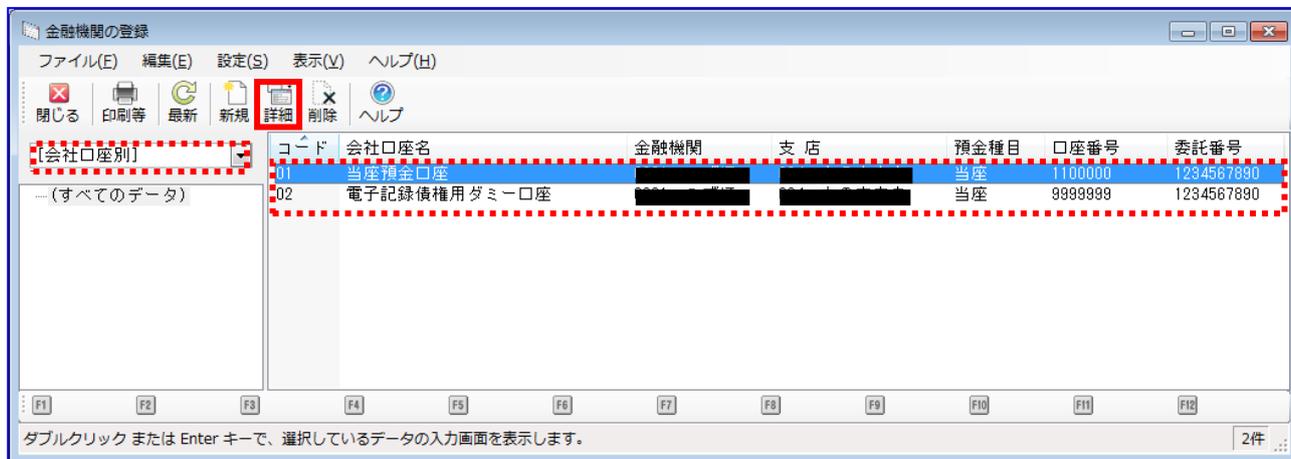
2.1.2 会社口座を確認する②

連携で使用する会社口座が登録されているか確認します。

🔗 [前準備][会社マスター][金融機関の登録]を押下します。



- プルダウンに会社口座別を選択し、登録されている会社口座を選択し、[詳細]を押下します。
会社コードが存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 商管 X」のヘルプをご参照ください。)



金融機関情報、会社口座情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

電子記録債権、銀行振込の決済口座

参照

基本情報(A):

コード	01
会社口座名	当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード	■■■■
金融機関名	■■■■
金融機関名フリガナ	■■■■
店番号	■■■■
支店名	■■■■
支店名フリガナ	■■■■

会社口座情報(C):

預金種目	2:当座
口座番号	1100000
委託番号	1234567890
委託者名	委託者名
委託者名フリガナ	イカサメイ
区切り文字	0:CR・LF付

手数料情報(D):

振込先	金額範囲	電	信	文	書
同行同支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
同行他支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
他行	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	

手数料グループを使用する

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12



委託番号とは、総合振込や給与振込サービスを利用する際に、会社口座を管理する金融機関が振込依頼人を識別するのに使用される番号です。これらのサービスを利用するには、前もって金融機関に委託番号を割り当ててもらう必要があります。

金融機関情報、会社口座情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

本ソフトとの連携に使用するダミー口座

参照

基本情報(A):

コード	02
会社口座名	電子記録債権用ダミー口座

金融機関情報(B):

金融機関コード	■■■■■
金融機関名	■■■■■
金融機関名フリガナ	■■■■■
店番号	■■■■■
支店名	■■■■■
支店名フリガナ	■■■■■

会社口座情報(C):

預金種目	2:当座
口座番号	9999999
委託番号	1234567890
委託者名	委託者名
委託者名フリガナ	イケンメイ
区切り文字	0:CR・LF付

手数料情報(D):

振込先	金額範囲	電	信	文	書
同行同支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
同行他支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
他行	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	

手数料グループを使用する

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

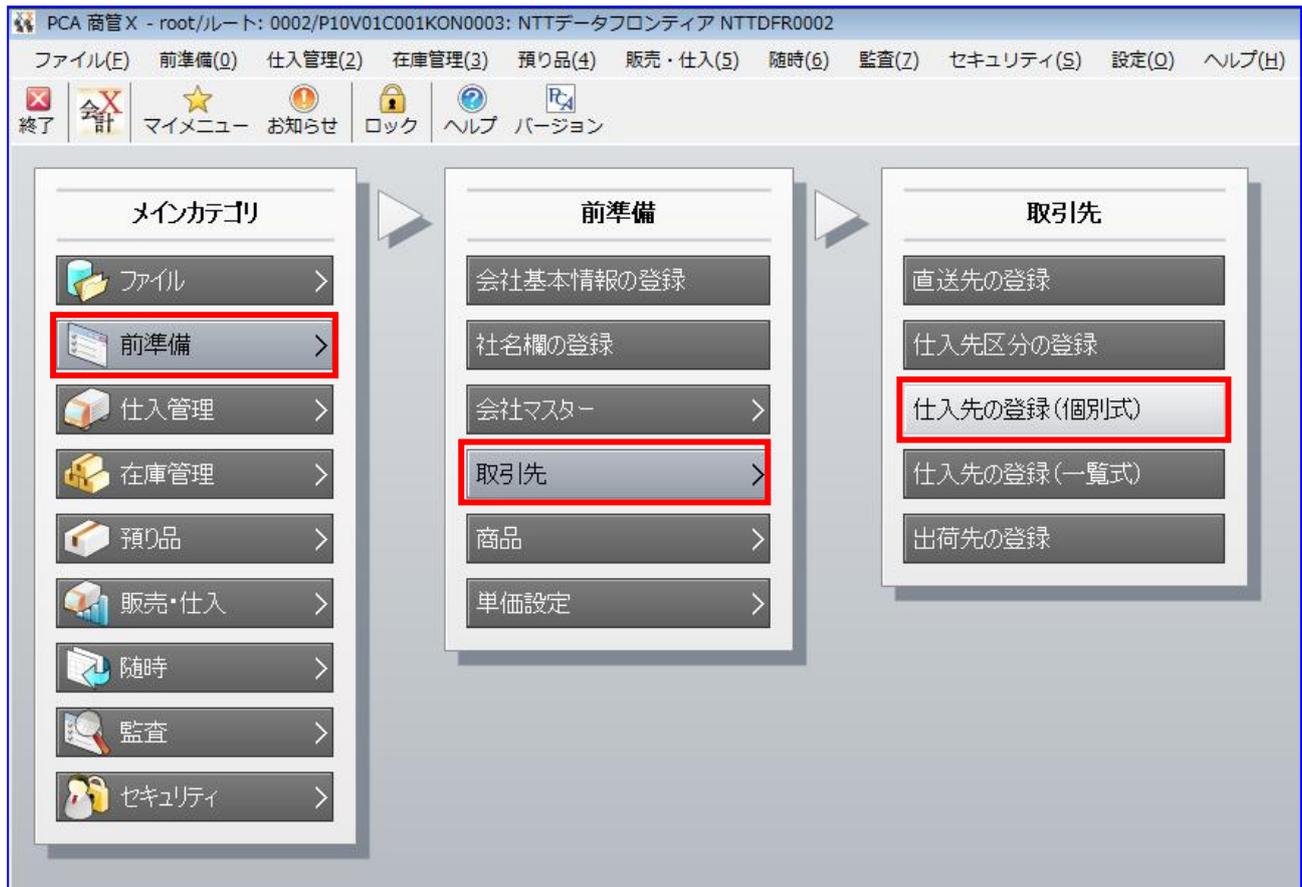


ダミー口座とは、本ソフトとの連携に使用するための口座です。
ダミー口座は決済には利用しません。
登録の際は架空の口座番号を設定してください。

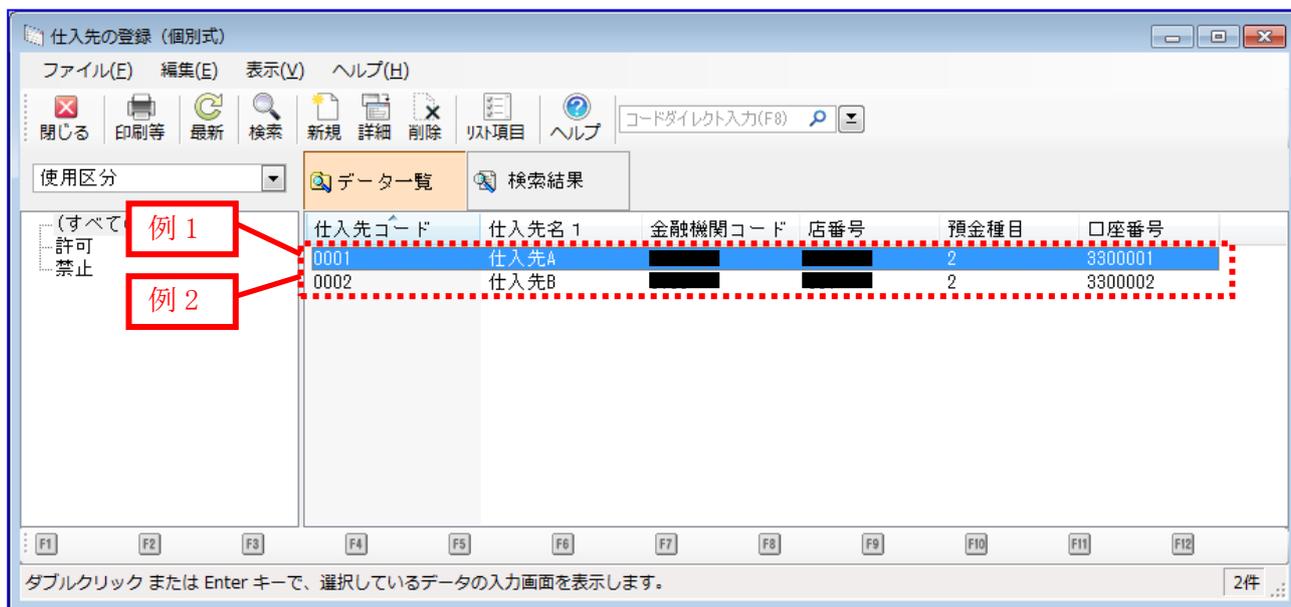
2.1.3 仕入先を確認する

連携で使用する仕入先が登録されているか確認します。

✚ [前準備][取引先][仕入先の登録(個別式)]を押下します。



- 仕入先が存在することを確認します。
仕入先が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 商管 X」のヘルプをご参照ください。)



例 1 : 「仕入先 A」 の設定例

No	項目	説明
1	仕入先コード	任意のコードを入力します。
2	仕入先名 1	仕入先名を入力します。
3	振込口座情報	仕入先の口座情報を入力します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。



電子記録債権で支払う仕入先や、振込で支払う仕入先など、全ての仕入先を登録します。
支払方法による登録内容の違いはありません。

例 2：「仕入先 B」の設定例

No	項目	説明
1	仕入先コード	任意のコードを入力します。
2	仕入先名 1	仕入先名を入力します。
3	振込口座情報	仕入先の口座情報を入力します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

2.2 本ソフトの事前設定

連携事前設定を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順

① 支払先企業全てに電子記録債権で決済

2.2.1
取引先を
設定する①

2.2.3
社内口座を
設定する①

②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済

②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済

2.2.2
取引先を
設定する②

2.2.4
社内口座を
設定する②

操作方法

2.2.1 取引先を設定する①

- 取引先管理画面を開き、連携する仕入先情報が登録されていることを確認します。
登録されていない場合は新規に登録します。

No.	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	111111111	仕入先A	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	2:当座	3300001
2	222222222	仕入先B	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	2:当座	3300002

口座情報に仕入先の口座情報を登録します。

PCA商管X 仕入先の登録画面

「2.1.3 仕入先を確認する」で確認した仕入先

電子記録債権で支払う仕入先

仕入先の登録 (個別式)

参照 (0001) 仕入先A

仕入先コード	0001
仕入先名 1	仕入先A
仕入先名 2	
会社敬称	様
使用区分	0:許可

基本 先方担当者 仕入 支払 振込 コメント

仕入先名付	ｼﾞﾙｸﾞﾈｰ
金融機関コード	■■■■■
店番号	■■■■■
預金種目	2:当座
口座番号	3300001
手数料負担	0:当方負担
手数料区分	3:自動判定
定額料金	
送金方法	0:電信

電子記録債権で支払う仕入先

仕入先の登録 (個別式)

参照 (0002) 仕入先B

仕入先コード	0002
仕入先名 1	仕入先B
仕入先名 2	
会社敬称	様
使用区分	0:許可

基本 先方担当者 仕入 支払 振込 コメント

仕入先名付	ｼﾞﾙｸﾞﾈｰ
金融機関コード	■■■■■
店番号	■■■■■
預金種目	2:当座
口座番号	3300002
手数料負担	0:当方負担
手数料区分	3:自動判定
定額料金	0
送金方法	0:電信

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先管理

CSV読込 CSV出力

取引先情報

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶ 1	111111111	仕入先A	■■■■■	■■■■■	2:当座	3300001
▶ 2	222222222	仕入先B	■■■■■	■■■■■	2:当座	3300002

電子記録債権で支払う仕入先を全て登録する

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

*必須項目 戻る 更新

2.2.2 取引先を設定する②

- 取引先管理画面を開き、連携する仕入先情報が登録されていることを確認します。
登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶ 1	111111111	仕入先A	■■■■■	■■■■■	2: 当座	3300001

✚ 口座情報に仕入先の口座情報を登録します。

PCA商管X 仕入先の登録画面

「2.1.3 仕入先を確認する」で確認した仕入先

電子記録債権で支払う仕入先

仕入先コード	0001
仕入先名 1	仕入先A
仕入先名 2	
会社敬称	様
使用区分	0:許可

振込で支払う仕入先

仕入先コード	0002
仕入先名 1	仕入先B
仕入先名 2	
会社敬称	様
使用区分	0:許可

共通項目

仕入先名か	ｼﾝｸﾞﾙ社
金融機関コード	■■■■■■
店番号	■■■■
預金種目	2:当座
口座番号	3300001
手数料負担	0:当方負担
手数料区分	3:自動判定
定額料金	
送金方法	0:電信

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先管理

CSV読み込み CSV出力

取引先情報	利用番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	1111111111	仕入先A	■■■■■■	■■■■	2:当座	3300001

**電子記録債権で支払う仕入先を全て登録する
振込で支払う仕入先の登録は不要です**

件ジャンプ 検索 エラージャンプ

*必須項目 戻る 更新

2.2.3 社内口座を設定する①

- 社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者名(検索用)*	利用者名加*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶ 1	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア	■■■■■	■■■■■	2: 当座	1100000

✚ 口座情報に会社口座情報を登録します。

PCA商管X 金融機関の登録画面

金融機関の登録

「2.1.1 会社口座を確認する①」で確認した会社口座

電子記録債権、振込の決済口座

基本情報(A):

コード 01
会社口座名 当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード [REDACTED]
金融機関名 [REDACTED]
金融機関名フガナ [REDACTED]
店番号 [REDACTED]
支店名 [REDACTED]
支店名フガナ [REDACTED]

会社口座情報(C):

預金種目 2:当座
口座番号 1100000

一括請求Assist (社内口座管理画面)

社内口座管理

CSV読込 CSV出力

社内口座情報

	利用者名(姓常用)*	利用者名(フリガナ)	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア	[REDACTED]	[REDACTED]	2:当座	1100000

電子記録債権、振込の決済口座を登録する

行ジャンプ 検索 エラージャンプ
検索 検索 次のエラー

*必須項目
戻る 更新

2.2.4 社内口座を設定する②

- 社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者名(検索用)*	利用者名加*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア	■■■■	■■■■	2: 当座	1100000
2	ダミー口座	ダミー口座	■■■■	■■■■	2: 当座	9999999

- 口座情報に会社口座情報を登録します。

PCA商管X 金融機関の登録画面

「2.1.2 会社口座を確認する②」で確認した会社口座

電子記録債権、振込の決済口座

一括請求Assistとの連携に使用するダミー口座

基本情報(A):
コード 01
会社口座名 当座預金口座

金融機関情報(B):
金融機関コード [REDACTED]
金融機関名 [REDACTED]
金融機関名フリガナ [REDACTED]
店番号 [REDACTED]
支店名 [REDACTED]
支店名フリガナ [REDACTED]

会社口座情報(C):
預金種目 2:当座
口座番号 1100000

基本情報(A):
コード 02
会社口座名 電子記録債権用ダミー口座

金融機関情報(B):
金融機関コード [REDACTED]
金融機関名 [REDACTED]
金融機関名フリガナ [REDACTED]
店番号 [REDACTED]
支店名 [REDACTED]
支店名フリガナ [REDACTED]

会社口座情報(C):
預金種目 2:当座
口座番号 9999999

一括請求Assist (社内口座管理画面)

CSV読込 CSV出力

社内口座情報

	利用者名/検索用*	利用者名フリガナ*	金融機関コード*	支店コード*	口座種目*	口座番号*
1	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア	[REDACTED]	[REDACTED]	2:当座	1100000
2	ダミー口座	ダミー口座	[REDACTED]	[REDACTED]	2:当座	9999999

決決済口座、ダミー口座の両方を登録する

行ジャンプ 検索 エラージャンプ
戻る 検索 次のエラー 更新

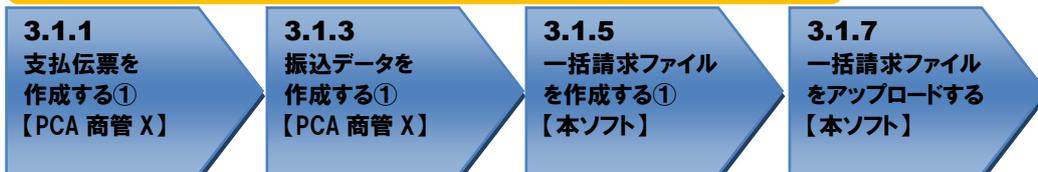
3 連携手順

3.1 連携手順

「PCA 商管 X」と本ソフトの連携手順を説明します。

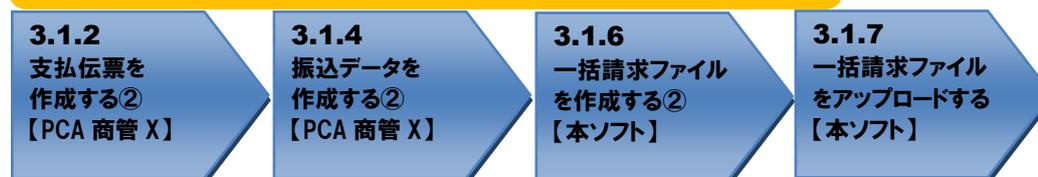
操作手順

① 支払先企業全てに電子記録債権で決済



②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済

②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済

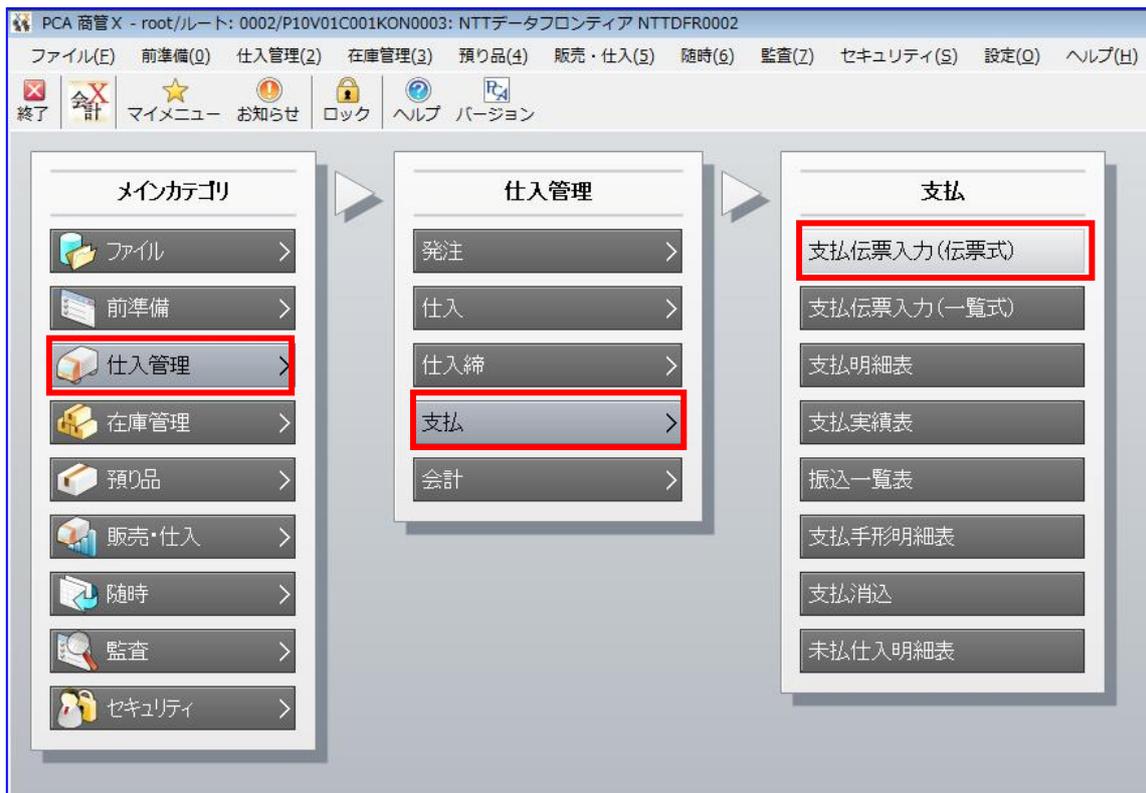


操作方法

3.1.1 支払伝票を作成する①

支払伝票を作成します。

- 「PCA 商管 X」を開き、[仕入管理][支払]支払伝票入力（伝票式）]を押下します。



✚ 支払伝票を作成します。

支払伝票入力 (伝票式)

支払先 A 向け
電子記録債権で支払う支払伝票

仕入先A

TEL : FAX :

仕入 1 支払日 伝 2 支払先

0 買掛 2014年 6月 23日 1,0001

摘要

プロシエ外

会社口座コード 01 当座預金口座

対象精算日 3

精算日	支払予定日	期間仕入高	支払額	未払残高(A)
繰越金額		0		
未精算		0	100,000	-100,000
合計		0	100,000	-100,000

種別	支払金額
現金	
小切手	
振込	100,000
その他	
手形	
相殺	
値引	
合計(B)	100,000

手形期日

手形番号

支払伝票入力 (伝票式)

支払先 B 向け
電子記録債権で支払う支払伝票

仕入先B

TEL : FAX :

仕入 1 支払日 伝 2 支払先

0 買掛 2014年 6月 23日 2,0002

摘要

プロシエ外

会社口座コード 01 当座預金口座

対象精算日 3

精算日	支払予定日	期間仕入高	支払額	未払残高(A)
繰越金額		0		
未精算		0	200,000	-200,000
合計		0	200,000	-200,000

種別	支払金額
現金	
小切手	
振込	200,000
その他	
手形	
相殺	
値引	
合計(B)	200,000

手形期日

手形番号

No	項目	説明
1	支払日	支払日を入力します。
2	支払先	支払先コードを入力します。
3	会社口座コード	「 2.1.1 会社口座を確認する① 」で確認した会社口座のコードを入力します。
4	支払金額（振込）	支払金額を入力します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

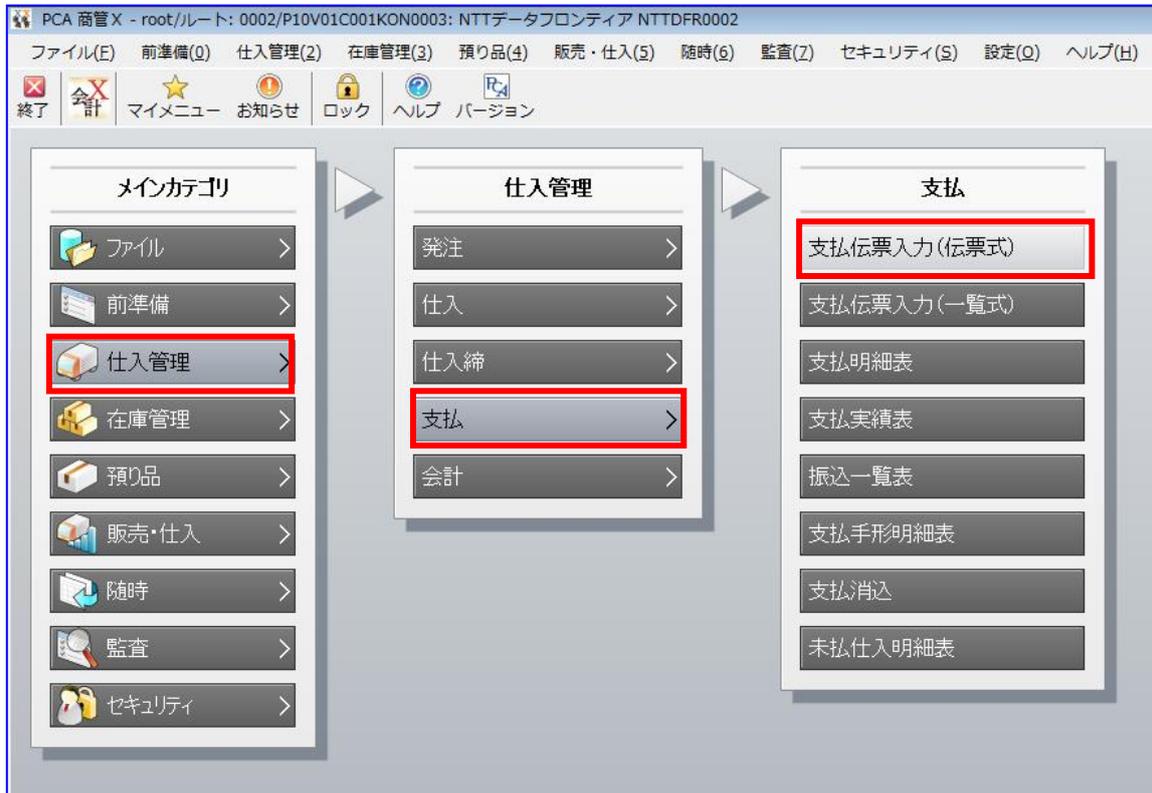


支払伝票入力画面で入力した支払日、支払先（支払先口座情報）、会社口座コード（会社口座情報）、金額は本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。

3.1.2 支払伝票を作成する②

支払伝票を作成します。

- 「PCA 商管 X」を開き、[仕入管理][支払]支払伝票入力（伝票式）]を押下します。



✚ 支払伝票を作成します。

支払伝票入力 (伝票式)

電子記録債権で支払う支払伝票

参照

仕入先A

TEL : FAX :

仕入 1 支払日 2 支払先

0 買掛 2014年 6月 23日 1,0001

摘要

プロシエ外

会社口座コード 02 電子記録債権用ダミー口座

対象精算日 3

精算日	支払予定日	期間仕入高	支払額	未払残高(A)
繰越金額		0		
未精算		0	100,000	-100,000
合計		0	100,000	-100,000

種別	支払金額
現金	
小切手	
振込 4	100,000
その他	
手形	
相殺	
値引	
合計(B)	100,000

手形期日

手形番号

支払伝票入力 (伝票式)

振込で支払う支払伝票

参照

仕入先B

TEL : FAX :

仕入 5 支払日 6 支払先

0 買掛 2014年 6月 23日 2,0002

摘要

プロシエ外

会社口座コード 01 当座預金口座

対象精算日 7

精算日	支払予定日	期間仕入高	支払額	未払残高(A)
繰越金額		0		
未精算		0	200,000	-200,000
合計		0	200,000	-200,000

種別	支払金額
現金	
小切手	
振込 8	200,000
その他	
手形	
相殺	
値引	
合計(B)	200,000

手形期日

手形番号

No	項目	説明
電子記録債権で支払う支払伝票		
1	支払日	支払日を入力します。
2	支払先	支払先コードを入力します。
3	会社口座コード	「 2.1.2 会社口座を確認する② 」で確認した 本ソフトとの連携に使用するダミー口座のコード を入力します。
4	支払金額（振込）	支払金額を入力します。
振込で支払う支払伝票		
5	支払日	支払日を入力します。
6	支払先	支払先コードを入力します。
7	会社口座コード	「 2.1.2 会社口座を確認する② 」で確認した 電子記録債権、銀行振込の決済口座のコード を入力します。
8	支払金額（振込）	支払金額を入力します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。



電子記録債権で支払う支払伝票について、支払伝票入力画面で入力した支払日、支払先（支払先口座情報）、会社口座コード（会社口座情報）、金額は本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。

3.1.3 振込データを作成する①

本ソフトと連携するための振込データを作成します。

🏠 [仕入管理][支払][振込一覧表]を押下します。



- 条件を入力し、[実行]を押下します。

総合振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	■■■■■
支店	■■■■■
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	1100000
区切り文字	CR・LF付

出力設定

出力指定 (O) 総合振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) C:\AssistUser\MyDocuments\PackageAssist\振込データ作成.txt

実行(F5) キャンセル

260文字未満で入力します。ファイルのドロップでパスを自動入力できます。

No	項目	説明
1	出力指定	「総合振込データの作成」を選択します。
2	出力先パス	任意の出力先を入力します

- 振込データの作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下し、出力ファイルパスに振込データが存在することを確認します。

総合振込データの作成

総合振込データの作成に成功しました。

OK



上記で作成した支払先 A と支払先 B のデータが含まれた振込データは、「**3.1.5 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

3.1.4 振込データを作成する②

本ソフトと連携するための振込データを作成します。

📌 [仕入管理][支払][振込一覧表]を押下します。



- 条件を入力し、[実行]を押下します。

総合振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	■■■■■
支店	■■■■■
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	9999999
区切り文字	CR・LF付

出力設定

出力指定 (O) 総合振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) stUser#MyDocuments#PackageAssist#振込データ作成 (電子記録債権で支払) .txt| ▾

実行(F5) キャンセル

260文字未満で入力します。ファイルのドロップでパスを自動入力できます。

No	項目	説明
1	出力指定	「総合振込データの作成」を選択します。
2	出力先パス	任意の出力先を入力します。

- 振込データの作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下し、出力ファイルパスに振込データが存在することを確認します。

総合振込データの作成

総合振込データの作成に成功しました。

OK



上記で作成した支払先Aのデータが含まれた振込データは、「**3.1.5 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- 条件を入力し、[実行]を押下します。

総合振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	■■■■■
支店	■■■■■
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	1100000
区切り文字	CR・LF付

出力設定

出力指定 (O) 総合振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) C:\AssistUser\MyDocuments\PackageAssist\振込データ作成.txt

実行(F5) キャンセル

260文字未満で入力します。ファイルのドロップでパスを自動入力できます。

No	項目	説明
1	出力指定	「総合振込データの作成」を選択します。
2	出力先パス	任意の出力先を入力します。(ファイル名の重複に注意してください)

- 振込データの作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下し、出力ファイルパスに振込データが存在することを確認します。

総合振込データの作成

総合振込データの作成に成功しました。

OK



上記で作成した支払先Bのデータが含まれた振込データは、EB/IBソフト等に読み込み、振込を実施してください。

3.1.5 一括請求ファイルを作成する①

「3.1.3 振込データを作成する①」で作成した振込データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- 本ソフトの発生記録（債務者）請求作成画面を開き、[総合振込データ読み込み]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読み込み CSV読み込み **総合振込データ読み込み** 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2014/06/22

債務者(請求者)情報

利用者番号*	債務者名カナ	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
呼出 AAAAAAAAAA					

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
▶ 1 詳細							

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件)	1
合計金額(円)	0

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

- 条件を入力し、[読込実行]を押下します。

総合振込データ読込 X

債務者(請求者)情報

総合振込データの支払口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 システム設定もしくは社内口座管理より自動設定されます。

債務者名か 社内口座管理より自動設定されます。

債権者(取引先)情報

総合振込データの振込先口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 取引先管理より自動設定されます。

債権者名 取引先管理より自動設定されます。

発生記録(予定)日/支払期日

総合振込データの取組日(振込指定日)の割り当て先を設定してください。

1 発生記録(予定)日 支払期日

支払期日を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

支払期日 2 2014/07/31

譲渡制限有無

譲渡制限有無を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

譲渡制限有無 3 0:無

総合振込データ

対象ファイル C:\%AssistUser%\My Documents\%PackageAssist%\振込データ.txt

4

No	項目	説明
1	取組日(振込指定日)の割り当て先	「発生記録(予定)日」を選択します。
2	支払期日	電子記録債権の支払期日を入力します。
3	譲渡制限有無	電子記録債権の譲渡制限有無を選択します。
4	対象ファイルパス	作成した振込データを選択します。

表示された内容を確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

発生記録 (債務者) 請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 振込データ作成.txt

発生記録(予定)日* 2014/06/23

債務者(請求者)情報

利用者番号* AAAAAAAAAA 債務者名** NTTデータコアテクノロジ 金融機関コード* 0001 支店コード* 004 口座種別* 2:当座 口座番号* 1100000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者 口座番号*	債権者名**	債権者 金融機関コード*	債権者 支店コード*	債権者 口座種別*	債権者 口座番号*
▶ 1	詳細	1111111111	仕入先A			2:当座	3300001
▶ 2	詳細	2222222222	仕入先B			2:当座	3300002

電子記録債権で支払う支払伝票の振込データ

画面左

行ジャンプ 検索 エラージャンプ 合計件数(件) 2 合計金額(円) 300,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

発生記録 (債務者) 請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 振込データ作成.txt

発生記録(予定)日* 2014/06/23

債務者(請求者)情報

呼出 利用者番号* AAAAAAAAAA 債務者名** NTTデータコアテクノロジ 金融機関コード* 0001 支店コード* 004 口座種別* 2:当座 口座番号* 1100000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者 口座番号*	債権者名**	債権金額(円)*	支払期日*	譲渡制限有無*	依頼人Ref.No.
▶ 1	詳細	1 01		100,000	2014/07/31	0:無	
▶ 2	詳細	2 02		200,000	1	0:	

画面右

行ジャンプ 検索 エラージャンプ 合計件数(件) 2 合計金額(円) 300,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

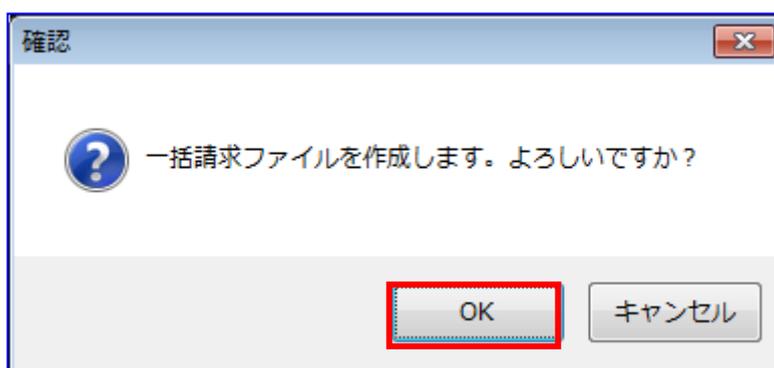
No	項目	説明
1	発生記録 (予定) 日	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払日が設定されます。
2	債務者 (請求者) 情報	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した会社コードに対応する情報が設定されます。
3	債権者情報	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払先に対応する情報が設定されます。
4	債権金額 (円)	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払金額 (振込) が設定されます。
5	支払期日	総合振込データ読込画面で入力した支払期日が設定されます。
6	譲渡制限有無	総合振込データ読込画面で入力した譲渡制限有無が設定されます。



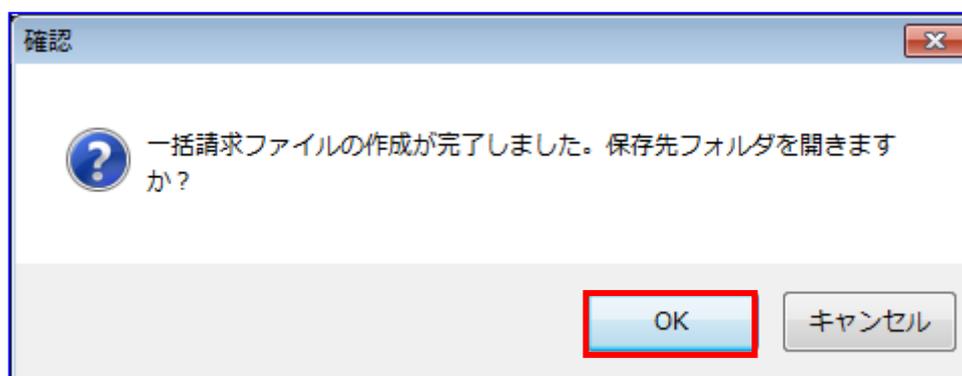
「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払日に過去日を入力した場合、「発生記録（予定）日」はエラーになります。

「3.1.1 支払伝票を作成する①」で作成した支払伝票の支払日を当日以降の日付に修正し、当画面の「発生記録（予定）日」もあわせて修正してください。

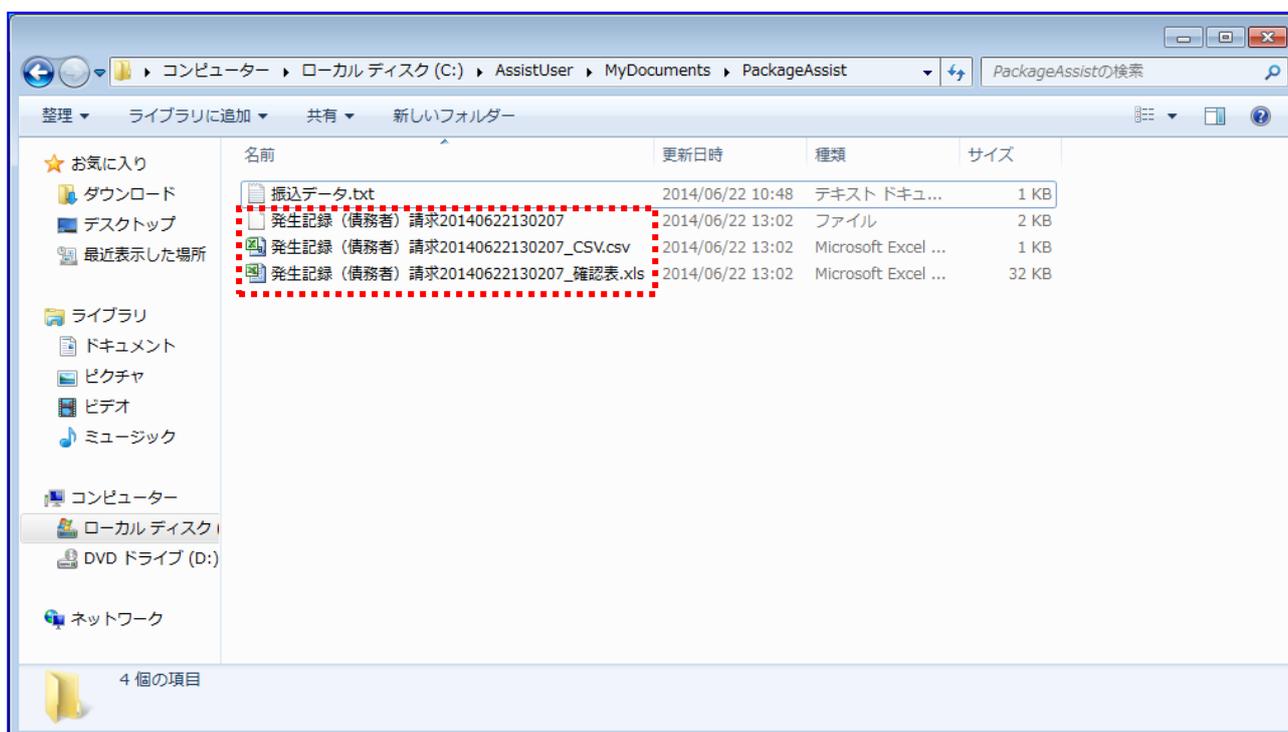
✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて設定した拡張子



「3.1.3 振込データを作成する①」で複数の振込データを作成した場合、「3.1.5 一括請求ファイルを作成する①」を繰り返し実施してください。

3.1.6 一括請求ファイルを作成する②

「3.1.4 振込データを作成する②」で作成した振込データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- 本ソフトの発生記録（債務者）請求作成画面を開き、[総合振込データ読み込み]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読み込み CSV読み込み **総合振込データ読み込み** 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2014/06/22

債務者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
AAAAA						

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者 利用者番号*	債権者名**	債権者 金融機関コード*	債権者 支店コード*	債権者 口座種別*	債権者 口座番号
1							

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 0

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

- 条件を入力し、[読込実行]を押下します。

総合振込データ読込 X

債務者(請求者)情報

総合振込データの支払口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 システム設定もしくは社内口座管理より自動設定されます。

債務者名か 社内口座管理より自動設定されます。

債権者(取引先)情報

総合振込データの振込先口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 取引先管理より自動設定されます。

債権者名 取引先管理より自動設定されます。

発生記録(予定)日/支払期日

総合振込データの取組日(振込指定日)の割り当て先を設定してください。

1 発生記録(予定)日 支払期日

支払期日を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

支払期日 2 2014/07/31

譲渡制限有無

譲渡制限有無を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

譲渡制限有無 3 0:無

総合振込データ

対象ファイル C:\%AssistUser%\My Documents\%PackageAssist%\振込データ.txt

4

No	項目	説明
1	取組日(振込指定日)の割り当て先	「発生記録(予定)日」を選択します。
2	支払期日	電子記録債権の支払期日を入力します。
3	譲渡制限有無	電子記録債権の譲渡制限有無を選択します。
4	対象ファイルパス	作成した振込データを選択します。

✚ ダミー口座が表示されていることを確認し、[呼出]を押下します。

発生記録 (債務者) 請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 振込データ作成.txt

発生記録(予定)日* 2014/06/23

ダミー口座

債務者(請求者)情報

利用者番号*	利用者名カ	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
AAAAAAA	ダミーコガ			2:当座	9999999

呼出

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者 利用者番号*	債権者名**	債権者 金融機関コード*	債権者 支店コード*	債権者 口座種別*	債権者 口座番号
▶ 1 詳細	1	111111111	仕入先A			2:当座	3300001

電子記録債権で支払う支払伝票の振込データ

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 100,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

✚ 電子記録債権、銀行振込の決済口座を選択し、[選択]を押下します。

社内口座選択

検索条件

利用者名(検索用)
利用者名カ
金融機関コード
支店コード
口座種別
口座番号
社内口座

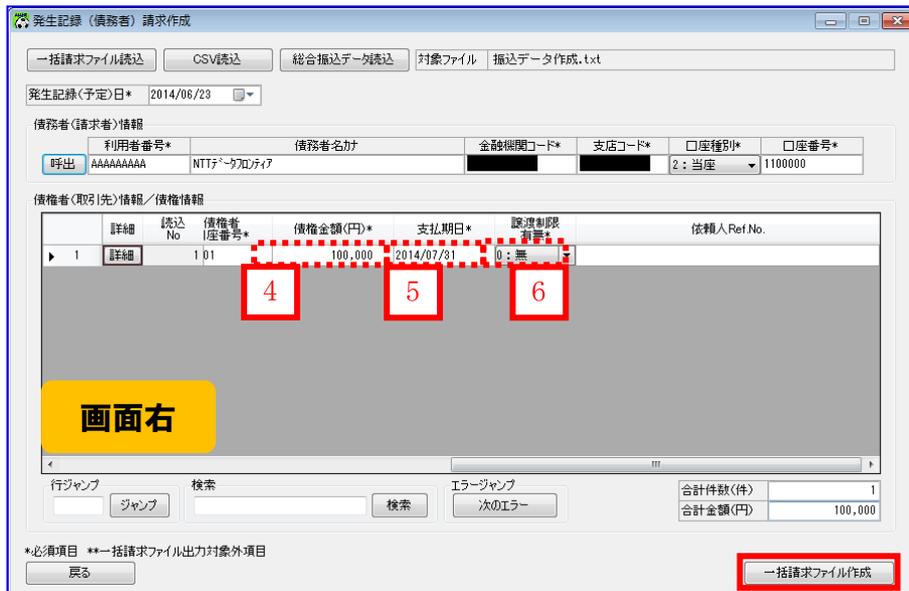
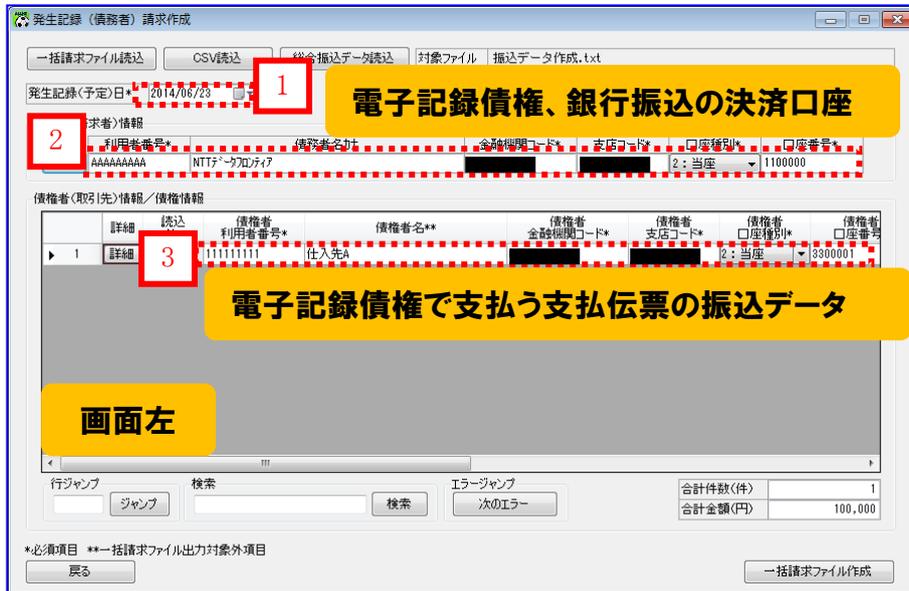
電子記録債権、銀行振込の決済口座

社内口座情報

選択	利用者名(検索用)	利用者名カ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号
<input checked="" type="checkbox"/>	NTTデータボランティア	NTTデータボランティア			2:当座	1100000
<input checked="" type="checkbox"/>	ダミー口座	ダミーコガ			2:当座	9999999

閉じる

表示された内容を確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。



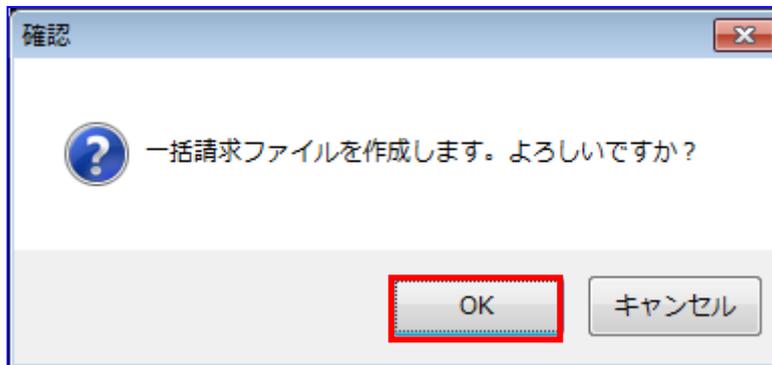
No	項目	説明
1	発生記録 (予定) 日	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払日が設定されます。
2	債務者 (請求者) 情報	社内口座選択画面で選択した口座情報が設定されます。
3	債権者情報	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払先に対応する情報が設定されます。
4	債権金額 (円)	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払金額 (振込) が設定されます。
5	支払期日	総合振込データ読込画面で入力した支払期日が設定されます。
6	譲渡制限有無	総合振込データ読込画面で入力した譲渡制限有無が設定されます。



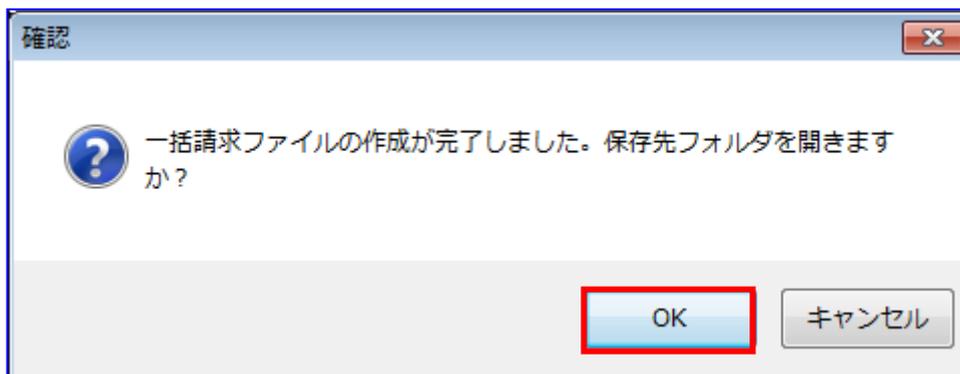
「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払日に過去日を入力した場合、「発生記録（予定）日」はエラーになります。

「3.1.2 支払伝票を作成する②」で作成した支払伝票の支払日を当日以降の日付に修正し、当画面の「発生記録（予定）日」もあわせて修正してください。

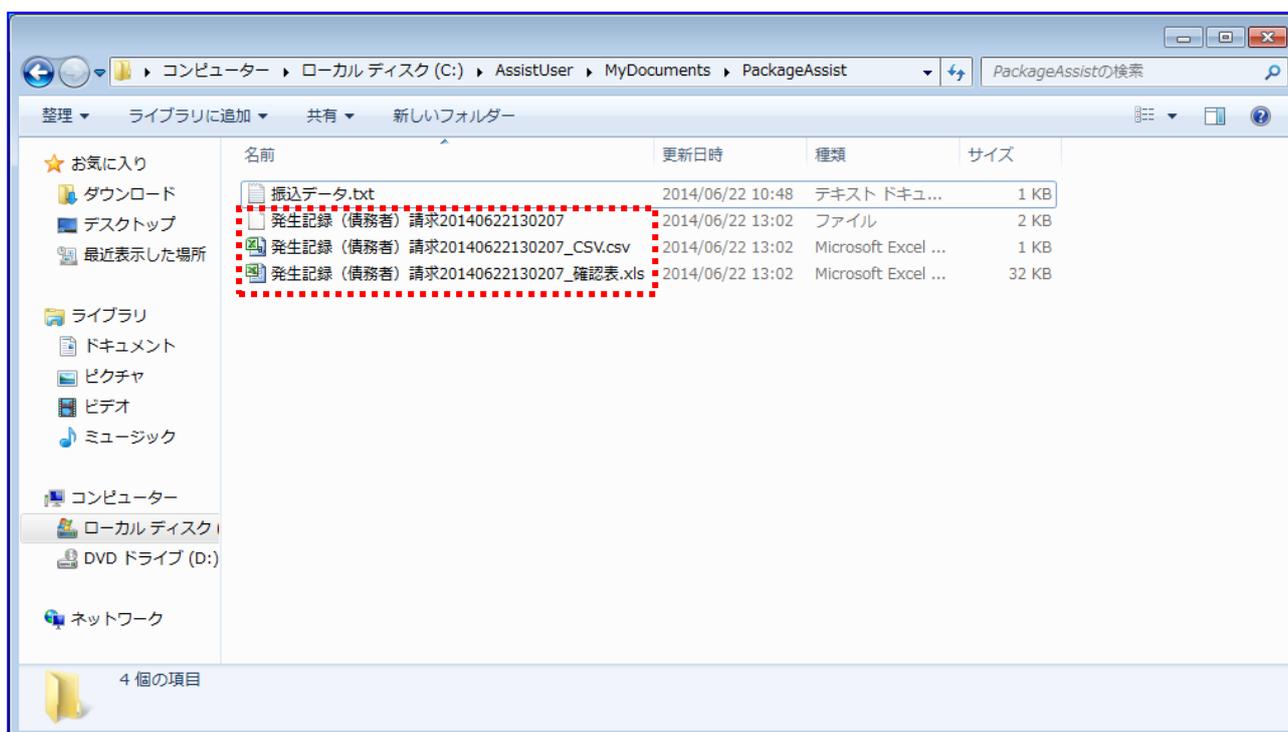
✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。
(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

- 一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
- CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
- 一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて設定した拡張子



「3.1.4 振込データを作成する②」で複数の振込データを作成した場合、「3.1.6 一括請求ファイルを作成する②」を繰り返し実施してください。

3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする

- 出力された一括請求確認表を確認し、想定した請求内容になっていることをご確認ください。
(一括請求確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.2 発生記録(債務者)請求確認表**」、
「**6.2.3 発生記録(債権者)請求確認表**」をご参照ください。)

請求内容に誤りがある場合は、再度「**3.1.1 支払伝票を作成する①**」もしくは「**3.1.2 支払伝票を作成する②**」を実施し、該当箇所を修正の上、一括請求ファイルを作成してください。

例)発生記録(債務者)請求確認表

発生記録(債務者)請求確認表										出力日時:2014/06/17 14:45:22	
対象ファイル:発生記録(債務者)請求20140617144522											
発生記録(予定)日										2014/06/17	
債務者(請求者)情報											
利用者番号	債務者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	合計件数(件)		1			
AAAAAAAA	NTTデータファイ			2:当座	1100000	合計金額(円)		30,000			
債権者(取引先)情報/債権情報											
No	利用者番号	債権者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	債権金額(円)	支払期日	譲渡制限 有無	依頼人Ref.No.	
1	155555555	住入先A株式会社			2:当座	1100005	30,000	2014/06/30	0:無		

- 電子記録債権取引システムへの一括請求ファイル申請（アップロード）作業を実施してください。
電子記録債権取引システムより一括請求結果が返却後、業務編「**3.4 発生記録(債務者/債権者)請求の一括請求結果確認**」を実施してください。

例)一括請求結果確認表

一括請求結果確認表										出力日時:2014/06/02 15:41:46			
読込ファイル:一括請求結果.txt													
結果										正常			
通知作成日										2014/06/17			
通知先利用者番号										AAAAAAAA			
種別コード	30:発生・譲渡通知	通知先名								NTTデータファイ		合計件数(件)	1
文字コード区分	0:JIS	通知先口座情報								2:当座 1100000		合計金額(円)	30,000
No	区分	記録番号	債権金額(円)	電子記録年月日	支払期日	債務者 権利者名	債務者口座情報 権利者口座情報		譲渡制限 有無	依頼人Ref.No.			
1	01:発生 (債務者請求)	A000000100000100000	30,000	2014/06/17	2014/06/30	債務者 NTTデータファイ	2:当座 1100000	権利者 2:当座 1100005	0:無				

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(PCA 商管 X)

平成 26 年 8 月 18 日 第 2.1 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、電子記録債権サービスである「でんさいネット」を使用する目的に限り使用できるものとします。
- ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
- ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。